

## 調査結果の概要



# 調査結果の概要

## I 男女の平等

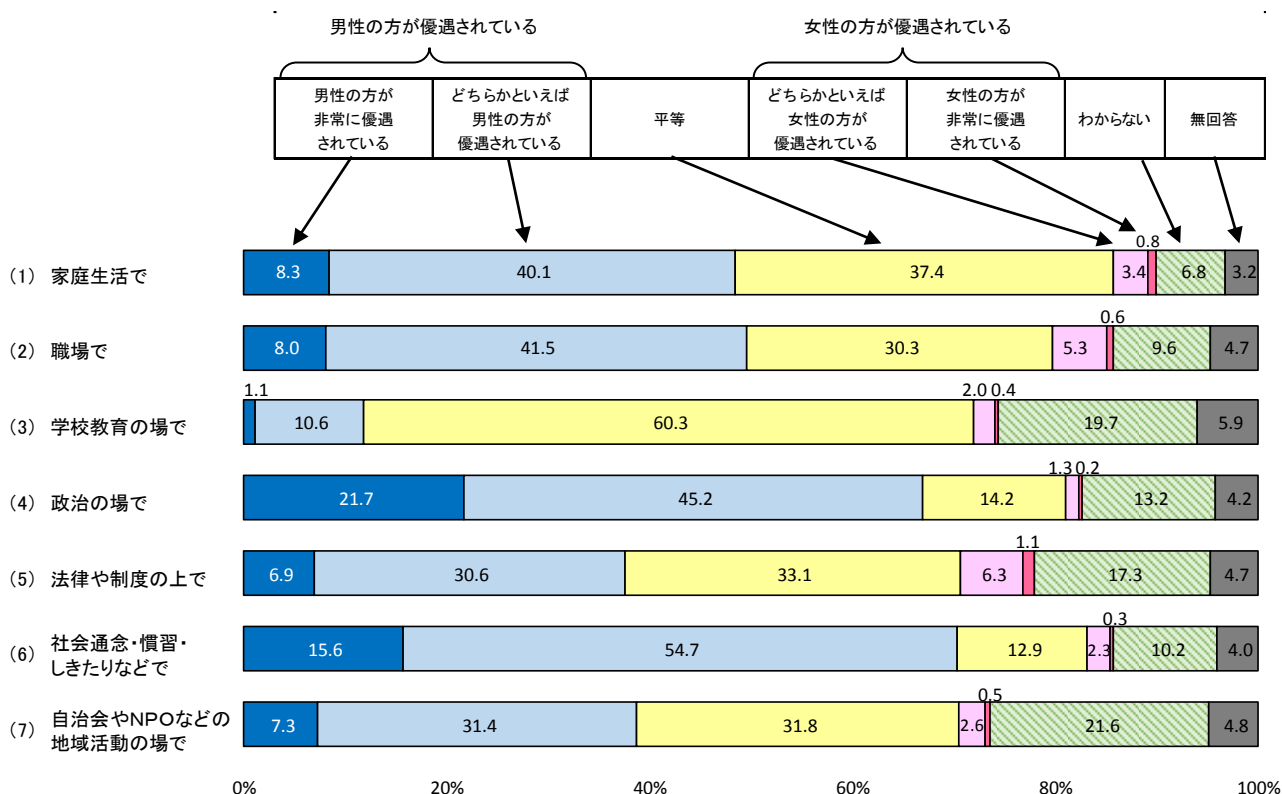
### 1 男女の地位の平等感について

問1 あなたは、次にあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。  
次の(1)～(7)について、1～6の中から選んでください。(✓はそれぞれ1つ)

男女の地位の平等感を以下の7分野について聞いたところ、「平等」と回答した人の割合は、「家庭生活」で37.4%、「職場」で30.3%、「学校教育の場」で60.3%、「政治の場」で14.2%、「法律や制度の上」で33.1%、「社会通念・慣習・しきたりなど」で12.9%、「自治会やNPOなどの地域活動の場」で31.8%となっている。

以下、7つのそれぞれの分野について、前回調査や全国調査との比較、男女・年齢別にみていく。

図1 男女の地位の平等感 N=1,000



## (1)家庭生活で

### 【全体】

家庭生活では、「男性の方が優遇されている」とする人の割合が 48.4%（「男性の方が非常に優遇されている」8.3%+「どちらかといえば男性の方が優遇されている」40.1%—以下同じ）、「平等」が 37.4%、「女性の方が優遇されている」とする人の割合が 4.2%（「女性の方が非常に優遇されている」0.8%+「どちらかといえば女性の方が優遇されている」3.4%—以下同じ）となっている。

### 【前回調査との比較】

前回の調査結果と比較してみると、「男性の方が優遇されている」とする人の割合が 9.5 ポイント減少し、「平等」が 9.7 ポイント増加している。

### 【全国調査との比較】

全国調査と比較してみると、全国調査は「平等」が 47.0%となっており、全国調査が富山県を 9.6 ポイント上回っている。

### 【男女別】

男女別にみると、女性は「男性の方が優遇されている」とする人の割合が 56.6%と 5 割を超え、男性に比べて 16.8 ポイント多くなっている。一方男性は「平等」が 45.5%と女性に比べて 15.8 ポイント多くなっている。

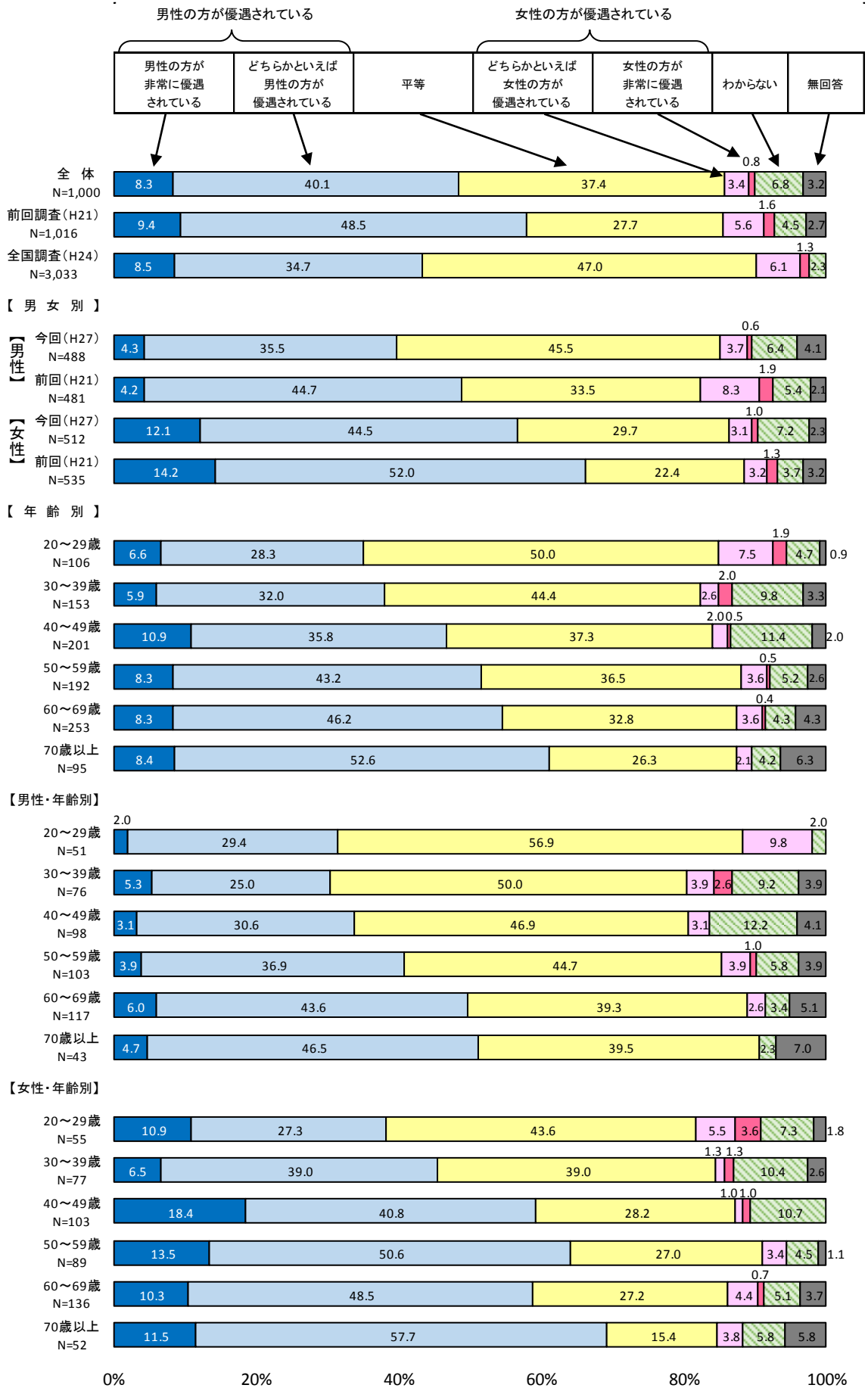
### 【年齢別】

年齢別にみると、年齢が高いほど「男性の方が優遇されている」とする人の割合が多くなっている。一方で、年齢が低いほど「平等」が多くなっており、20 歳代では半数を占めている。

### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性の 40 歳代以上は「男性の方が優遇されている」とする人の割合が多くなっており、70 歳代では約 7 割を占めている。

図 1-1 家庭生活における男女の地位の平等感



## (2) 職場で

### 【全体】

職場では、「男性の方が優遇されている」とする人の割合が 49.5%、「平等」が 30.3%、「女性の方が優遇されている」とする人の割合が 5.9%となっている。

### 【前回調査との比較】

前回の調査結果と比較してみると、「男性の方が優遇されている」とする人の割合が 12.3 ポイント減少し、「平等」が 10.9 ポイント増加している。

### 【全国調査との比較】

全国調査と比較してみると、全国調査は「平等」が 28.5%となっており、富山県が全国調査を 1.8 ポイント上回っている。

### 【男女別】

男女別にみると、女性は「男性の方が優遇されている」とする人の割合が 54.5%と 5 割を超え、男性に比べて 10.2 ポイント多くなっている。一方男性は「平等」が 35.5%と女性に比べて 10.1 ポイント多くなっている。

### 【年齢別】

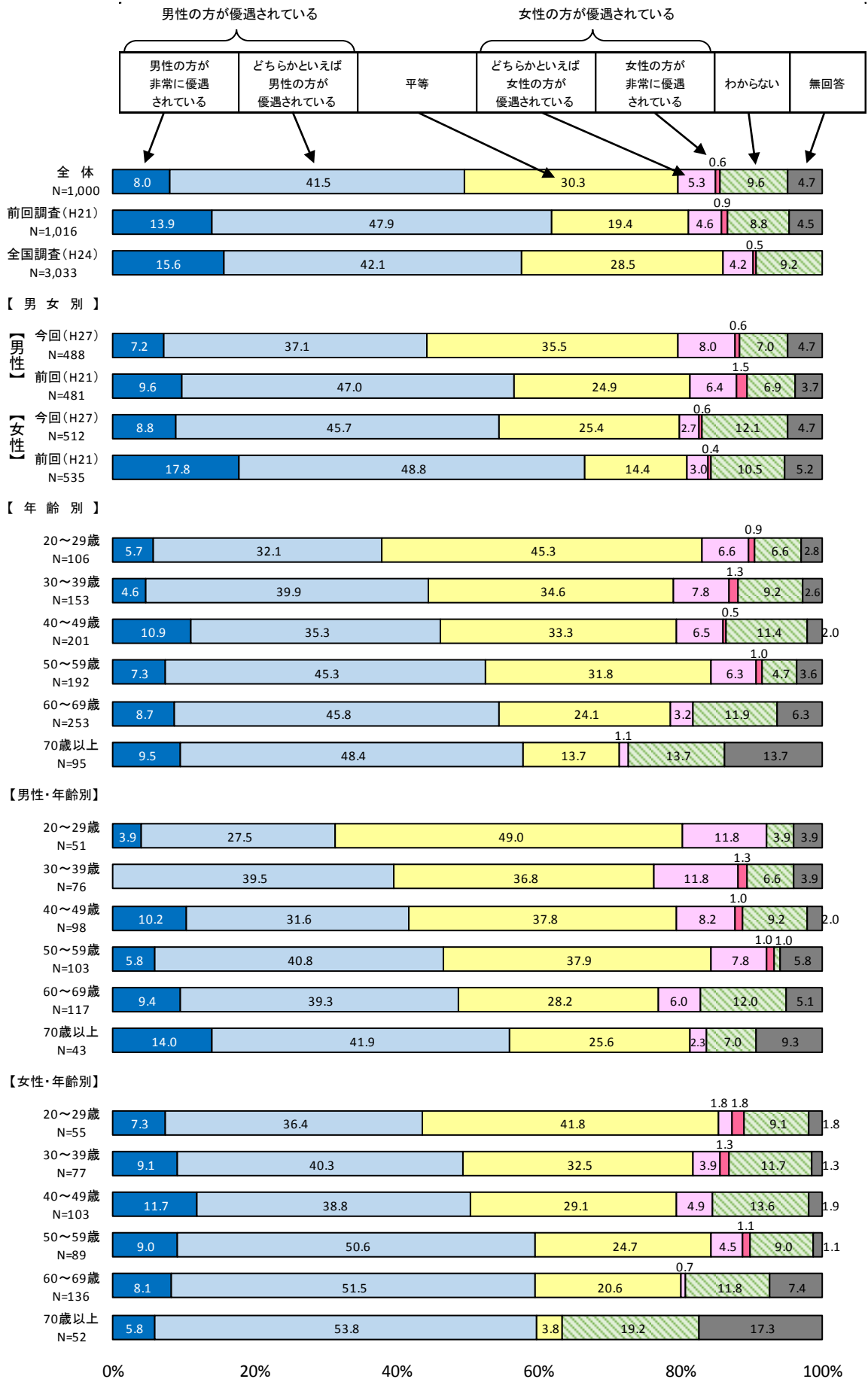
年齢別にみると、年齢が高いほど「男性の方が優遇されている」とする人の割合が多くなっている。一方で、年齢が低いほど「平等」が多くなっており、20 歳代では 45.3%と 4 割を超えている。

### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性は年齢が高いほど「男性の方が優遇されている」とする人の割合が多くなっている。女性は 50 歳代以上で「男性の方が優遇されている」とする人の割合が多くなっており、約 6 割を占めている。

また、女性の 70 歳以上では「平等」が 3.8%と他に比べて少なくなっている。

図 1-2 職場における男女の地位の平等感



### (3)学校教育の場で

#### 【全体】

学校教育の場では、「男性の方が優遇されている」とする人の割合が 11.7%、「平等」が 60.3%、「女性の方が優遇されている」とする人の割合が 2.4%となっている。

7つの分野の中で、「平等」と答えた人の割合が最も高くなっている。

#### 【前回調査との比較】

前回の調査結果と比較してみると、「男性の方が優遇されている」とする人の割合が 2.3 ポイント減少し、「平等」が 4.3 ポイント増加している。

#### 【全国調査との比較】

全国調査と比較してみると、全国調査は「平等」が 67.0%となっており、全国調査が富山県を 6.7 ポイント上回っている。

#### 【男女別】

男女別にみると、女性は「男性の方が優遇されている」とする人の割合が 14.1%と男性に比べて 4.9 ポイント多くなっている。一方男性は「平等」が 64.3%と女性に比べて 7.9 ポイント多くなっている。

#### 【年齢別】

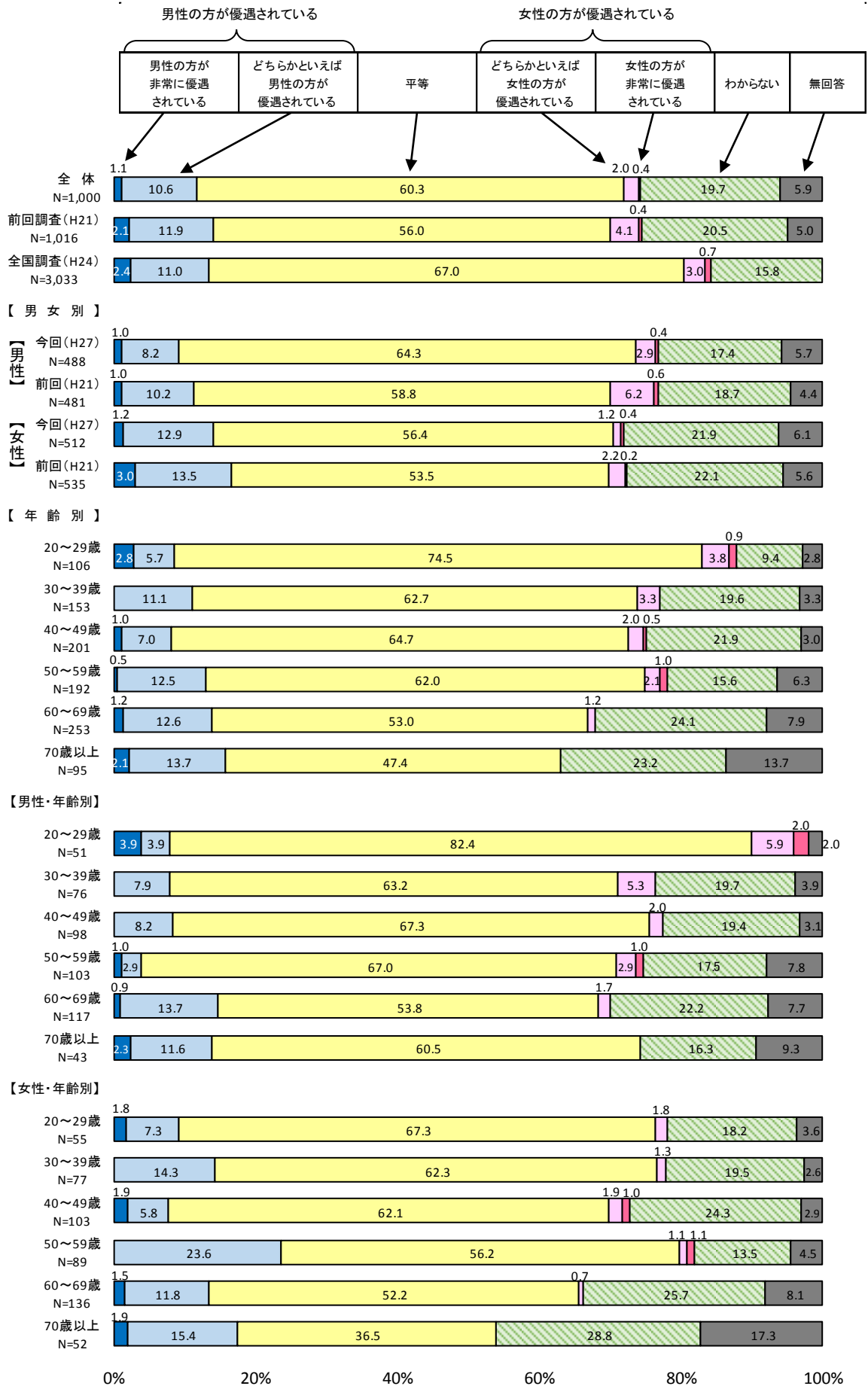
年齢別にみると、年齢が低いほど「平等」が多い傾向にあり、20歳代では 74.5%と7割を超えている。

#### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性の20歳代では「平等」が 82.4%と30歳代以上に比べて多くなっている。



図 1-3 学校教育の場における男女の地位の平等感



#### (4)政治の場で

##### 【全体】

政治の場では、「男性の方が優遇されている」とする人の割合が 66.9%、「平等」が 14.2%、「女性の方が優遇されている」とする人の割合が 1.5%となっている。

##### 【前回調査との比較】

前回の調査結果と比較してみると、「平等」が 1.6 ポイント減少し、「男性の方が優遇されている」とする人の割合が 0.9 ポイント増加している。

##### 【全国調査との比較】

全国調査と比較してみると、全国調査は「男性の方が優遇されている」とする人の割合が 74.0%となっており、全国調査が富山県を 7.1 ポイント上回っている。

##### 【男女別】

男女別にみると、女性は「男性の方が優遇されている」とする人の割合が 72.3%と男性に比べて 11.0 ポイント多くなっている。一方男性は「平等」が 20.5%と女性に比べて 12.3 ポイント多くなっている。

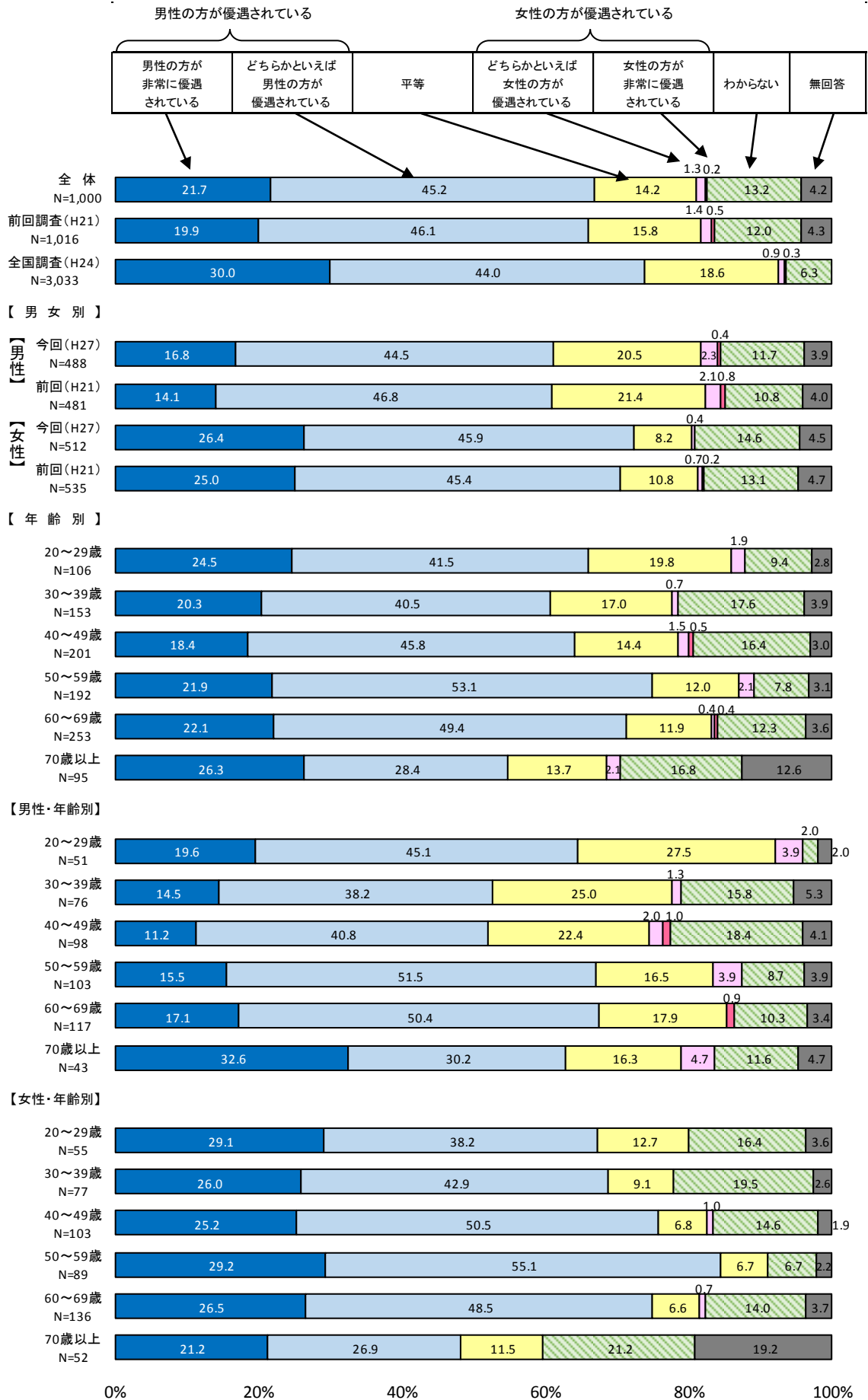
##### 【年齢別】

年齢別にみると、50 歳代は「男性の方が優遇されている」とする人の割合が 75.0%と他の年代に比べて最も多くなっている。

##### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性の 40 歳代から 60 歳代で「男性の方が優遇されている」とする人の割合が多くなっており、特に 50 歳代では 84.3%と 8 割を超えている。

図 1-4 政治の場における男女の地位の平等感



## (5) 法律や制度の上で

### 【全体】

法律や制度の上では、「男性の方が優遇されている」とする人の割合が 37.5%、「平等」が 33.1%、「女性の方が優遇されている」とする人の割合が 7.4%となっている。

### 【前回調査との比較】

前回の調査結果と比較してみると、「平等」が 2.4 ポイント減少し、「男性の方が優遇されている」とする人の割合が 2.5 ポイント増加している。

### 【全国調査との比較】

全国調査と比較してみると、全国調査は「平等」が 45.4%となっており、全国調査が富山県を 12.3 ポイント上回っている。

### 【男女別】

男女別にみると、女性は「男性の方が優遇されている」とする人の割合が 45.0%と男性に比べて 15.3 ポイント多くなっている。一方男性は「平等」が 41.8%と女性に比べて 17.0 ポイント多くなっている。

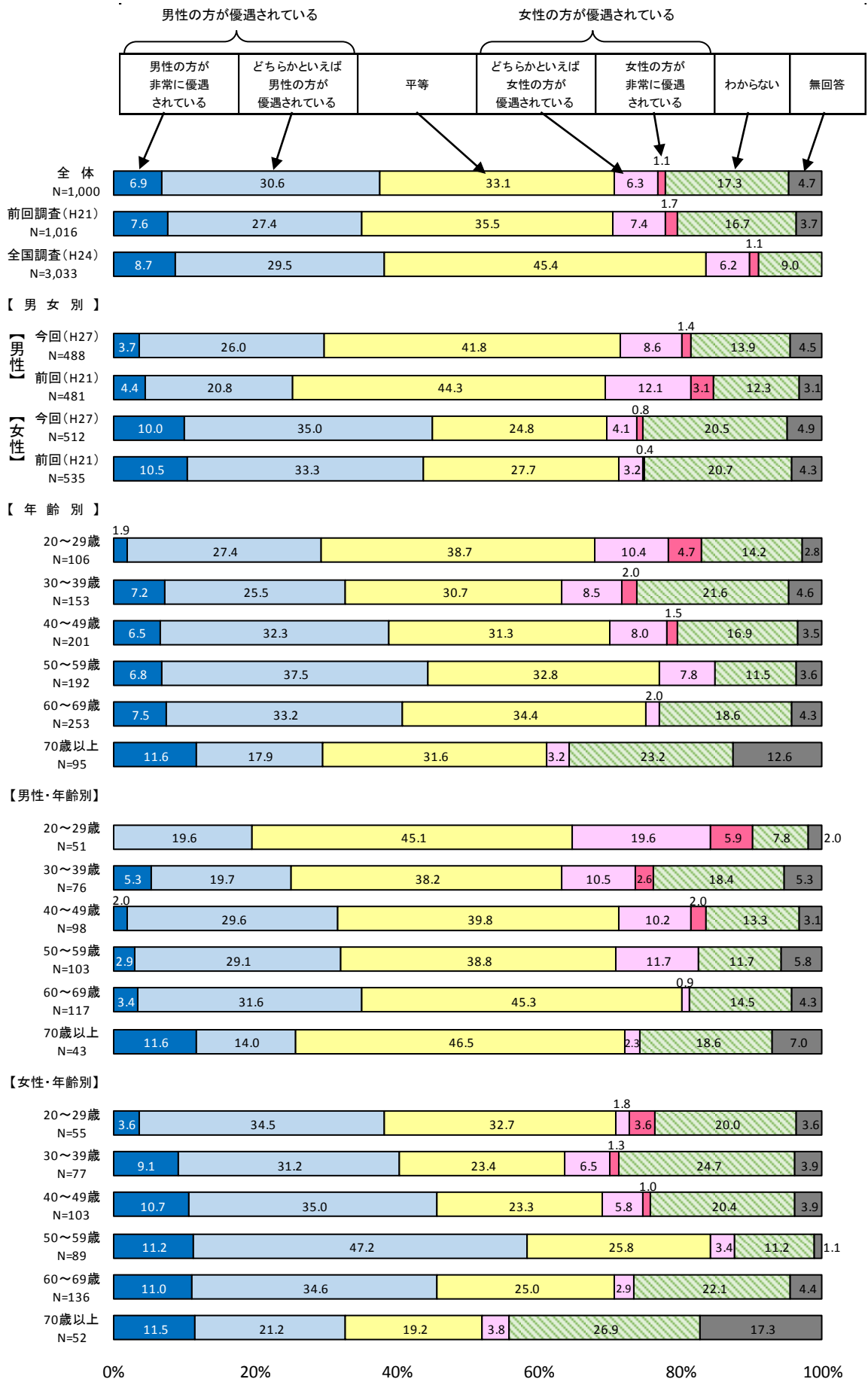
### 【年齢別】

年齢別にみると、50 歳代は「男性の方が優遇されている」とする人の割合が 44.3%と他の年代に比べて最も多くなっている。

### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性の 50 歳代は「男性の方が優遇されている」とする人の割合が 58.4%と他の年代に比べて多くなっている。

図 1-5 法律や制度の上における男女の地位の平等感



## (6) 社会通念・慣習・しきたりなどで

### 【全体】

社会通念・慣習・しきたりなどでは、「男性の方が優遇されている」とする人の割合が 70.3%、「平等」が 12.9%、「女性の方が優遇されている」とする人の割合が 2.6%となっている。

### 【前回調査との比較】

前回の調査結果と比較してみると、「男性の方が優遇されている」とする人の割合が 4.7 ポイント減少し、「平等」が 2.9 ポイント増加している。

### 【全国調査との比較】

全国調査と比較してみると、全国調査は「平等」が 21.4%となっており、全国調査が富山県を 8.5 ポイント上回っている。

### 【男女別】

男女別にみると、女性は「男性の方が優遇されている」とする人の割合が 77.9%と男性に比べて 15.7 ポイント多くなっている。一方男性は「平等」が 19.7%と女性に比べて 13.3 ポイント多くなっている。

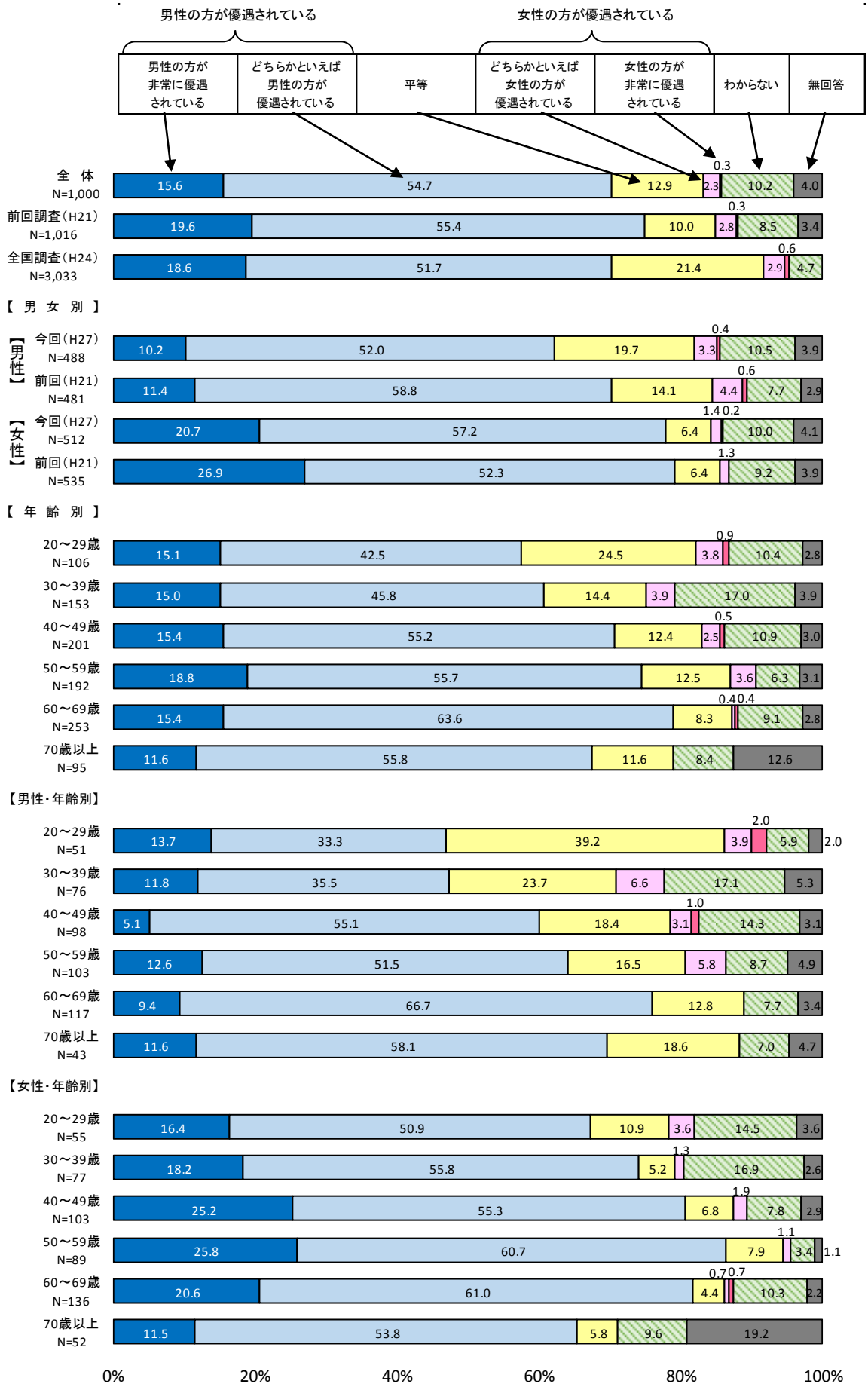
### 【年齢別】

年齢別にみると、60 歳代は「男性の方が優遇されている」とする人の割合が 79.0%と約 8 割を占めており、他の年代に比べて最も多くなっている。

### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性の 50 歳代は「男性の方が優遇されている」とする人の割合が 86.5%と 8 割を超えており、他の年代に比べて最も多くなっている。

図 1-6 社会通念・慣習・しきたりなどにおける男女の地位の平等感



## (7) 自治会やNPOなどの地域活動の場で

### 【全体】

自治会やNPOなどの地域活動の場では、「男性の方が優遇されている」とする人の割合が38.7%、「平等」が31.8%、「女性の方が優遇されている」とする人の割合が3.1%となっている。

### 【全国調査との比較】

全国調査と比較してみると、全国調査は「平等」が52.1%となっており、全国調査が富山県を20.3ポイント上回っている。

### 【男女別】

男女別にみると、女性は「男性の方が優遇されている」とする人の割合が45.0%と男性に比べて12.8ポイント多くなっている。一方男性は「平等」が40.4%と女性に比べて16.8ポイント多くなっている。

### 【年齢別】

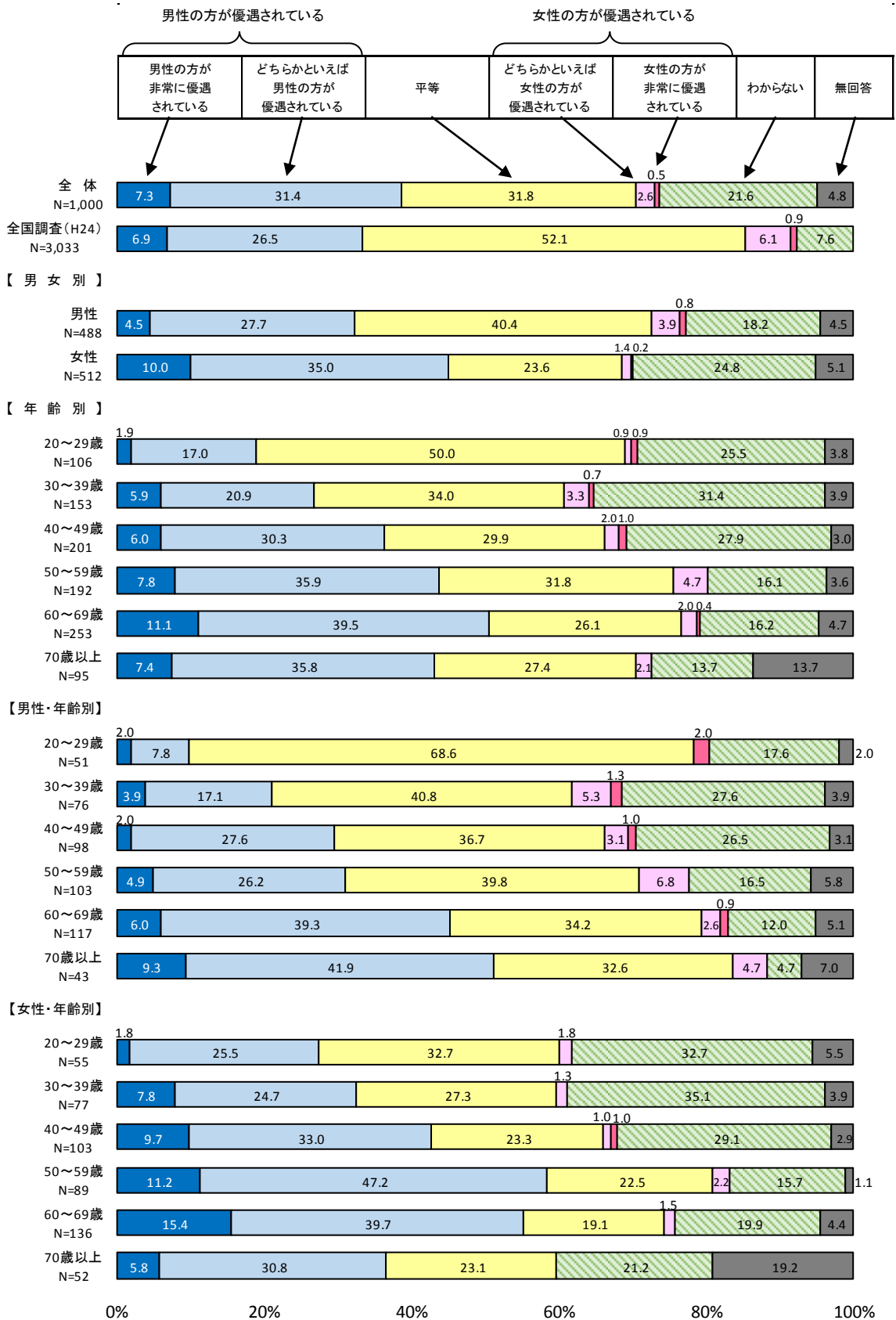
年齢別にみると、年齢が高いほど「男性の方が優遇されている」とする人の割合が多い傾向にあり、60歳代で50.6%と5割を超えている。

### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性の20歳代は「平等」が68.6%と約7割を占めており、30歳代以上に比べて多くなっている。



図 1-7 自治会やNPOなどの地域活動の場における男女の地位の平等感



※前回調査（H21）では同様の設問はなく、今回の調査で新たに追加

## 2 男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために最も重要なこと

問2 今後、あなたが、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために最も重要と思うことは何ですか。次の1～7の中から選んでください。(✓は1つ)

### 【全体】

今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために最も重要と思うことは何かを聞いたところ、「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること」が29.9%と最も多く、次いで「女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること」が22.2%、「女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図ること」が16.5%などとなっている。

### 【前回調査との比較】

前回の調査結果と比較してみると、「政府や企業などの重要な役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること」が2.2ポイント減少し、「女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること」が3.2ポイント増加している。

### 【男女別】

男女別にみると、男性は「法律や制度の上での見直しを行い、性差別につながるものを改めること」が12.1%と女性に比べて5.7ポイント多くなっており、一方女性は「女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること」が28.7%と男性に比べて13.3ポイント多くなっている。

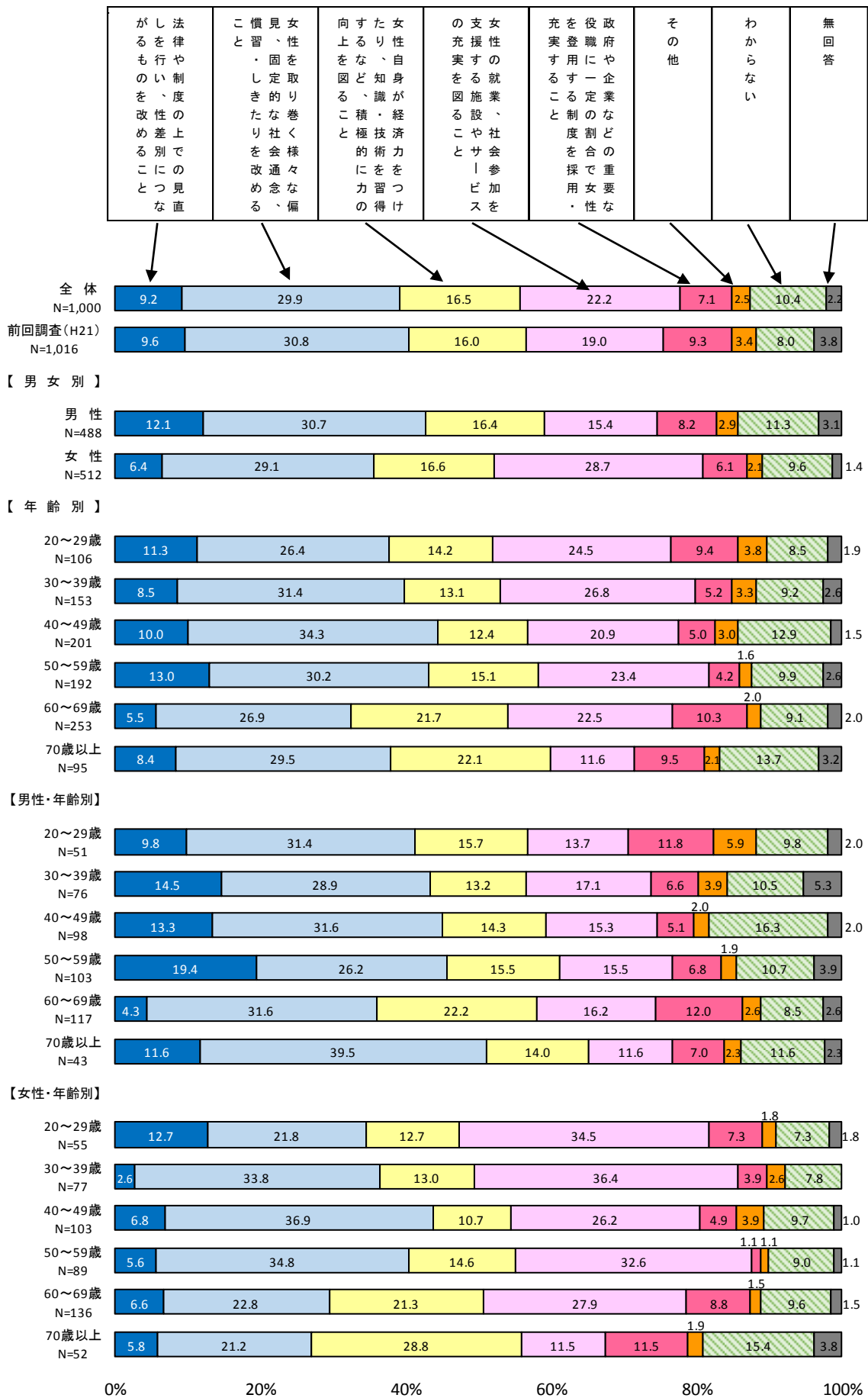
### 【年齢別】

年齢別にみると、60歳代以上で「女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図ること」が2割を占める。

### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性は年齢が高いほど「女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に力の向上を図ること」が多い傾向にある。

図2 男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために最も重要なこと



## Ⅱ 結婚・家庭に関する意識

### 3 結婚、家庭等についての考え方

問3 結婚、家庭等についての次のような考え方について、あなたの考え方に最も近いものはどれですか。次の(1)～(4)について、1～5の中から選んでください。(✓はそれぞれ1つ)

#### (1)「結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」という考え方

##### 【全体】

「結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」という考え方について聞いたところ、「賛成」とする人の割合が58.4%（「賛成」30.0%＋「どちらかといえば賛成」28.4%—以下同じ）、「反対」とする人の割合が32.6%（「反対」8.9%＋「どちらかといえば反対」23.7%—以下同じ）となっており、「賛成」とする人の割合が25.8ポイント多くなっている。

##### 【前回調査との比較】

前回の調査結果と比較してみると、「賛成」とする人の割合が0.7ポイント増加し、「反対」とする人の割合が1.0ポイント減少している。

##### 【男女別】

男女別にみると、女性は「賛成」とする人の割合が59.9%と男性に比べて3.1ポイント多くなっている。

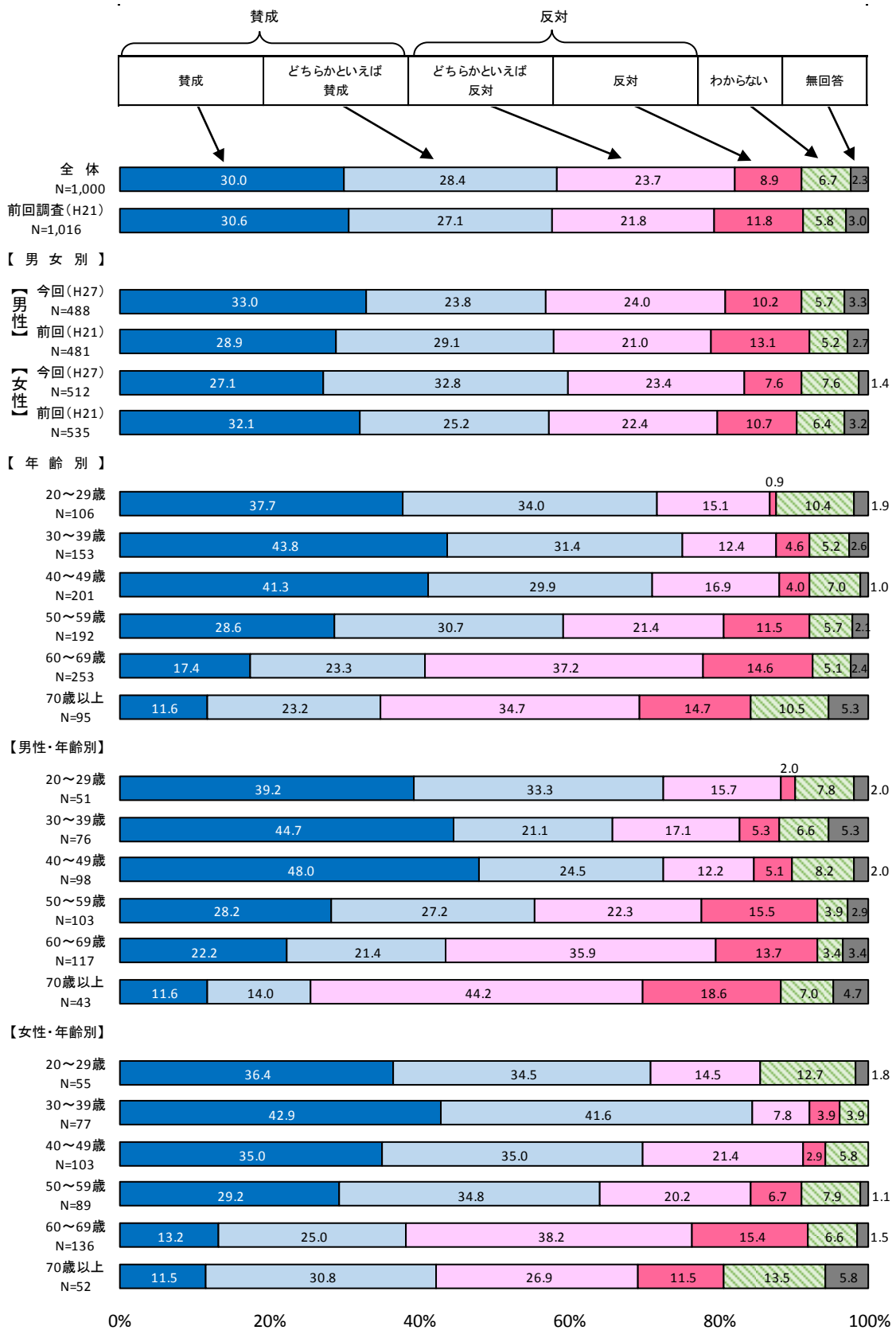
##### 【年齢別】

年齢別にみると年齢が高いほど「反対」とする人の割合が多い傾向にあり、20歳代から50歳代では、「賛成」とする人の割合が「反対」とする人の割合を上回り、60歳代以上では、「反対」とする人の割合が「賛成」とする人の割合を上回っている。

##### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性の30歳代は「賛成」とする人の割合が84.5%と8割を超えており、他の年代に比べて多くなっている。

図 3-1 「結婚は個人の自由であるから、結婚してもしなくてもどちらでもよい」という考え方



## (2)「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方

### 【全体】

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について聞いたところ、「賛成」とする人の割合が 25.7%、「反対」とする人の割合が 58.6%となっており、「反対」とする人の割合が 32.9 ポイント多くなっている。

### 【前回調査との比較】

前回の調査結果と比較してみると、「賛成」とする人の割合が 8.4 ポイント減少し、「反対」とする人の割合が 6.4 ポイント増加している。

### 【全国調査との比較】

全国調査と比較してみると、全国調査は、「賛成」とする人の割合が 44.6%に対して富山県は 25.7%となっており、全国調査が 18.9 ポイント上回っている。

### 【男女別】

男女別にみると、女性は「反対」とする人の割合が 61.9%と男性に比べて 6.8 ポイント多くなっている。男性の「反対」とする人の割合は 55.1%で、今回の調査で初めて 5 割を超えている。

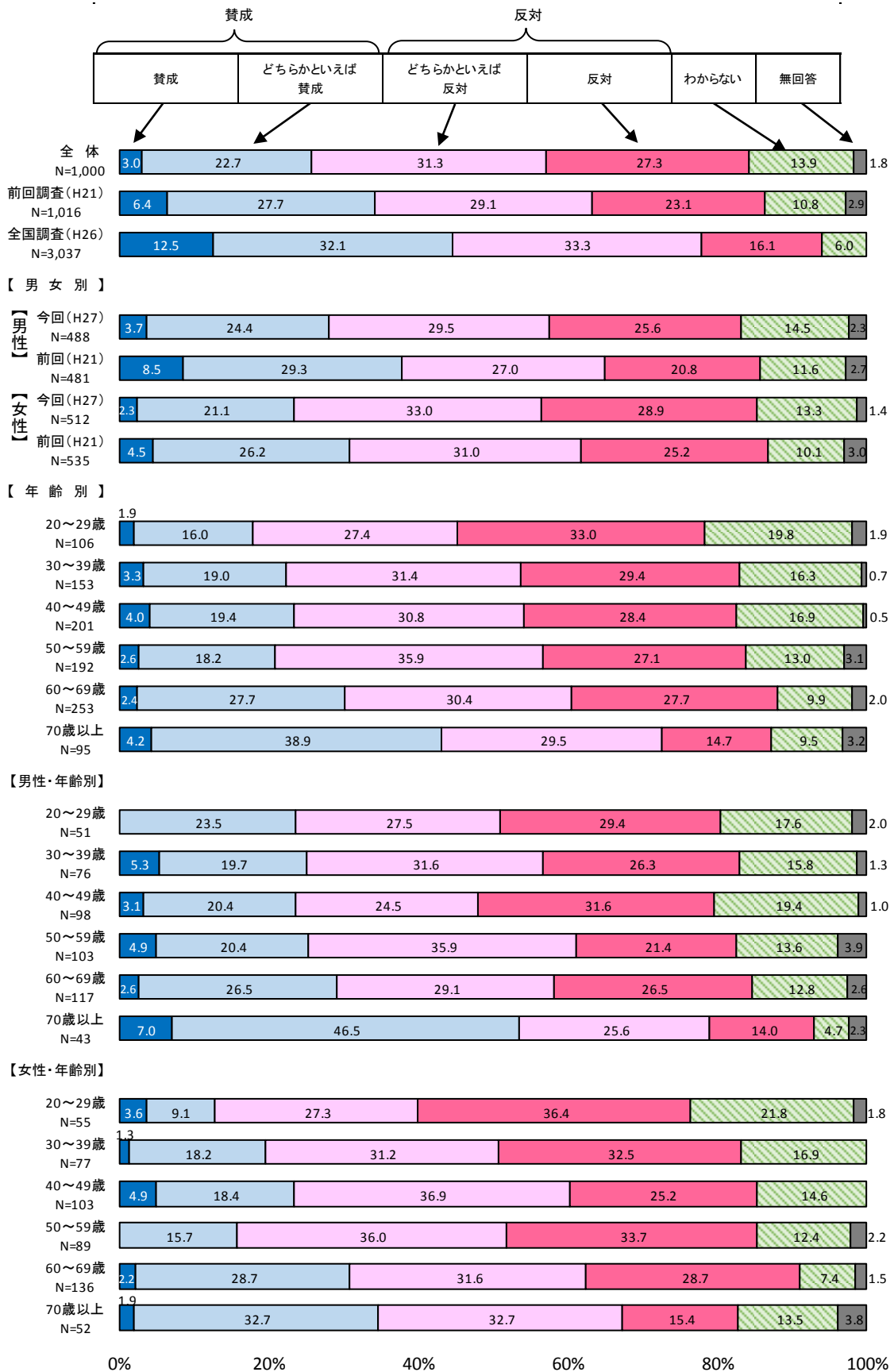
### 【年齢別】

年齢別にみると年齢が低いほど「反対」とする人の割合が多い傾向にあり、20 歳代では 60.4%と 6 割を超えている。

### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性の 70 歳以上は「賛成」とする人の割合が 53.5%と 5 割を超えており、他の年代に比べて多くなっている。

図 3-2 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方



### (3)「結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない」という考え方

#### 【全体】

「結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない」という考え方について聞いたところ、「賛成」とする人の割合が 34.4%、「反対」とする人の割合が 47.7%となっており、「反対」とする人の割合が 13.3 ポイント多くなっている。

#### 【前回調査との比較】

前回の調査結果と比較してみると、「賛成」とする人の割合が 3.8 ポイント増加し、「反対」とする人の割合が 4.3 ポイント減少している。

#### 【男女別】

男女別にみると、女性は「賛成」とする人の割合が 36.3%と男性に比べて 3.9 ポイント多くなっている。

#### 【年齢別】

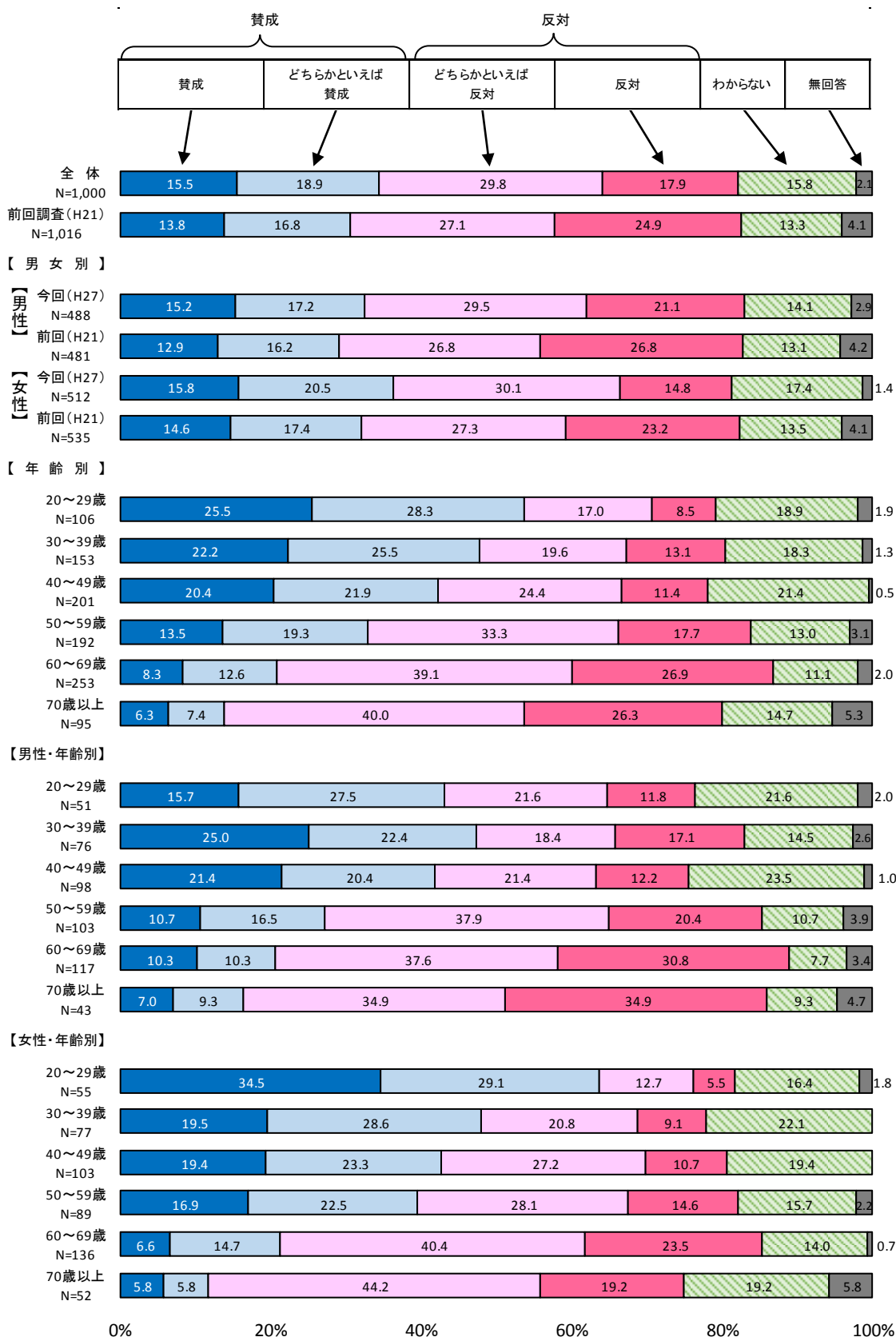
年齢別にみると、年齢が低いほど「賛成」とする人の割合が多く、年齢が高いほど「反対」とする人の割合が多くなっている。20 歳代から 40 歳代では、「賛成」とする人の割合が「反対」とする人の割合を上回り、50 歳代以上では、「反対」とする人の割合が「賛成」とする人の割合を上回っている。

#### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性は年齢が低いほど「賛成」とする人の割合が多くなっており、特に 20 歳代は「賛成」とする人の割合が 63.6%と 6 割を超えており、他の年代に比べて多くなっている。



図 3-3 「結婚しても必ずしも子どもをもつ必要はない」という考え方



#### (4)「結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい」という考え方

##### 【全体】

「結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい」という考え方について聞いたところ、「賛成」とする人の割合が40.7%、「反対」とする人の割合が37.1%となっており、「賛成」とする人の割合が3.6ポイント多くなっている。

##### 【前回調査との比較】

前回の調査結果と比較してみると、「賛成」とする人の割合が2.4ポイント増加し、「反対」とする人の割合が4.1ポイント減少している。

##### 【男女別】

男女別にみると、女性は「賛成」とする人の割合が42.2%と男性に比べて3.1ポイント多くなっている。

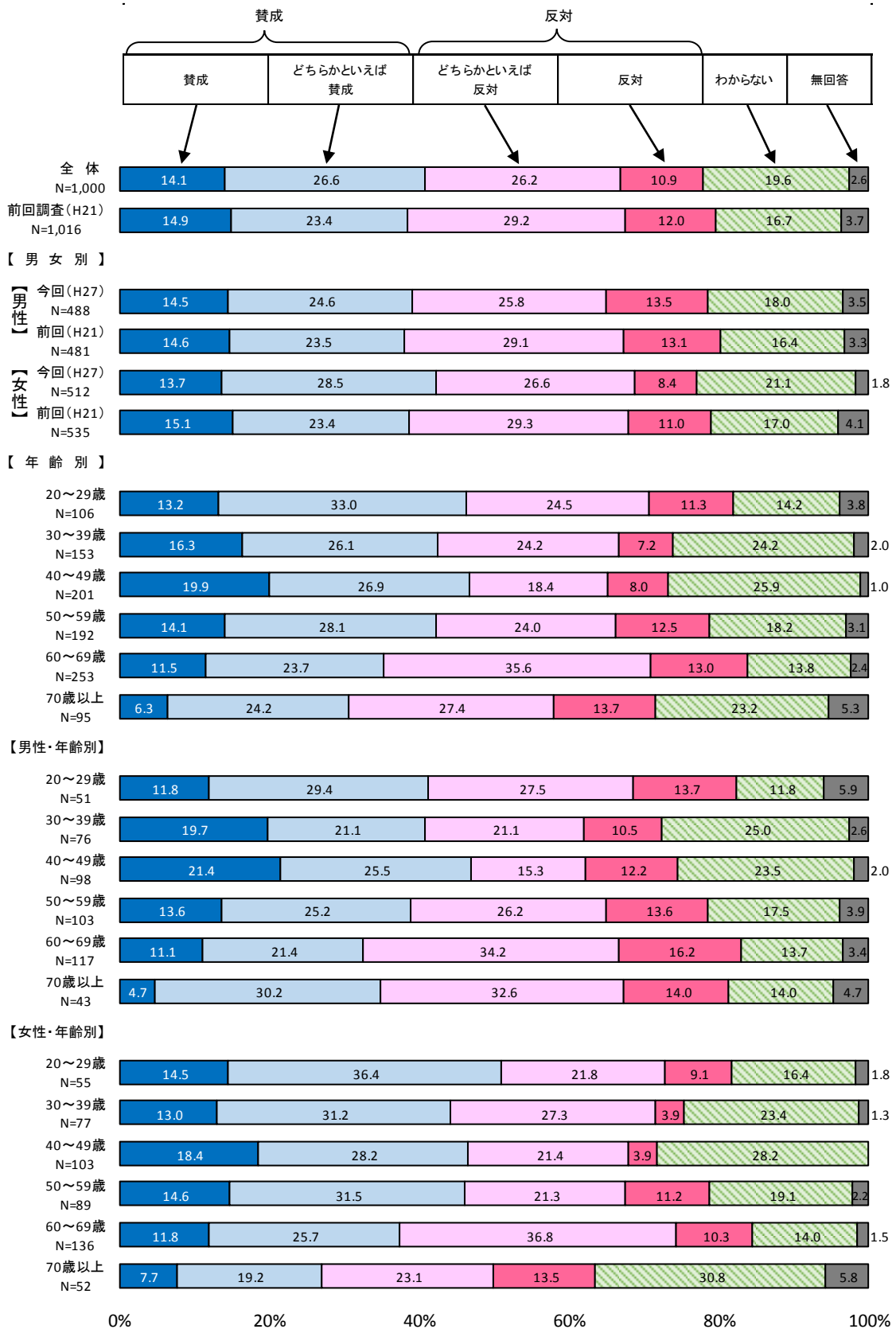
##### 【年齢別】

年齢別にみると、年齢が低いほど「賛成」とする人の割合が多い傾向にある。20歳代から50歳代では、「賛成」とする人の割合が「反対」とする人の割合を上回り、60歳代以上では、「反対」とする人の割合が「賛成」とする人の割合を上回っている。

##### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性は年齢が低いほど「賛成」とする人の割合が多い傾向にあり、女性の20歳代は50.9%と5割を超えており、他の年代に比べて多くなっている。

図 3-4 「結婚しても相手に満足できないときは離婚すればよい」という考え方



## 4 夫婦別姓についての考え方

問4 現在、結婚すると、夫婦が同じ名字（姓）を名乗ることが義務づけられていますが、法律が変わり夫婦が別々の名字（姓）を名乗ることが選択できるとしたらあなたはどのようにしたいですか。次の1～5の中から選んでください。現在あなたが未婚でこれから結婚すると仮定してお答えください。（✓は1つ）

### 【全体】

夫婦別姓について聞いたところ、「夫婦で同じ姓にしたい（自分の姓を変え、配偶者の姓を名乗ってもよい）」が38.3%と最も多く、次いで「夫婦で同じ姓にしたい（配偶者には自分の姓を名乗ってほしい）」が31.5%、「夫婦で同じ姓にしたい（自分の姓を変え、配偶者の姓を名乗ってもよいが職場では旧姓を名乗りたい）」が8.3%となっており、「夫婦で同じ姓にしたい」とする割合は78.1%となっている。一方で、「夫婦で別々の姓にしたい（自分の姓は変えたくない）」は6.7%となっている。

### 【前回調査との比較】

前回の調査結果と比較してみると、「夫婦で同じ姓にしたい（配偶者には自分の姓を名乗ってほしい）」が2.5ポイント減少し、「夫婦で同じ姓にしたい（自分の姓を変え、配偶者の姓を名乗ってもよい）」が2.1ポイント増加している。

### 【男女別】

男女別にみると、男性は「夫婦で同じ姓にしたい（配偶者には自分の姓を名乗ってほしい）」が56.6%と女性に比べて49.0ポイント多くなっており、一方女性は「夫婦で同じ姓にしたい（自分の姓を変え、配偶者の姓を名乗ってもよい）」が60.5%と男性に比べて45.5ポイント多くなっている。

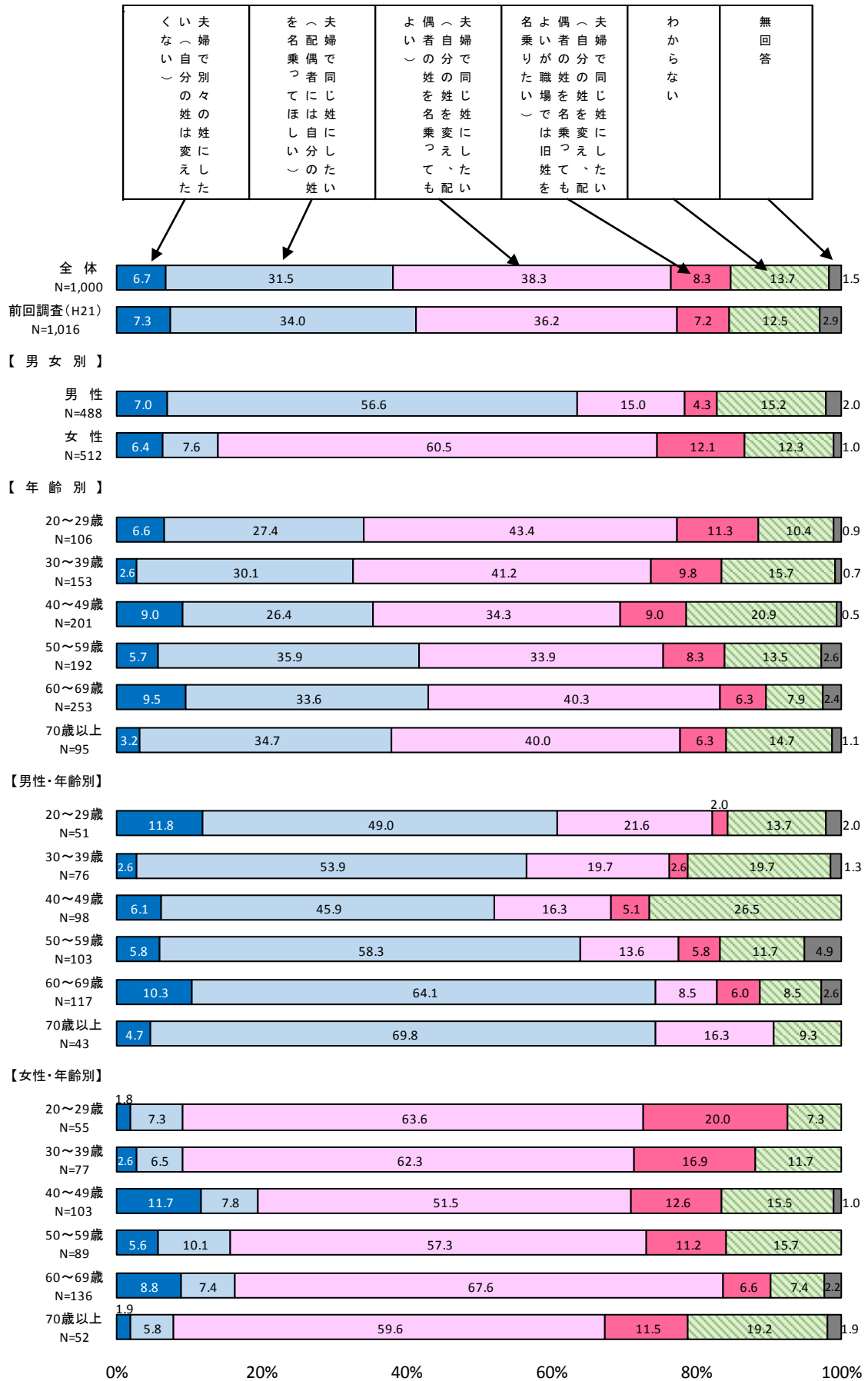
### 【年齢別】

年齢別にみると、年齢が低いほど「夫婦で同じ姓にしたい（自分の姓を変え、配偶者の姓を名乗ってもよいが職場では旧姓を名乗りたい）」が多く、20歳代で11.3%となっている。

### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性は年齢が低いほど「夫婦で同じ姓にしたい（自分の姓を変え、配偶者の姓を名乗ってもよい）」が多い傾向にあり、20歳代では2割を超えている。一方女性は年齢が低いほど「夫婦で同じ姓にしたい（自分の姓を変え、配偶者の姓を名乗ってもよいが職場では旧姓を名乗りたい）」が多い傾向にあり、20歳代では2割となっている。

図4 夫婦別姓についての考え方



## 5 家事などの役割分担

### 問5 配偶者のいる方にお聞きします。

現在、あなたの家庭では、次にあげるような家事などを主に誰が分担していますか。次の（１）～（３）について１～６の中から選んでください。（✓はそれぞれ１つ）

#### (1)炊事、洗濯、掃除などの家事

##### 【全体】

炊事、洗濯、掃除などの家事を主に誰が分担しているか聞いたところ、「妻」が81.4%と8割を超えており、次いで「夫婦（同じ程度）」が11.7%、「母親（自分または配偶者の）」が3.1%などとなっている。

##### 【前回調査との比較】

前回の調査結果と比較してみると、「夫婦（同じ程度）」が1.6ポイント、「夫」が1.3ポイントそれぞれ増加している。

##### 【男女別】

男女別にみると、男性は「夫」が2.6%と女性に比べて1.7ポイント多くなっており、一方女性は「夫婦（同じ程度）」が12.5%と男性に比べて1.8ポイント多くなっている。

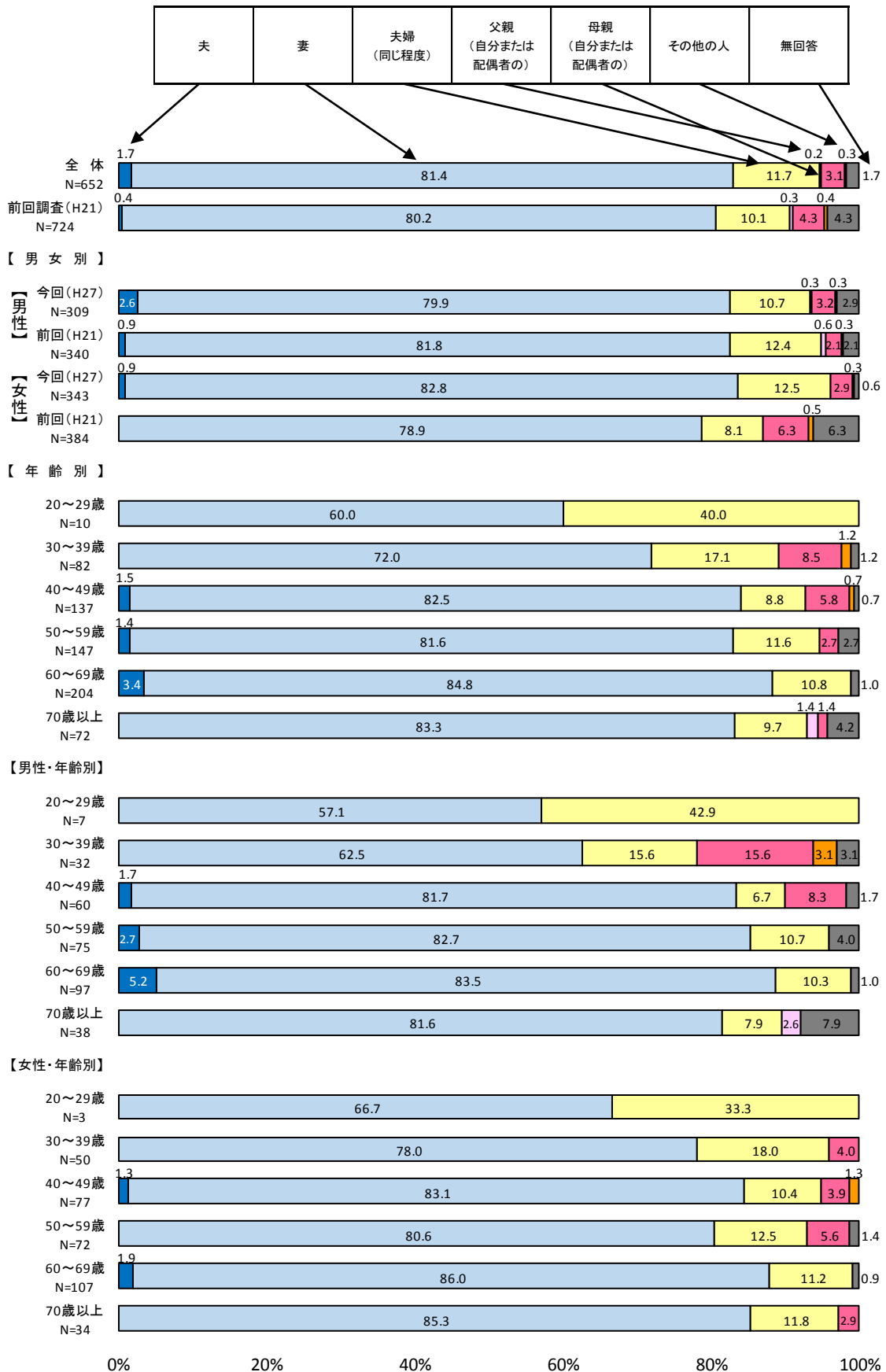
##### 【年齢別】

年齢別にみると、20歳代では「夫婦（同じ程度）」が4割となっている。

##### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性の30歳代は「母親（自分または配偶者の）」が15.6%となっており、他の年代に比べて多くなっている。

図 5-1 炊事、洗濯、掃除などの家事の役割分担状況



## (2) 育児(乳幼児の世話) ※乳幼児のいる家庭の方のみ

### 【全体】

乳幼児のいる家庭の方に、育児(乳幼児の世話)を主に誰が分担しているか聞いたところ、「妻」が77.9%と最も多く、次いで「夫婦(同じ程度)」が16.6%、「母親(自分または配偶者の)」が1.5%などとなっている。

### 【前回調査との比較】

前回の調査結果と比較してみると、「妻」が1.3ポイント、「夫婦(同じ程度)」が1.2ポイント増加し、「母親(自分または配偶者の)」が3.1ポイント減少している。

### 【男女別】

男女別にみると、男性は「夫婦(同じ程度)」が24.2%と女性に比べて14.6ポイント多くなっており、一方女性は「妻」が84.6%と男性に比べて14.1ポイント多くなっている。

### 【年齢別】

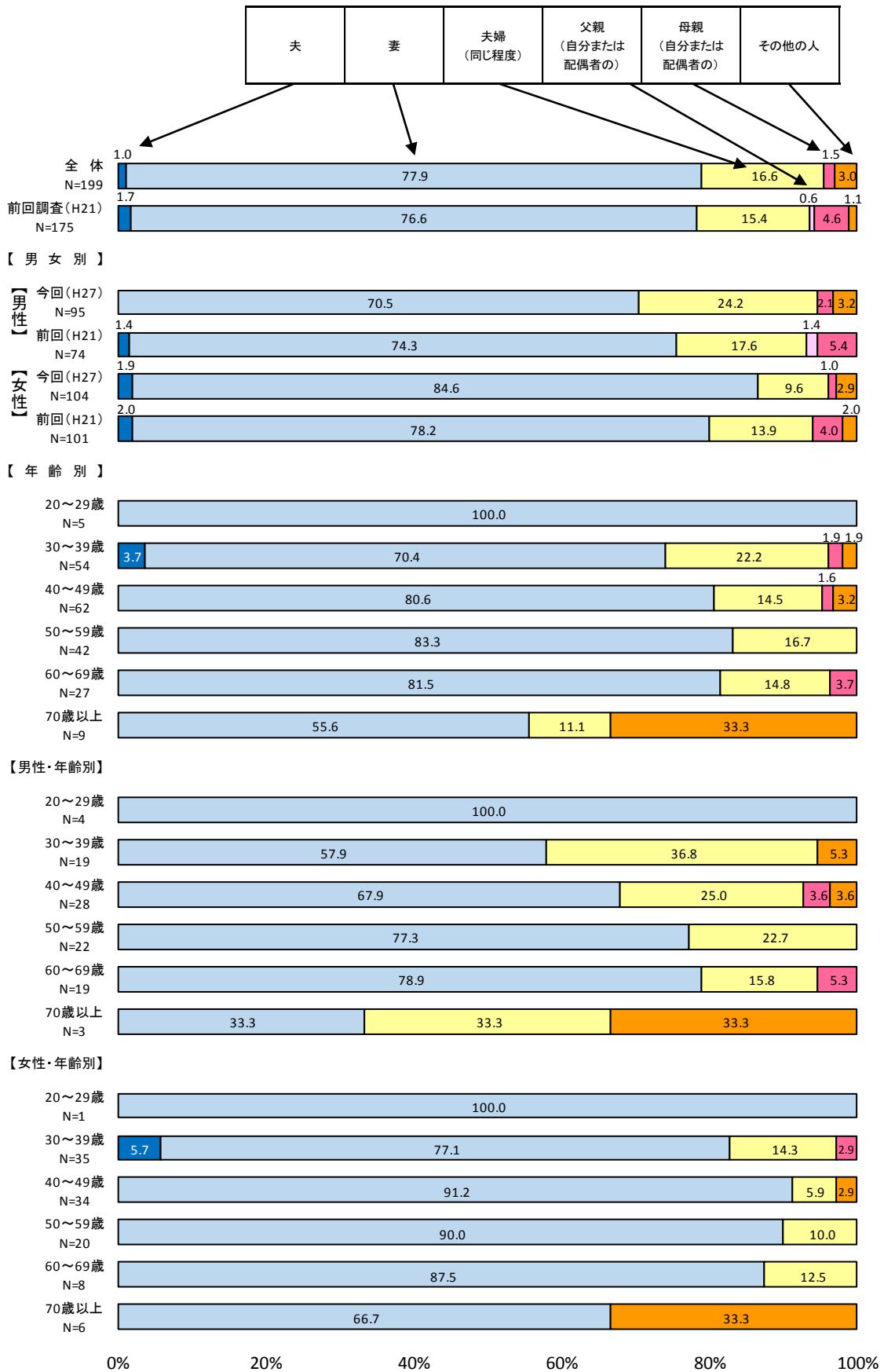
年齢別にみると、30歳代は「夫婦(同じ程度)」が22.2%と他に比べて多くなっている。

### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性の30歳代は「夫婦(同じ程度)」が36.8%となっており、他の年代に比べて多くなっている。



図 5-2 育児（乳幼児の世話）の役割分担状況 ※乳幼児のいる家庭の方のみ



※無回答を除く

### (3)お年寄りの介護 ※日常にお年寄りの介護をしている家庭の方のみ

#### 【全体】

日常にお年寄りの介護をしている家庭の方に、お年寄りの介護を主に誰が分担しているか聞いたところ、「妻」が46.5%と最も多く、次いで「夫婦（同じ程度）」が26.5%、「母親（自分または配偶者の）」が11.0%などとなっている。

#### 【前回調査との比較】

前回の調査結果と比較してみると、「妻」が10.6ポイント減少し、「夫」が5.2ポイント、「夫婦（同じ程度）」が7.7ポイントそれぞれ増加している。

#### 【男女別】

男女別にみると、男性は「夫婦（同じ程度）」が14.4ポイント、「夫」が9.7ポイントそれぞれ女性に比べて多くなっており、一方女性は「妻」が男性に比べて24.6ポイント多くなっている。

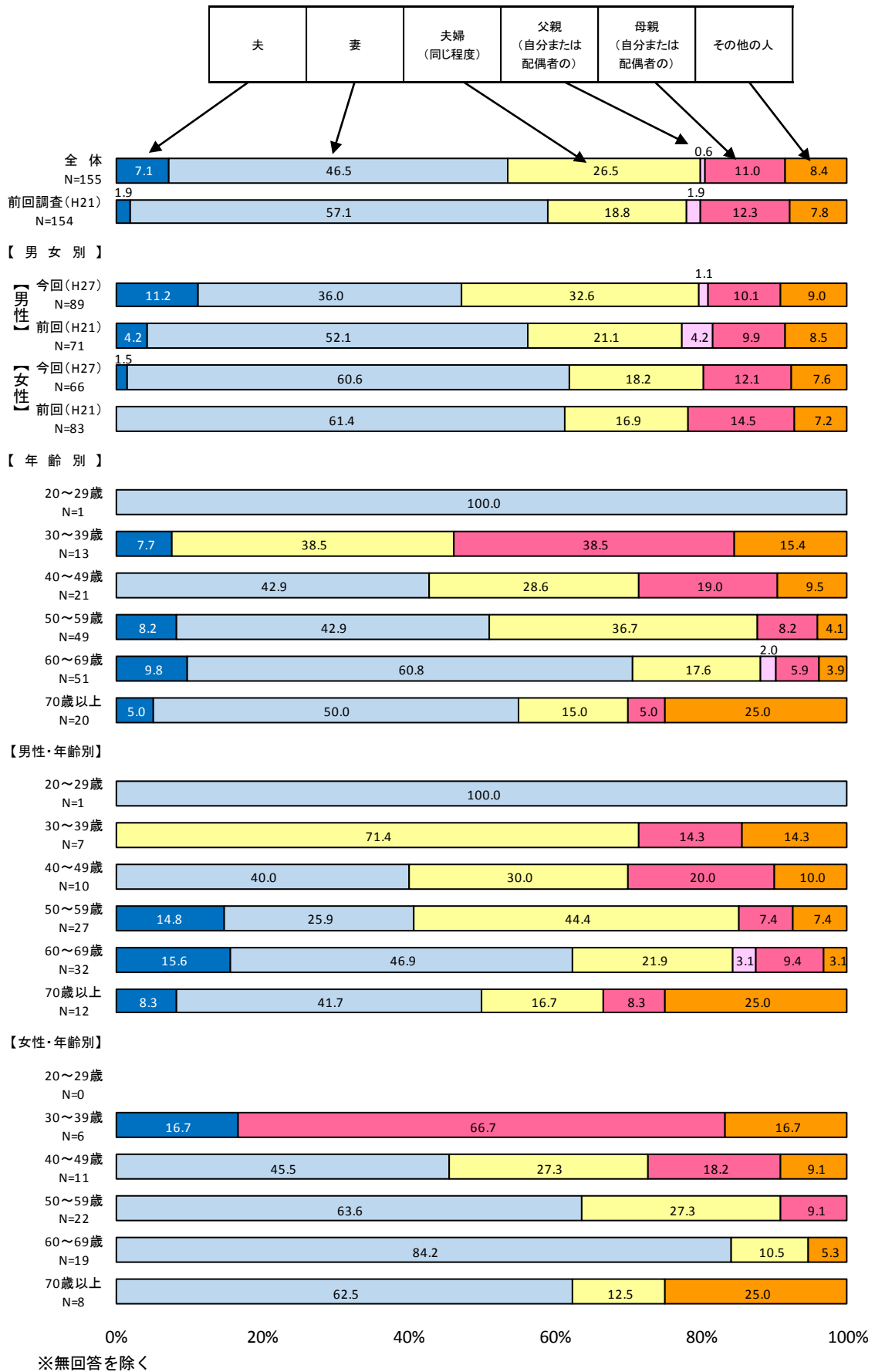
#### 【年齢別】

年齢別にみると、30歳代は「母親（自分または配偶者の）」が38.5%、70歳以上は「その他の人」が25.0%とそれぞれ他の年代に比べて多くなっている。

#### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性は50歳代から60歳代で「夫」が他の年代に比べて多くなっている。一方女性は60歳代で「妻」が84.2%と8割を超えており、他の年代に比べて多くなっている。

図 5-3 お年寄りの介護の役割分担状況 ※日常的にお年寄りの介護をしている家庭の方のみ



## 6 誰に介護をしてもらいたいか

問6 もし、あなたが介護を必要とする状態になった場合、介護保険制度を利用しながらも、主にだれに世話をしてもらいたいですか。また、あなたの親の場合には主にだれの世話を受けさせたいですか。次の1～9の中から選んでください。(✓はそれぞれ1つ)

### (1) 自分自身

#### 【全体】

自分自身が介護を必要とする状態になった場合、介護保険制度を利用しながらも、主に誰に世話をしてもらいたいか聞いたところ、「配偶者(妻または夫)」が37.8%と最も多く、次いで「施設の介護」が25.2%、「ホームヘルパー等の専門家(在宅介護)」が19.8%などとなっている。

#### 【前回調査との比較】

前回の調査結果と比較してみると、「娘」が2.6ポイント、「配偶者(妻または夫)」が2.4ポイントそれぞれ減少しており、一方で、「ホームヘルパー等の専門家(在宅介護)」が5.0ポイント、「施設の介護」が3.1ポイントそれぞれ増加している。

#### 【男女別】

男女別にみると、男性は「配偶者(妻または夫)」が51.4%と女性に比べて26.6ポイント多くなっており、一方女性は「娘」が15.8%と男性に比べて13.5ポイント多くなっている。

#### 【年齢別】

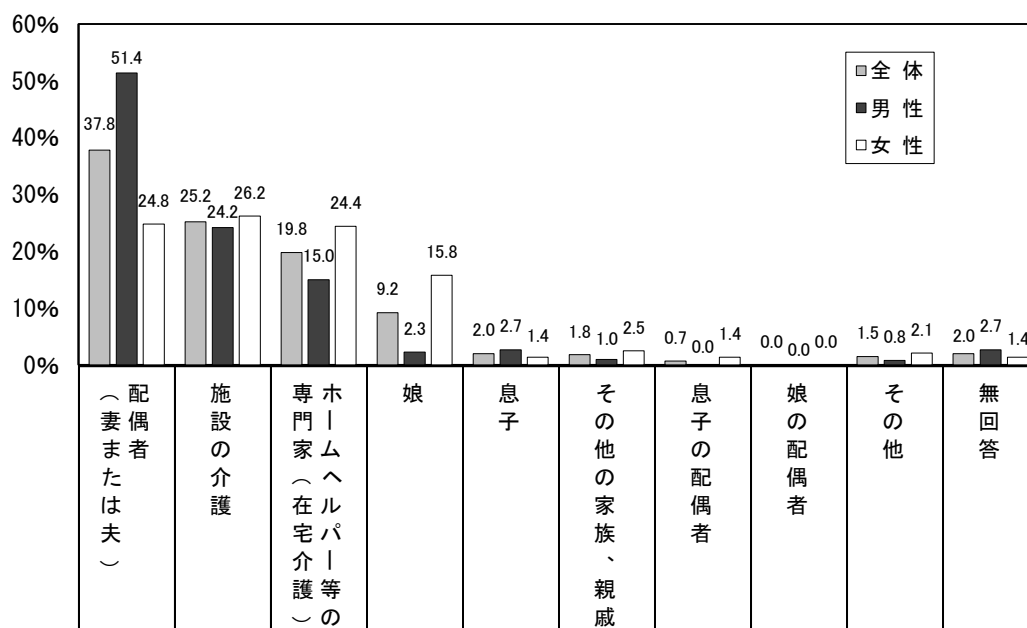
年齢別にみると、30歳代から40歳代は「ホームヘルパー等の専門家(在宅介護)」が2割を超えており、50歳以上は「配偶者(妻または夫)」が4割を超えている。

#### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性は年齢が高いほど「配偶者(妻または夫)」が多い傾向にあり、70歳以上では67.4%となっている。

女性の30歳代は「ホームヘルパー等の専門家(在宅介護)」が32.5%と3割を超えており、他の年代に比べて多くなっている。

図 6-1 誰に介護をしてもらいたいか（自分自身）※自分からみた続柄



		全体	前回調査(H21)	男性	女性	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上
	全体 N=1,000	37.8	40.2	51.4	24.8	32.1	28.1	35.3	41.7	43.5	42.1
	前回調査(H21) N=1,016	40.2	22.1	24.2	26.2	25.5	24.8	25.9	24.0	26.1	24.2
男女別	男性 N=488	51.4	14.8	15.0	24.4	12.3	9.2	9.5	8.3	7.9	10.5
	女性 N=512	24.8	11.8	15.8	15.8	4.7	2.0	1.5	1.6	1.2	2.1
年齢別	20~29歳 N=106	32.1	2.5	1.0	2.5	4.7	2.0	1.5	2.6	0.8	5.3
	30~39歳 N=153	28.1	1.0	1.3	1.4	4.7	1.3	1.5	2.6	-	-
	40~49歳 N=201	35.3	1.3	1.4	1.4	-	-	-	-	-	-
	50~59歳 N=192	41.7	2.1	2.1	2.1	-	-	-	-	-	-
	60~69歳 N=253	43.5	1.5	0.8	0.8	-	-	-	-	-	-
	70歳以上 N=95	42.1	1.1	1.1	1.1	-	-	-	-	-	-
性別	20~29歳 N=51	41.2	3.9	3.9	3.9	-	-	-	-	-	-
	30~39歳 N=76	38.2	5.3	5.3	5.3	-	-	-	-	-	-
	40~49歳 N=98	46.9	3.1	3.1	3.1	-	-	-	-	-	-
	50~59歳 N=103	52.4	1.9	1.9	1.9	-	-	-	-	-	-
	60~69歳 N=117	61.5	0.9	0.9	0.9	-	-	-	-	-	-
	70歳以上 N=43	67.4	2.3	2.3	2.3	-	-	-	-	-	-
女性	20~29歳 N=55	23.6	5.5	5.5	5.5	-	-	-	-	-	-
	30~39歳 N=77	18.2	2.6	2.6	2.6	-	-	-	-	-	-
	40~49歳 N=103	24.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	50~59歳 N=89	29.2	2.2	2.2	2.2	-	-	-	-	-	-
	60~69歳 N=136	27.9	1.5	1.5	1.5	-	-	-	-	-	-
	70歳以上 N=52	21.2	1.9	1.9	1.9	-	-	-	-	-	-

## (2) 自分の親

### 【全体】

自分の親が介護を必要とする状態になった場合、介護保険制度を利用しながらも、主に誰（回答者の親からみた続柄）に世話をしてもらいたいか聞いたところ、「娘」が 23.0%と最も多く、次いで「息子」が 18.3%、「施設の介護」が 17.8%などとなっている。

### 【前回調査との比較】

前回の調査結果と比較してみると、「息子」が 12.0 ポイント、「娘」が 4.6 ポイントそれぞれ増加しており、一方で、「配偶者（妻または夫）」が 10.4 ポイント、「ホームヘルパー等の専門家（在宅介護）」が 4.7 ポイント、「施設の介護」が 3.0 ポイントそれぞれ減少している。

### 【男女別】

男女別にみると、男性は「息子」が 35.2%、女性は「娘」が 39.8%となっており、それぞれ最も多くなっている。

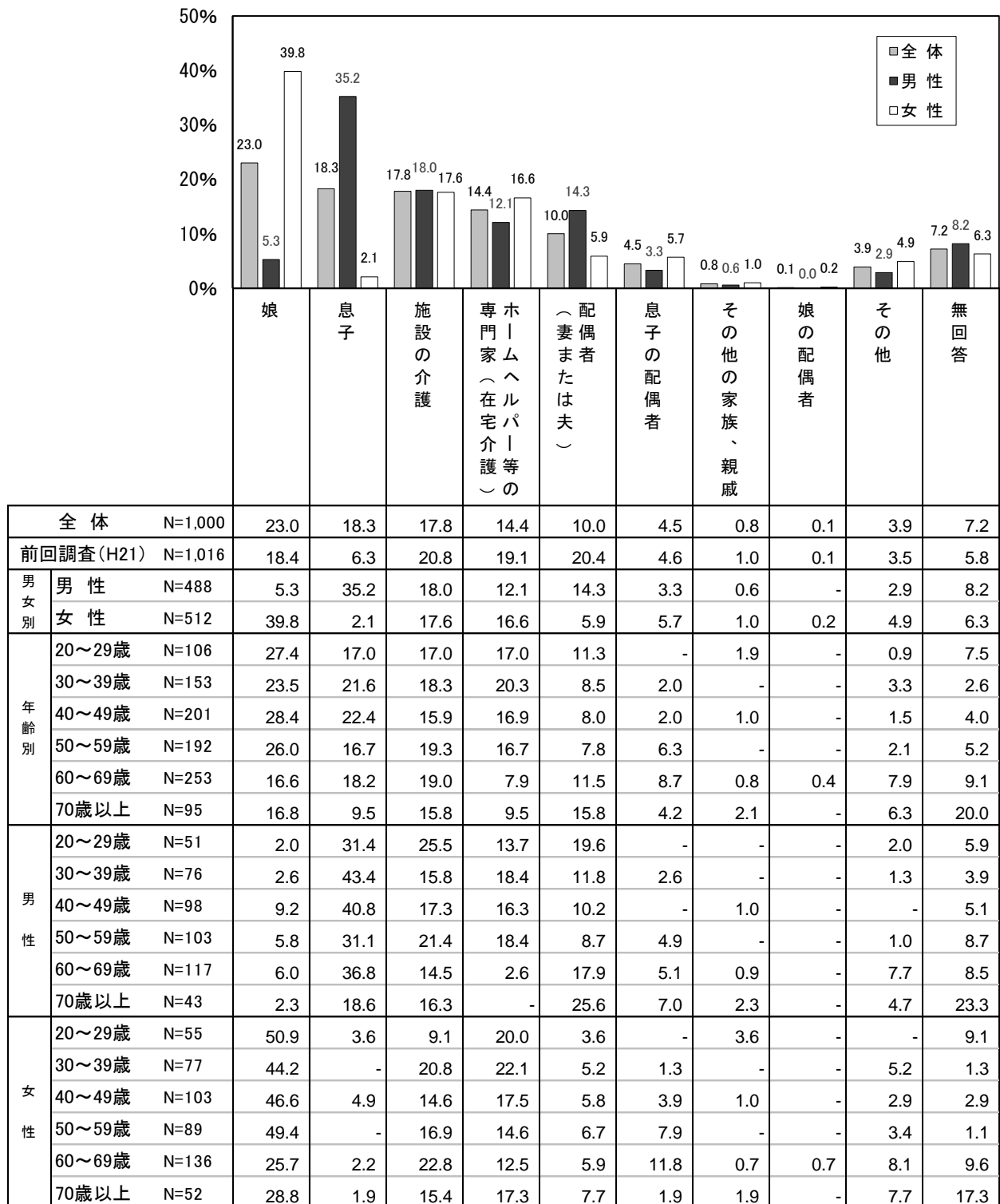
### 【年齢別】

年齢別にみると、60 歳代は「施設の介護」、その他の年代は「娘」が最も多くなっている。

### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性の 20 歳代から 50 歳代は「娘」が 4 割以上と多くなっている。特に 20 歳代は 50.9%と 5 割を超えている。

図 6-2 誰に介護をしてもらいたいか（自分の親）※自分の親からみた続柄



### Ⅲ 子ども・教育

#### 7 理想と現実の子どもの数

問7 あなたは理想として、あなた自身に何人の子どもがいるのがよいと思いますか。また、あなたは実際には生涯に何人子どもを持つつもりですか（持ちましたか）。次の（1）～（2）について、1～5の中から選んでください。（✓はそれぞれ1つ）

##### （1）理想の子どもの数

###### 【全体】

理想の子どもの数を聞いたところ、「2人」が49.3%と最も多く、次いで「3人以上」が35.2%、「1人」が2.2%となっている。

###### 【前回調査との比較】

前回の調査結果と比較してみると、「3人以上」が9.6ポイント減少し、「2人」が9.8ポイント増加している。

また、前回調査では「3人以上」が最も多いが、今回の調査では、「2人」が最も多くなっている。

###### 【男女別】

男女別にみると、男性は「2人」が51.4%と女性に比べて4.1ポイント多くなっており、一方女性は「3人以上」が39.3%と男性に比べて8.4ポイント多くなっている。

###### 【年齢別】

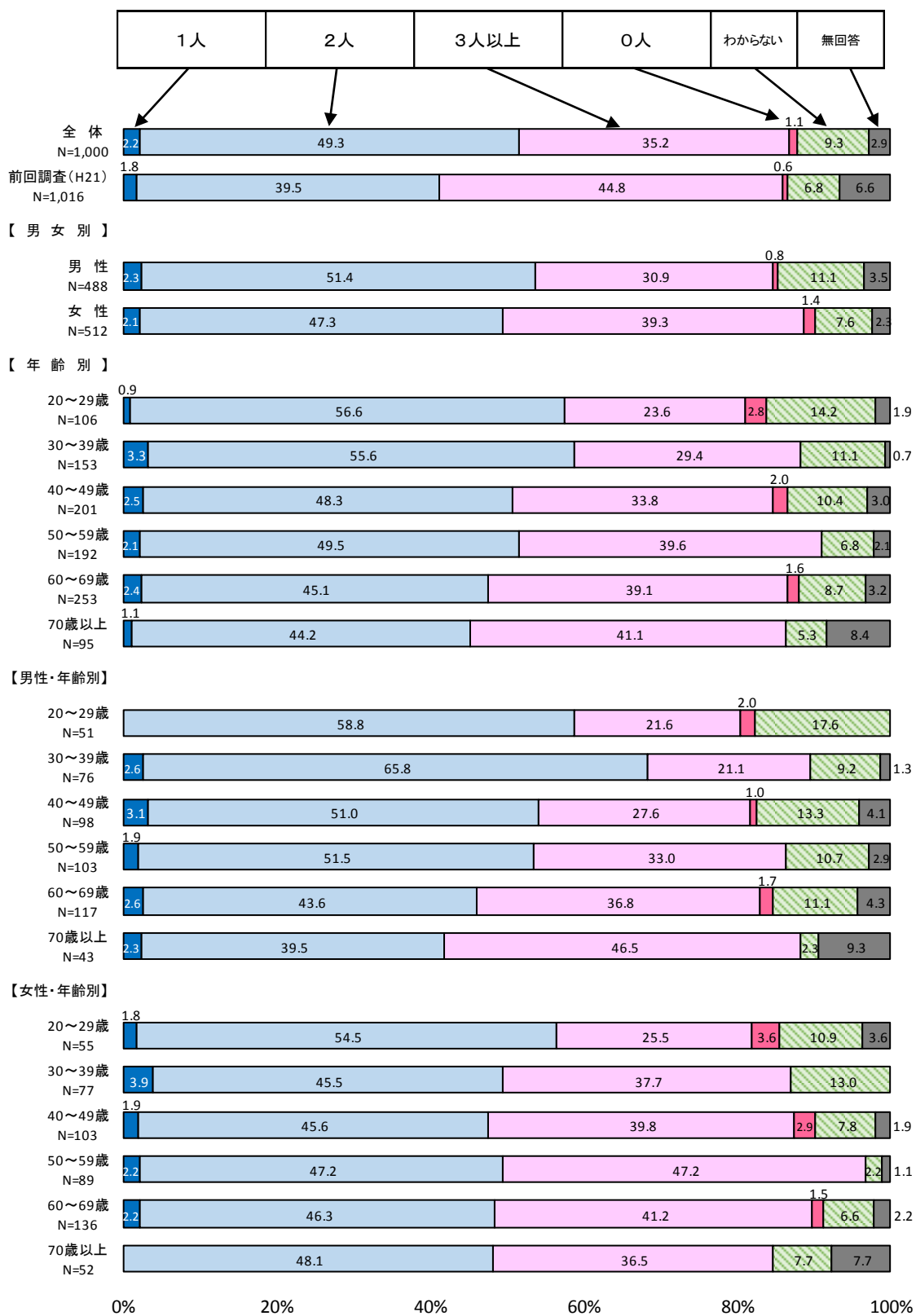
年齢別にみると、年齢が高いほど「3人以上」が多い傾向にあり、70歳以上では41.1%と4割を超えている。

###### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性は年齢が高いほど「3人以上」が多い傾向にある。女性の50歳代は「3人以上」が47.2%と他に比べて多くなっている。



図 7-1 理想の子どもの数



## (2)実際に持つつもりの子どもの数(現実の子どもの数)

### 【全体】

実際に持つつもりの子どもの数(現実の子どもの数)を聞いたところ、「2人」が48.6%と最も多く、次いで「3人以上」が14.9%、「1人」が12.3%となっている。

### 【前回調査との比較】

前回の調査結果と比較してみると、「3人以上」が2.9ポイント減少し、「0人」が4.0ポイント増加している。

### 【男女別】

男女別にみると、女性は「2人」が4.5ポイント、「3人以上」が2.3ポイントそれぞれ男性に比べて多く、一方男性は「0人」が11.1%と女性に比べて3.1ポイント多くなっている。

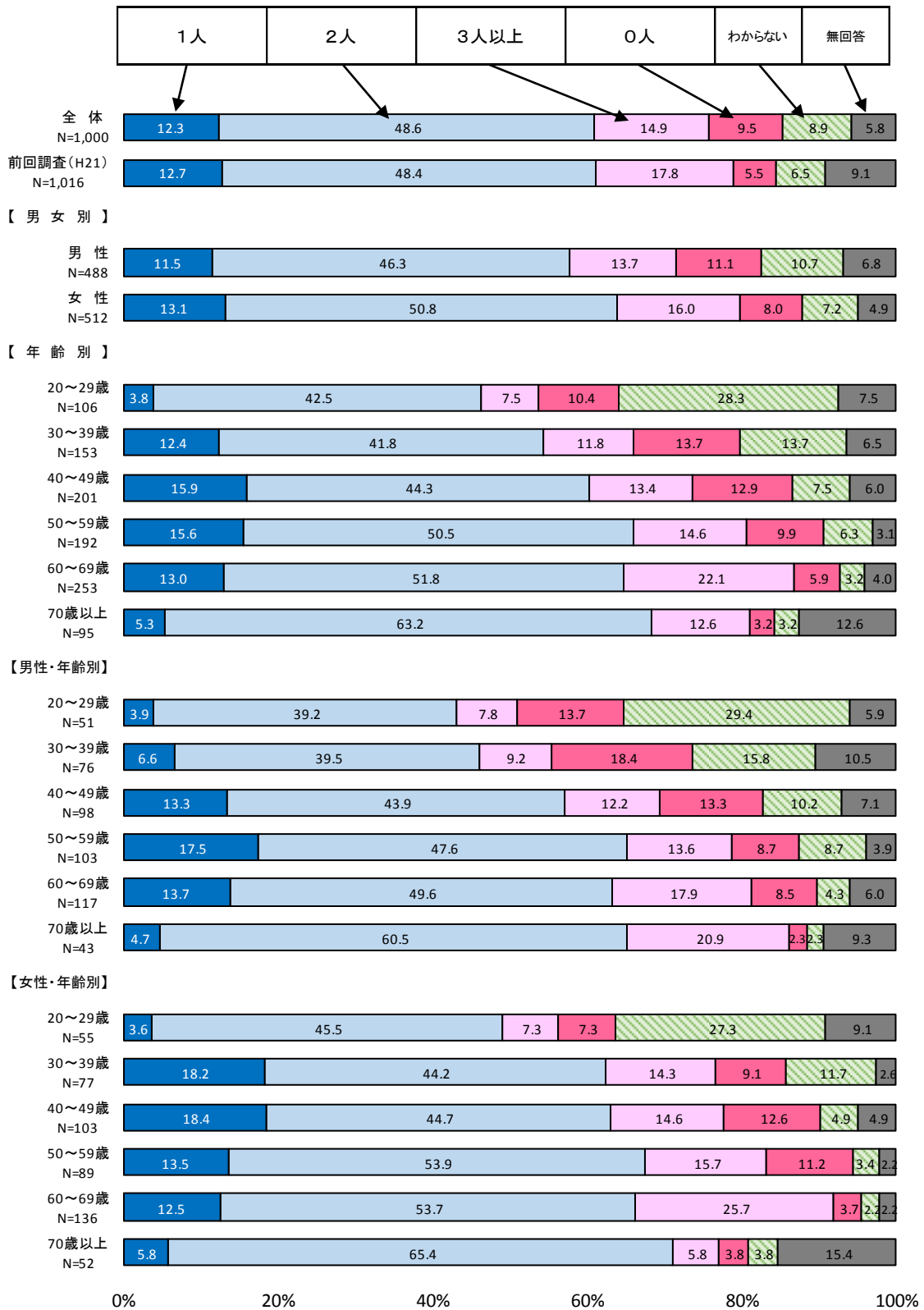
### 【年齢別】

年齢別にみると、年齢が高いほど「2人」、「3人以上」が多い傾向にある。

### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性は年齢が高いほど「3人以上」が多い傾向にある。女性の60歳代は「3人以上」が25.7%と他の年代に比べて多くなっている。

図 7-2 実際に持つつもりの子どもの数（現実の子どもの数）



### (3)理想と現実の比較

#### 【全体】

理想の子どもの数と現実の子どもの数を比較すると、理想では「3人以上」が35.2%となっているが、現実では14.9%と20.3ポイントの差がある。

#### 【男女別】

男女別にみると、女性の理想では「3人以上」が39.3%となっているが、現実では16.0%と23.3ポイントの差がある。

#### 【年齢別】

年齢別にみると、年齢が高いほど「3人以上」の理想と現実の差が大きい傾向にあり、70歳以上では理想が41.1%、現実が12.6%と28.5ポイントの差がある。

#### 【子どもの状況別】

子どもの状況別にみると、現在子どもがいない方の理想は、「1人」が2.9%、「2人」が52.6%、「3人以上」が19.8%、「0人」が2.9%などとなっており、現実では「1人」が7.8%、「2人」が22.4%、「3人以上」が4.5%、「0人」が28.6%などとなっている。

#### 【共働き状況別】

共働き状況別にみると、大きな差異はみられない。

図 7-3 理想と現実の比較

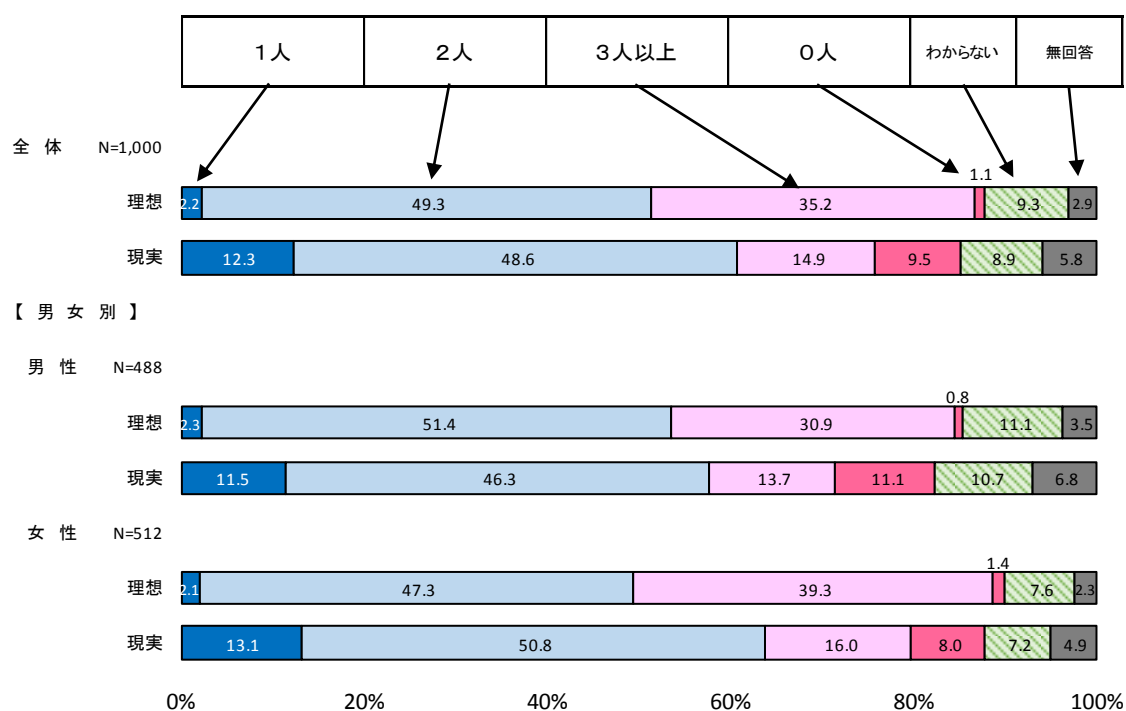
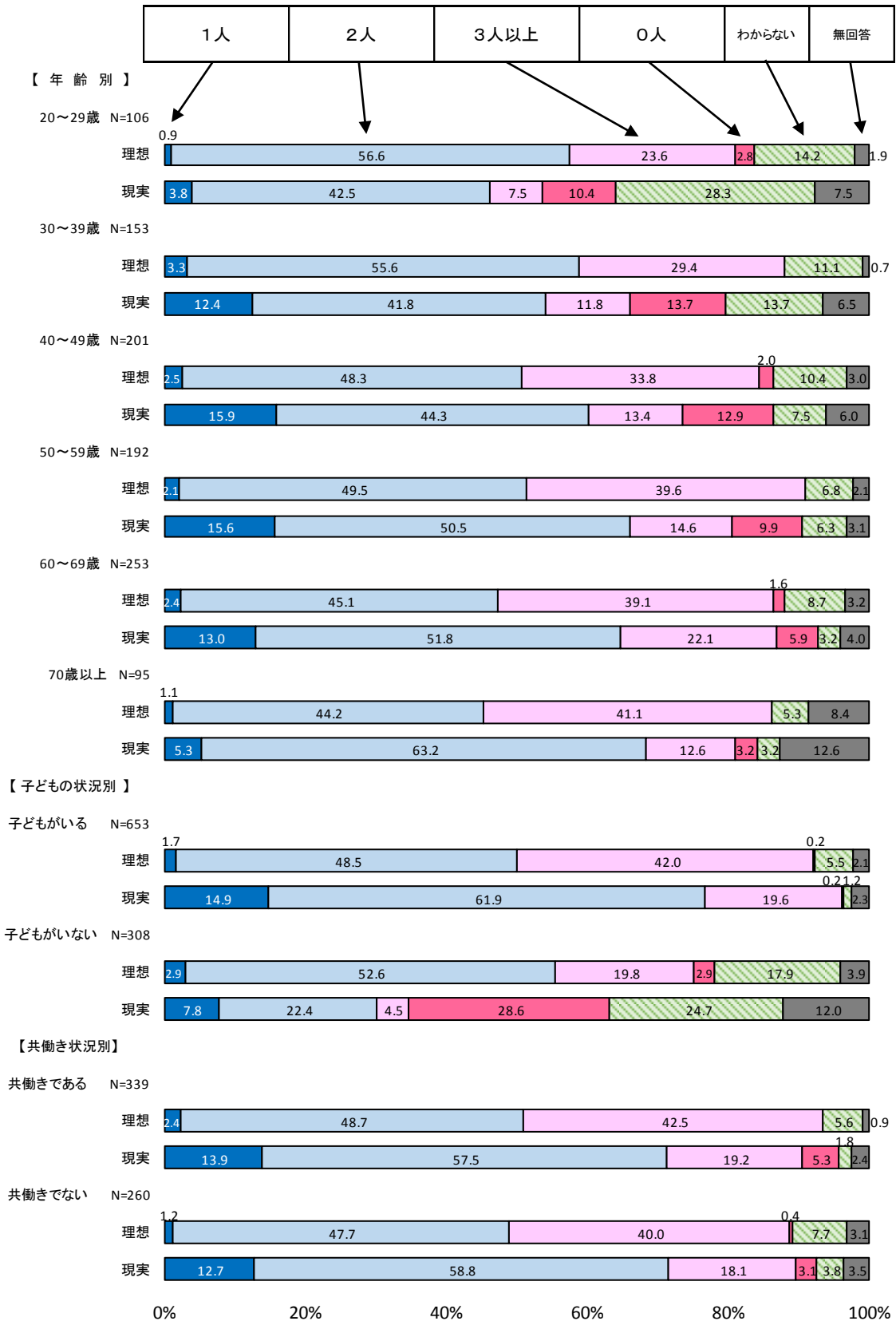


図 7-4 理想と現実の比較（年齢別、子どもの状況別）



## 8 実際の子どもの数が理想とする子どもの数より少ない理由

問8 問7で実際の子どもの数が理想より少なかった方にお聞きします。

実際の子どもの数が理想とする子どもの数より少ない理由は何ですか。次の1～14の中から選んでください。(あてはまるものすべてに✓) また、選んだ中で、特に重要なものについて1つだけ番号を記入してください。

### 【全体】

実際の子どもの数が理想とする子どもの数より少ない理由について聞いたところ、「経済的負担が増えるのは大変だから」が50.4%と最も多く、次いで「欲しいけれどもできないから」が19.4%、「出産の心理的、肉体的不安があるから」が13.7%などとなっている。

### 【前回調査との比較】

前回の調査結果と比較してみると、「経済的負担が増えるのは大変だから」が12.4ポイント減少し、「欲しいけれどもできないから」が4.5ポイント増加している。

### 【男女別】

男女別にみると、女性は「復職や再就職ができる就業環境や雰囲気がないから」が11.8ポイント、「配偶者の家事・育児への協力が得られないから」が9.2ポイントそれぞれ男性に比べて多くなっている。

### 【年齢別】

年齢別にみると、20歳代は「育児・子育てに自信がないから」、「子育て以外にも時間を使いたいことがあるから」がそれぞれ22.2%と30歳代以上に比べて多くなっている。

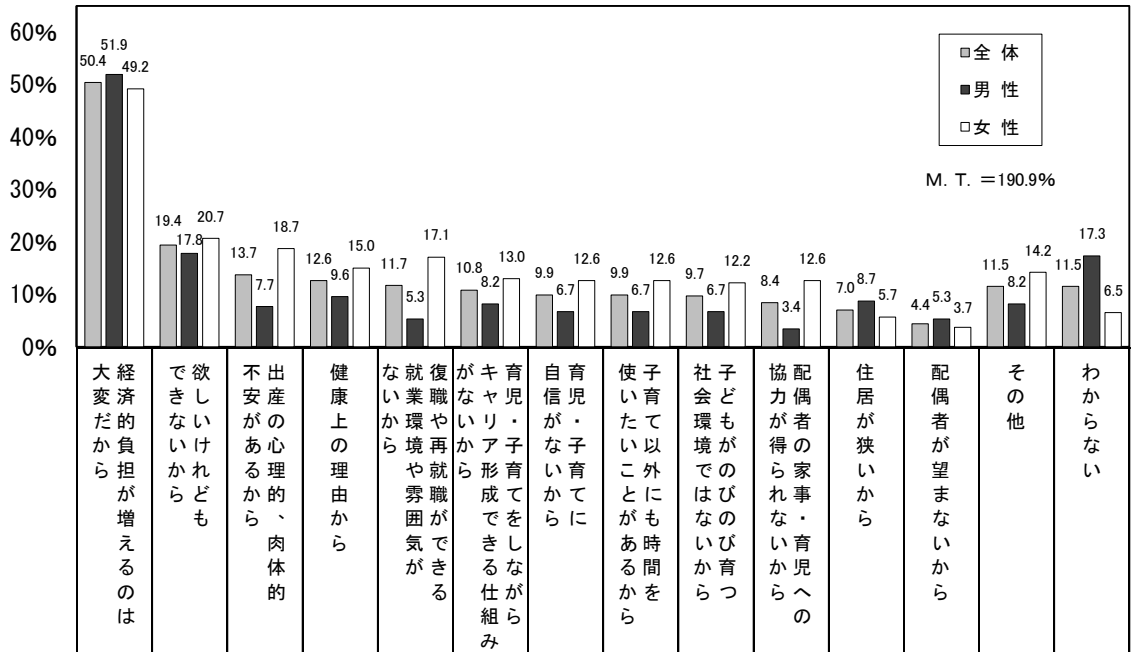
### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性の20歳代は「育児・子育てに自信がないから」、「子育て以外にも時間を使いたいことがあるから」がそれぞれ35.3%と3割を超えている。

### 【特に重要なもの】

実際の子どもの数が理想とする子どもの数より少ない理由として特に重要なものについてみると、「経済的負担が増えるのは大変だから」が41.6%と最も多く、次いで「欲しいけれどもできないから」が12.1%、「健康上の理由から」が8.2%となっている。

図8 実際の子どもの数が理想とする子どもの数より少ない理由 [M. A.]



性別	年齢	理由	全体 (%)	男性 (%)	女性 (%)
全体	N=454		50.4	19.4	13.7
前回調査(H21)	N=395		62.8	14.9	16.7
男女別	男性 N=208		51.9	17.8	7.7
	女性 N=246		49.2	20.7	18.7
年齢別	20~29歳 N=36		63.9	11.1	8.3
	30~39歳 N=70		45.7	17.1	15.7
	40~49歳 N=97		52.6	22.7	20.6
	50~59歳 N=99		53.5	19.2	12.1
	60~69歳 N=107		44.9	22.4	13.1
	70歳以上 N=45		48.9	15.6	4.4
男性	20~29歳 N=19		63.2	15.8	-
	30~39歳 N=34		38.2	14.7	5.9
	40~49歳 N=39		61.5	12.8	7.7
	50~59歳 N=51		58.8	17.6	9.8
	60~69歳 N=49		38.8	24.5	12.2
	70歳以上 N=16		62.5	18.8	-
女性	20~29歳 N=17		64.7	5.9	17.6
	30~39歳 N=36		52.8	19.4	25.0
	40~49歳 N=58		46.6	29.3	29.3
	50~59歳 N=48		47.9	20.8	14.6
	60~69歳 N=58		50.0	20.7	13.8
	70歳以上 N=29		41.4	13.8	6.9
本人の雇用形態	常勤 (フルタイム) N=188		52.7	20.7	14.9
	非常勤 (パート・アルバイトなど) N=48		56.3	25.0	18.8
	その他 N=3		33.3	-	-
配偶者の雇用形態	常勤 (フルタイム) N=118		53.4	22.9	14.4
	非常勤 (パート・アルバイトなど) N=48		56.3	25.0	16.7
	その他 N=1		100.0	100.0	100.0

特に重要なもの	N=281	41.6	12.1	6.0	8.2	3.6	4.3	2.5	3.9	3.2	2.1	1.8	1.8	6.0	2.8
---------	-------	------	------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

※無回答を除く

## 9 子どもに受けさせたい教育の程度

問9 あなたは自分の子どもにどの程度教育を受けさせたいと思いますか。(1) 男の子 (2) 女の子について、次の1～7の中から選んでください。(✓はそれぞれ1つ)  
※子どものいない方は、仮に子どもを持つとしたらとしてお答えください。

### (1) 男の子の場合

#### 【全体】

自分の子どもが男の子の場合、どの程度まで教育を受けさせたいと思うかについて聞いたところ、「大学以上」が50.4%と最も多く、次いで「子ども次第」が30.8%などとなっている。

#### 【前回調査との比較】

前回の調査結果と比較してみると、「大学以上」が2.9ポイント、「子ども次第」が2.7ポイントそれぞれ増加し、「高等学校まで」が2.1ポイント、「短期大学（高等専門学校を含む）まで」が2.5ポイントそれぞれ減少している。

#### 【男女別】

男女別にみると、女性は「大学以上」が53.7%と男性に比べて6.8ポイント多く、一方男性は「高等学校まで」が7.6%と女性に比べて5.6ポイント多くなっている。

#### 【年齢別】

年齢別にみると、年齢が低いほど「子ども次第」が多い傾向にあり、20歳代では41.5%と4割を超えている。

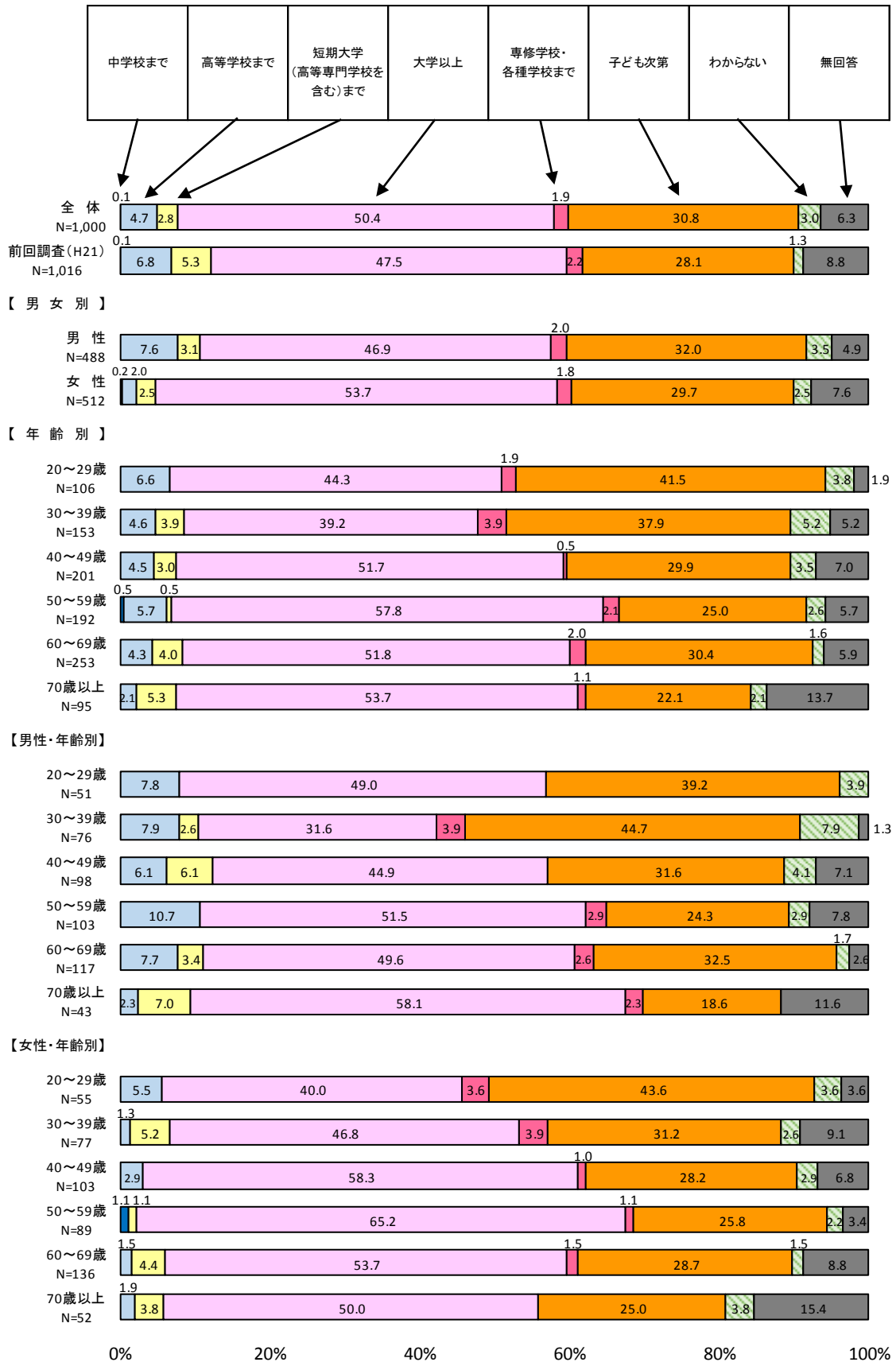
#### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性の30歳代は「子ども次第」が44.7%と4割を超えており、他の年代に比べて多くなっている。

女性の50歳代は「大学以上」が65.2%と6割を超えており、他の年代に比べて多くなっている。



図 9-1 子どもに受けさせたい教育の程度 (男の子の場合)



## (2)女の子の場合

### 【全体】

自分の子どもが女の子の場合、どの程度まで教育を受けさせたいと思うかについて聞いたところ、「子ども次第」が35.3%と最も多く、次いで「大学以上」が34.8%、「短期大学（高等専門学校を含む）まで」が11.0%などとなっている。

### 【前回調査との比較】

前回の調査結果と比較してみると、「大学以上」が6.7ポイント、「子ども次第」が2.9ポイントそれぞれ増加し、「短期大学（高等専門学校を含む）まで」が5.0ポイント、「高等学校まで」が3.8ポイントそれぞれ減少している。

### 【男女別】

男女別にみると、女性は「大学以上」が37.1%と男性に比べて4.7ポイント多く、一方男性は「高等学校まで」が7.4%と女性に比べて4.1ポイント多くなっている。

### 【年齢別】

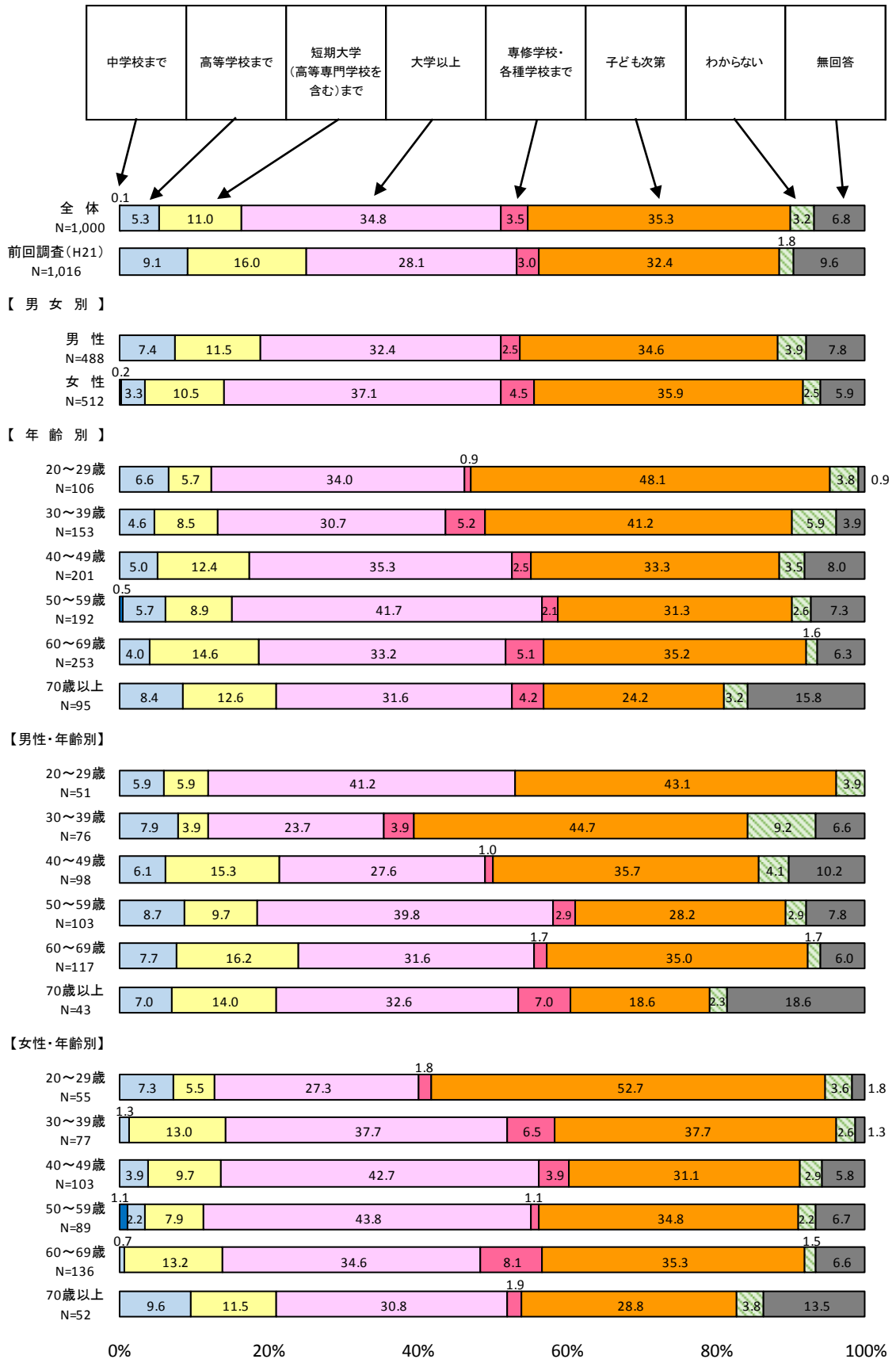
年齢別にみると、年齢が低いほど「子ども次第」が多い傾向にあり、20歳代では48.1%と約5割となっている。

### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性の20歳代から30歳代は「子ども次第」が4割を超えており、20歳代は「大学以上」も4割を超えている。

女性の20歳代は「子ども次第」が52.7%と5割を超えており、他の年代に比べて多くなっている。

図 9-2 子どもに受けさせたい教育の程度 (女の子の場合)



## IV 就業

### 10 女性の働き方

問 10 (1) 女性の働き方について、あなたが望ましいと思うのは次の中のどれですか。次の 1～7 の中から選んでください。(✓は1つ)

#### (1)女性の望ましい働き方

##### 【全体】

女性の望ましい働き方について聞いたところ、「子どもができて、ずっと職業を続ける」が 44.8%と最も多く、次いで「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つ」が 38.3%などとなっている。

##### 【前回調査との比較】

前回調査では「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つ」(43.8%)が最も多く、次いで「子どもができて、ずっと職業を続ける」(35.0%)となっていたが、今回の調査ではその順位が逆転している。

##### 【男女別】

男女別にみると、女性は「子どもができて、ずっと職業を続ける」が 2.3 ポイント、「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つ」が 3.1 ポイントそれぞれ男性に比べて多くなっている。

##### 【年齢別】

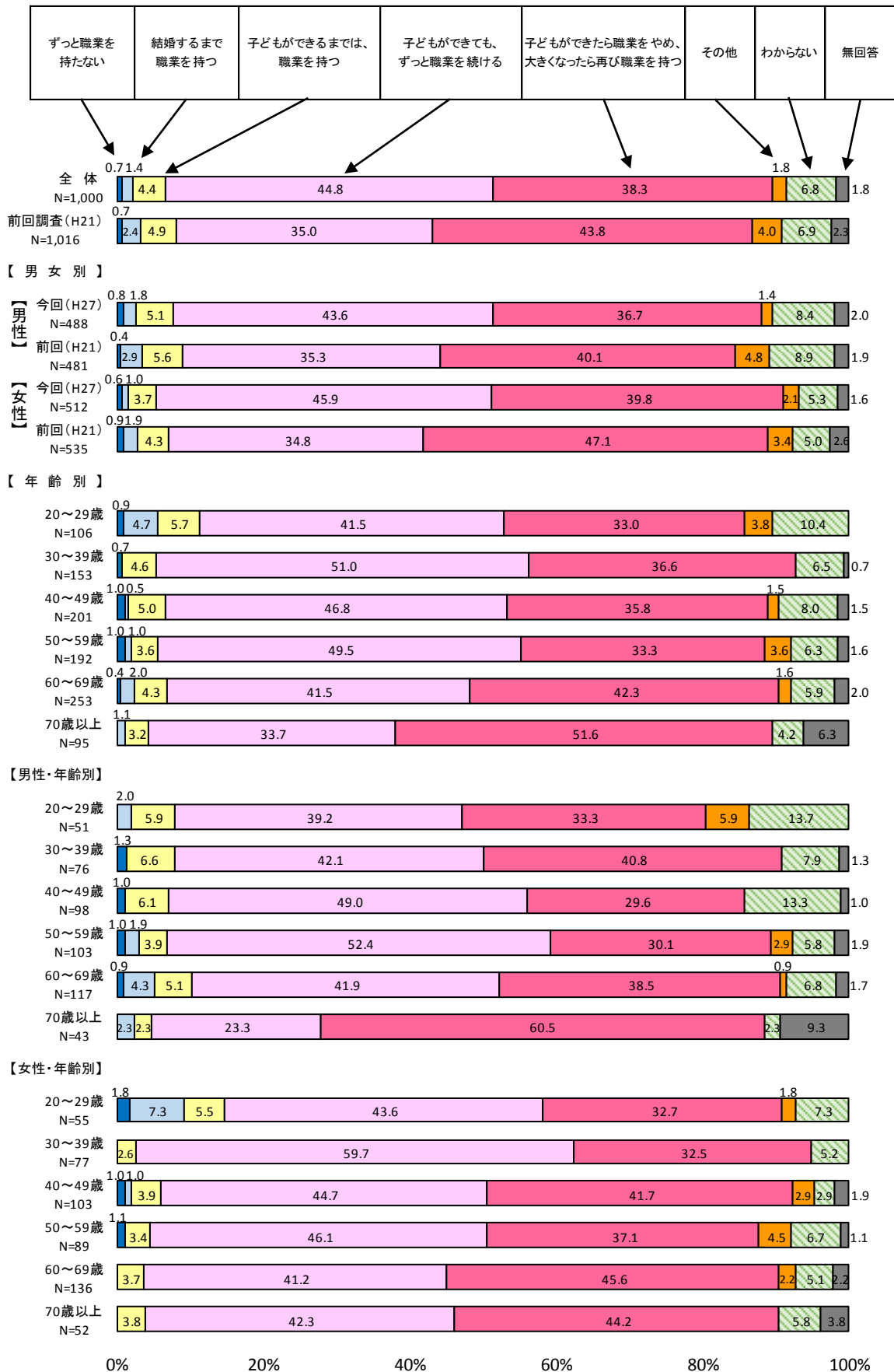
年齢別にみると、年齢が高いほど「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つ」が多い傾向にあり、70歳以上では 51.6%と 5割を超えている。

##### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性の 70歳以上は「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つ」が 60.5%と 6割を超えている。

女性の 30歳代は「子どもができて、ずっと職業を続ける」が 59.7%と約 6割を占めている。

図 10-1 女性の望ましい働き方



## (2) 女性の実際の働き方

問 10 (2) あなたが女性の場合は、実際はどの働き方になりそうですか (なりましたか)。次の 1 ~ 7 の中から選んでください。(あなたが男性の場合は配偶者のことについてお答えください。仮に現在配偶者のいない方はいるとしてお答えください。)(✓は1つ)

### 【全体】

実際はどの働き方になりそうか (なったか) を聞いたところ、「子どもができて、ずっと職業を続ける (続けた)」が 37.6% と最も多く、次いで「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つ (持った)」が 28.8%、「子どもができるまでは、職業を持つ (持った)」が 8.6% などとなっている。

### 【前回調査との比較】

前回の調査結果と比較してみると、「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つ (持った)」が 2.5 ポイント減少し、「子どもができて、ずっと職業を続ける (続けた)」が 1.0 ポイント増加している。

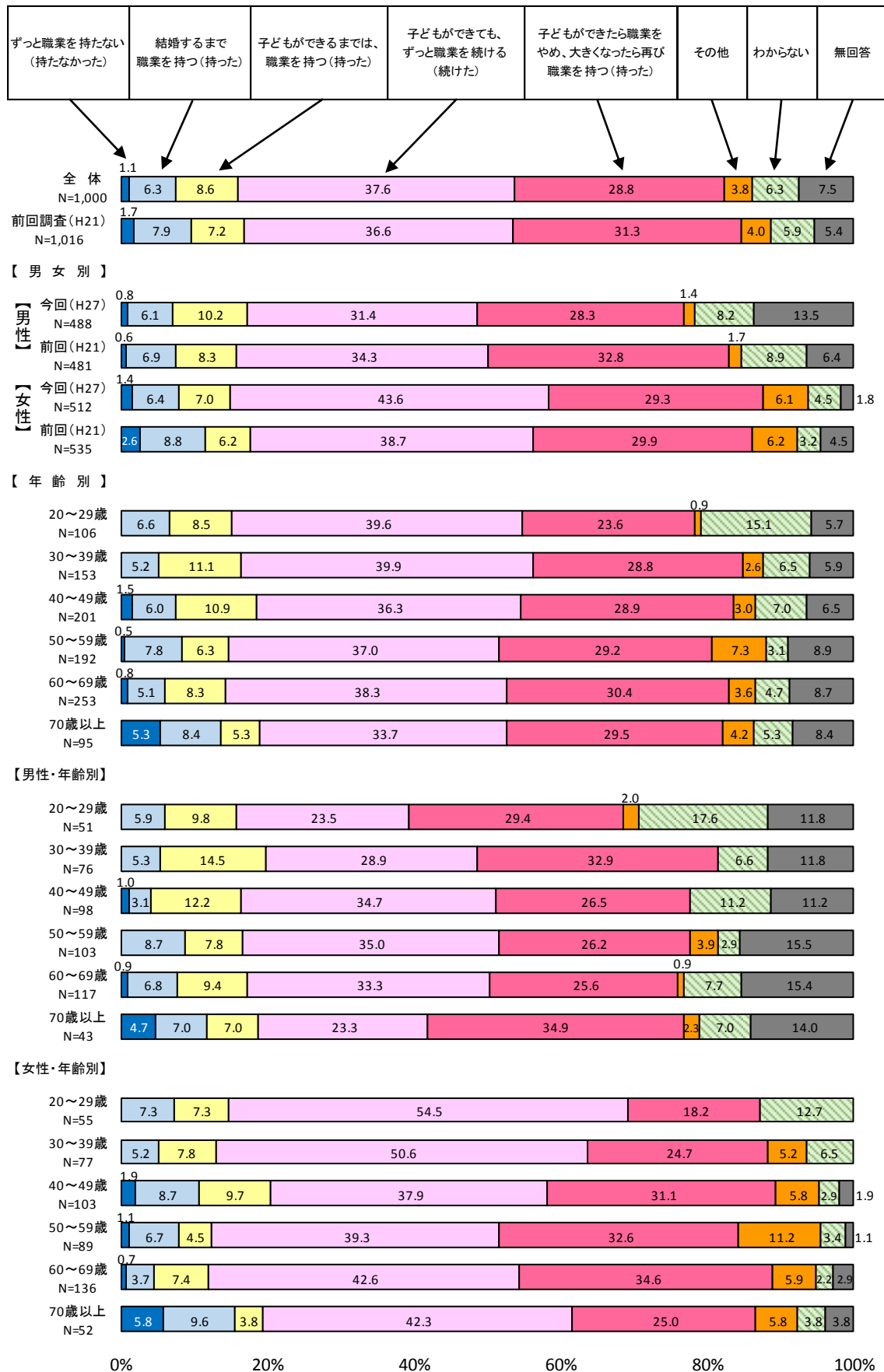
### 【年齢別】

年齢別では大きな差異はないが、30 歳代から 40 歳代は「子どもができるまでは、職業を持つ (持った)」が 1 割みられる。

### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性の 20 歳代から 30 歳代は「子どもができて、ずっと職業を続ける (続けた)」が 5 割を超えており、40 歳代以上に比べて多くなっている。

図 10-2 女性の実際の働き方



## 11 進路・職業選択時の性別意識

問 11 あなたは、進路や職業を選択する際に、性別を意識しましたか。(女子は文系、男子は理系分野など) 次の1～5の中から選んでください。(✓は1つ)

### 【全体】

進路や職業を選択する際に、性別を意識したか聞いたところ、「性別を意識して選択した」人の割合が20.3%（「性別をかなり意識して選択した」4.0%＋「どちらかといえば性別を意識して選択した」16.3%—以下同じ）、「性別を意識せずに選択した」人の割合が69.5%（「性別をほとんど（全く）意識せずに選択した」52.4%＋「どちらかといえば性別を意識せずに選択した」17.1%—以下同じ）となっている。

### 【全国調査との比較】

全国調査と比較してみると、全国調査は「性別を意識して選択した」人の割合が27.6%となっており、全国調査が富山県を7.3ポイント上回っている。

### 【男女別】

男女別にみると、男性は「性別を意識せずに選択した」人の割合が74.4%と女性に比べて9.6ポイント多くなっている。

### 【年齢別】

年齢別にみると、年齢が低いほど「性別を意識せずに選択した」人の割合が多い傾向にある。

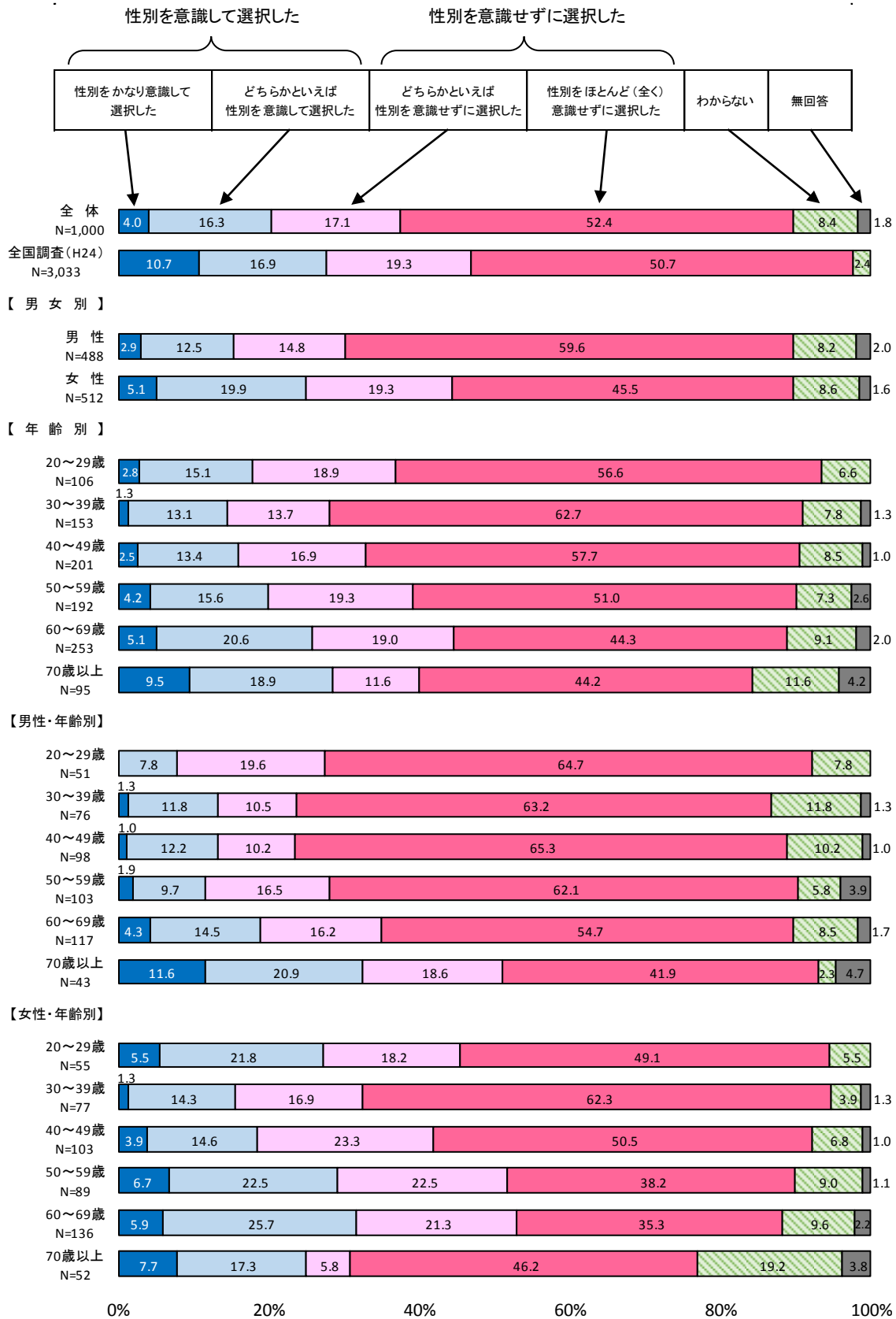
### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性は年齢が低いほど「性別を意識せずに選択した」人の割合が多い傾向にあり、20歳代では84.3%と8割を超えている。

女性は、30歳代から40歳代で「性別を意識せずに選択した」人の割合が7割を超えており、他の年代に比べて多くなっている。



図 11 進路・職業選択時の性別意識



## 12 女性が職業人として職場で能力を発揮するために重要なこと

問 12 あなたは、一般的にいて、女性が職業人として職場で能力を発揮するためには、どのようなことが重要だと思いますか。次の1～11の中から選んでください。(あてはまるものすべてに✓) また、選んだ中で、特に重要なものについて1つだけ番号を記入してください。

### 【全体】

女性が職業人として職場で能力を発揮するために重要だと思うことを聞いたところ、「育児休業を取りやすくすること」が56.0%と最も多く、次いで「仕事に必要な職業能力を身につけること」と「能力や実績に応じた評価（給料の面を含む）がなされること」が50.0%、「女性が職業人としての自覚を持ち、意欲を持って働くこと」が48.5%などとなっている。

### 【前回調査との比較】

前回の調査結果と比較してみると、前回最も多かった「女性が職業人としての自覚を持ち、意欲を持って働くこと」が2.3ポイント減少し、「仕事に必要な職業能力を身につけること」が10.2ポイント、「育児休業を取りやすくすること」が9.6ポイントそれぞれ増加している。

### 【男女別】

男女別にみると、女性は「仕事に必要な職業能力を身につけること」が13.6ポイント、「結婚、出産等によりいったん退職した女性が同じ企業に再び雇用されるようにすること」が10.3ポイントそれぞれ男性に比べて多くなっている。

### 【年齢別】

年齢別にみると、20歳代から30歳代は「育児休業を取りやすくすること」が6割を超えており、他の年代に比べて多くなっている。

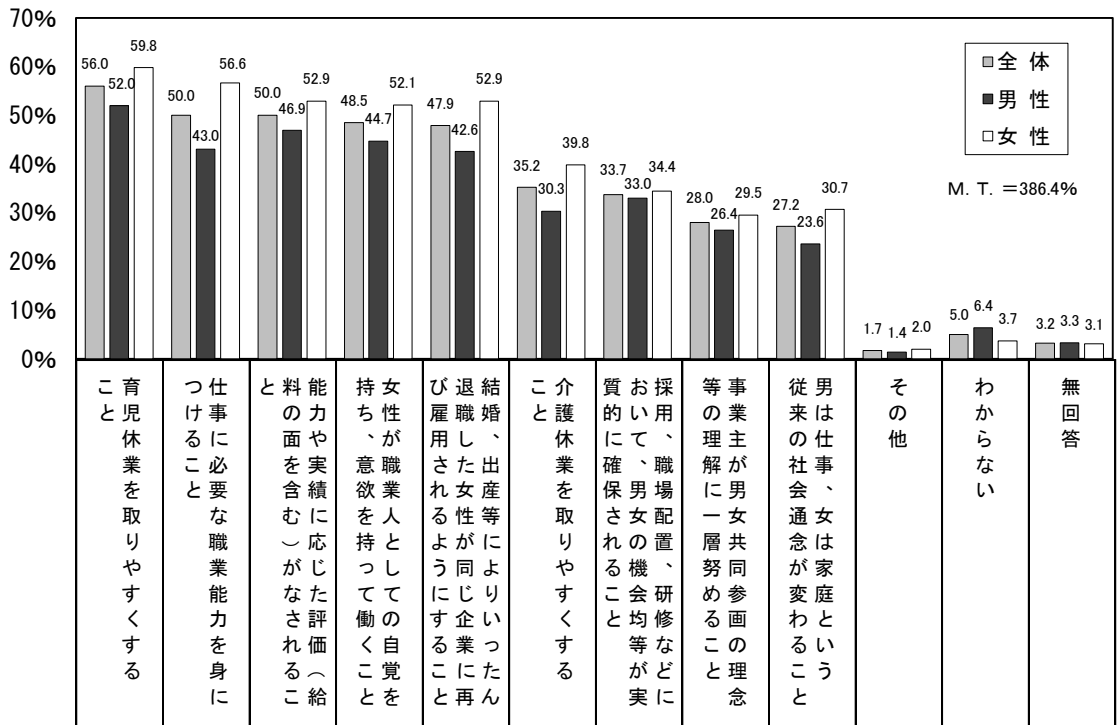
### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性の20歳代から60歳代は「育児休業を取りやすくすること」、70歳以上は「能力や実績に応じた評価（給料の面を含む）がなされること」が最も多くなっている。一方女性は、20歳代から30歳代は「育児休業を取りやすくすること」、40歳代と60歳代は「仕事に必要な職業能力を身につけること」、50歳代は「能力や実績に応じた評価（給料の面を含む）がなされること」、70歳以上は「結婚、出産等によりいったん退職した女性が同じ企業に再び雇用されるようにすること」がそれぞれ最も多くなっている。

### 【特に重要なもの】

特に重要なものをみると、「女性が職業人としての自覚を持ち、意欲を持って働くこと」が15.4%と最も多く、次いで「能力や実績に応じた評価（給料の面を含む）がなされること」が13.2%、「結婚、出産等によりいったん退職した女性が同じ企業に再び雇用されるようにすること」が11.3%などとなっている。

図 12 女性が職業人として職場で能力を発揮するために重要なこと [M. A.]



全体		N=1,000	56.0	50.0	50.0	48.5	47.9	35.2	33.7	28.0	27.2	1.7	5.0	3.2
前回調査(H21)		N=1,016	46.4	39.8	43.8	50.8	43.3	30.1	28.0	24.8	23.6	1.4	4.1	5.5
男女別	男性	N=488	52.0	43.0	46.9	44.7	42.6	30.3	33.0	26.4	23.6	1.4	6.4	3.3
	女性	N=512	59.8	56.6	52.9	52.1	52.9	39.8	34.4	29.5	30.7	2.0	3.7	3.1
年齢別	20～29歳	N=106	66.0	41.5	48.1	43.4	42.5	27.4	32.1	20.8	30.2	2.8	7.5	3.8
	30～39歳	N=153	61.4	49.7	52.9	41.8	45.8	29.4	28.8	23.5	27.5	3.3	7.2	1.3
	40～49歳	N=201	49.3	46.8	46.8	42.3	41.8	30.8	31.3	25.9	29.9	2.5	5.0	5.0
	50～59歳	N=192	53.6	53.1	56.8	52.6	49.5	39.1	40.6	29.7	27.1	0.5	3.6	2.6
	60～69歳	N=253	54.5	53.8	49.8	53.4	50.6	36.8	33.2	30.0	25.7	0.8	3.6	4.0
	70歳以上	N=95	58.9	50.5	41.1	56.8	60.0	50.5	35.8	38.9	22.1	1.1	5.3	1.1
性別	20～29歳	N=51	62.7	37.3	47.1	45.1	41.2	23.5	33.3	19.6	21.6	5.9	7.8	-
	30～39歳	N=76	52.6	40.8	38.2	38.2	40.8	28.9	26.3	17.1	19.7	1.3	11.8	1.3
	40～49歳	N=98	42.9	35.7	42.9	39.8	35.7	24.5	26.5	22.4	24.5	1.0	8.2	7.1
	50～59歳	N=103	54.4	47.6	49.5	48.5	47.6	37.9	37.9	27.2	23.3	1.0	3.9	2.9
	60～69歳	N=117	52.1	46.2	50.4	47.0	43.6	29.1	34.2	29.9	26.5	-	4.3	3.4
	70歳以上	N=43	53.5	51.2	55.8	51.2	48.8	39.5	44.2	48.8	23.3	2.3	2.3	2.3
女性	20～29歳	N=55	69.1	45.5	49.1	41.8	43.6	30.9	30.9	21.8	38.2	-	7.3	7.3
	30～39歳	N=77	70.1	58.4	67.5	45.5	50.6	29.9	31.2	29.9	35.1	5.2	2.6	1.3
	40～49歳	N=103	55.3	57.3	50.5	44.7	47.6	36.9	35.9	29.1	35.0	3.9	1.9	2.9
	50～59歳	N=89	52.8	59.6	65.2	57.3	51.7	40.4	43.8	32.6	31.5	-	3.4	2.2
	60～69歳	N=136	56.6	60.3	49.3	58.8	56.6	43.4	32.4	30.1	25.0	1.5	2.9	4.4
	70歳以上	N=52	63.5	50.0	28.8	61.5	69.2	59.6	28.8	30.8	21.2	-	7.7	-
特に重要なもの		N=1,000	6.7	9.8	13.2	15.4	11.3	1.4	7.1	6.8	6.1	0.8	0.1	21.3

### 13 女性の管理的部門や指導的地位への登用が少ない理由

問 13 女性の意思決定を行う管理的部門や指導的地位への登用が未だ少ない理由として、どのようなものがあるとお考えですか。次の1～9の中から選んでください。(✓は2つ)

#### 【全体】

女性の意思決定を行う管理的部門や指導的地位への登用が未だ少ない理由について聞いたところ、「男性中心の職場慣行があるから」が46.0%と最も多く、次いで「登用する側に男性優先の意識や女性管理職に対する不安感があるから」が41.4%、「女性自身が管理的部門等につくことに消極的だから」が24.0%などとなっている。

#### 【前回調査との比較】

前回の調査結果と比較してみると、「登用する側に男性優先の意識や女性管理職に対する不安感があるから」が4.8ポイント、「女性自身が管理的部門等につくことに消極的だから」が3.9ポイントそれぞれ増加している。

#### 【男女別】

男女別にみると、男性は「女性の職域は、主として補助的業務などに限られているから」が19.1%と女性に比べて6.4ポイント多くなっており、一方女性は「家族の理解や協力が得られないから」が21.3%と男性に比べて9.0ポイント多くなっている。

#### 【年齢別】

年齢別にみると、年齢が高いほど「登用する側に男性優先の意識や女性管理職に対する不安感があるから」が多い傾向にあり、70歳以上では約5割となっている。

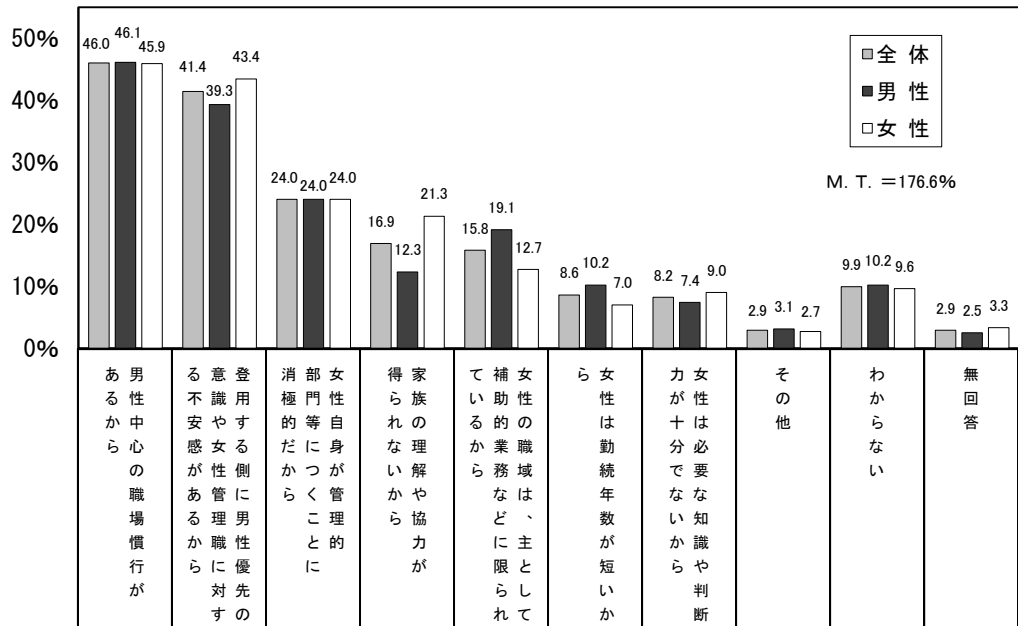
#### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性の20歳代から40歳代は「男性中心の職場慣行があるから」が5割を超えており、他の年代に比べて多くなっている。

#### 【職業分野別】

職業分野別にみると、金融・保険業は「女性自身が管理的部門等につくことに消極的だから」が34.8%と他の業種に比べて多くなっている。

図 13 女性の管理的部門や指導的地位への登用が少ない理由 [M. A.]



		全体	男性	女性	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	農林漁業	建設業	製造業	情報通信業	運輸業	卸売・小売業	金融・保険業	医療・福祉業	サービス業	公務	その他
全体		N=1,000	46.0	41.4	24.0	16.9	15.8	8.6	8.2	2.9	9.9	2.9									
前回調査(H21)		N=1,016	45.4	36.6	20.1	15.6	17.6	10.7	12.6	3.2	9.5	5.9									
男女別	男性	N=488	46.1	39.3	24.0	12.3	19.1	10.2	7.4	3.1	10.2	2.5									
	女性	N=512	45.9	43.4	24.0	21.3	12.7	7.0	9.0	2.7	9.6	3.3									
年齢別	20~29歳	N=106	48.1	37.7	21.7	9.4	13.2	18.9	5.7	1.9	9.4	3.8									
	30~39歳	N=153	51.0	37.9	19.0	17.0	13.7	11.1	3.3	6.5	13.7	1.3									
	40~49歳	N=201	51.2	37.8	20.9	13.9	14.9	4.5	6.5	2.5	11.4	4.0									
	50~59歳	N=192	45.3	42.7	30.7	22.4	15.1	10.4	8.3	3.1	8.9	2.1									
	60~69歳	N=253	39.9	43.9	25.3	18.2	19.8	5.5	12.3	1.2	7.9	3.2									
	70歳以上	N=95	42.1	49.5	24.2	16.8	14.7	6.3	11.6	3.2	8.4	3.2									
男性	20~29歳	N=51	45.1	35.3	19.6	7.8	13.7	25.5	9.8	3.9	9.8	2.0									
	30~39歳	N=76	46.1	32.9	15.8	13.2	19.7	11.8	2.6	6.6	15.8	2.6									
	40~49歳	N=98	50.0	37.8	21.4	9.2	18.4	5.1	6.1	1.0	12.2	4.1									
	50~59歳	N=103	43.7	42.7	31.1	14.6	19.4	11.7	7.8	3.9	9.7	1.9									
	60~69歳	N=117	44.4	42.7	26.5	13.7	20.5	6.0	9.4	0.9	6.8	1.7									
	70歳以上	N=43	48.8	41.9	25.6	14.0	20.9	9.3	9.3	4.7	7.0	2.3									
女性	20~29歳	N=55	50.9	40.0	23.6	10.9	12.7	12.7	1.8	-	9.1	5.5									
	30~39歳	N=77	55.8	42.9	22.1	20.8	7.8	10.4	3.9	6.5	11.7	-									
	40~49歳	N=103	52.4	37.9	20.4	18.4	11.7	3.9	6.8	3.9	10.7	3.9									
	50~59歳	N=89	47.2	42.7	30.3	31.5	10.1	9.0	9.0	2.2	7.9	2.2									
	60~69歳	N=136	36.0	44.9	24.3	22.1	19.1	5.1	14.7	1.5	8.8	4.4									
	70歳以上	N=52	36.5	55.8	23.1	19.2	9.6	3.8	13.5	1.9	9.6	3.8									
職業分野別	農林漁業	N=5	60.0	60.0	20.0	40.0	-	-	20.0	-	-	-									
	建設業	N=46	45.7	34.8	13.0	13.0	26.1	13.0	13.0	6.5	6.5	4.3									
	製造業	N=141	41.8	36.9	24.1	10.6	21.3	9.9	7.8	3.5	10.6	2.8									
	情報通信業	N=14	21.4	35.7	21.4	21.4	28.6	7.1	14.3	-	7.1	14.3									
	運輸業	N=21	47.6	42.9	9.5	14.3	19.0	4.8	-	4.8	23.8	4.8									
	卸売・小売業	N=37	59.5	54.1	21.6	13.5	13.5	8.1	5.4	-	8.1	-									
	金融・保険業	N=23	39.1	34.8	34.8	21.7	13.0	4.3	4.3	-	8.7	4.3									
	医療・福祉業	N=82	50.0	42.7	28.0	25.6	6.1	12.2	6.1	1.2	6.1	1.2									
	サービス業	N=90	51.1	45.6	25.6	21.1	13.3	10.0	6.7	2.2	10.0	2.2									
	公務	N=53	34.0	47.2	28.3	20.8	11.3	9.4	3.8	11.3	13.2	1.9									
	その他	N=40	32.5	50.0	22.5	25.0	17.5	5.0	-	7.5	5.0	2.5									

## 14 昇進に対するイメージ

問 14 あなたは、管理職以上に昇進することについてどのようなイメージを持っていますか。次の1～12の中から選んでください。(あてはまるものすべてに✓)

### 【全体】

管理職以上に昇進することについてどのようなイメージを持っているか聞いたところ、「責任が重くなる」が71.0%と最も多く、次いで「能力が認められた結果である」が57.1%、「賃金が上がる」が42.5%などとなっている。

### 【全国調査との比較】

全国調査と比較してみると、富山県は全国調査に比べて「やるべき仕事が増える」が8.6ポイント、「賃金が上がる」が7.5ポイント多くなっている。

### 【男女別】

男女別にみると、男性は「自分自身で決められる事柄が多くなる」が女性に比べて10.6ポイント多くなっており、一方女性は「仕事と家庭の両立が困難になる」が30.1ポイント、「やりがいのある仕事ができる」が11.3ポイントそれぞれ男性に比べて多くなっている。

### 【年齢別】

年齢別にみると、年齢が高いほど「やりがいのある仕事ができる」が多い傾向にあり、一方で年齢が低いほど「賃金が上がる」が多い傾向にある。

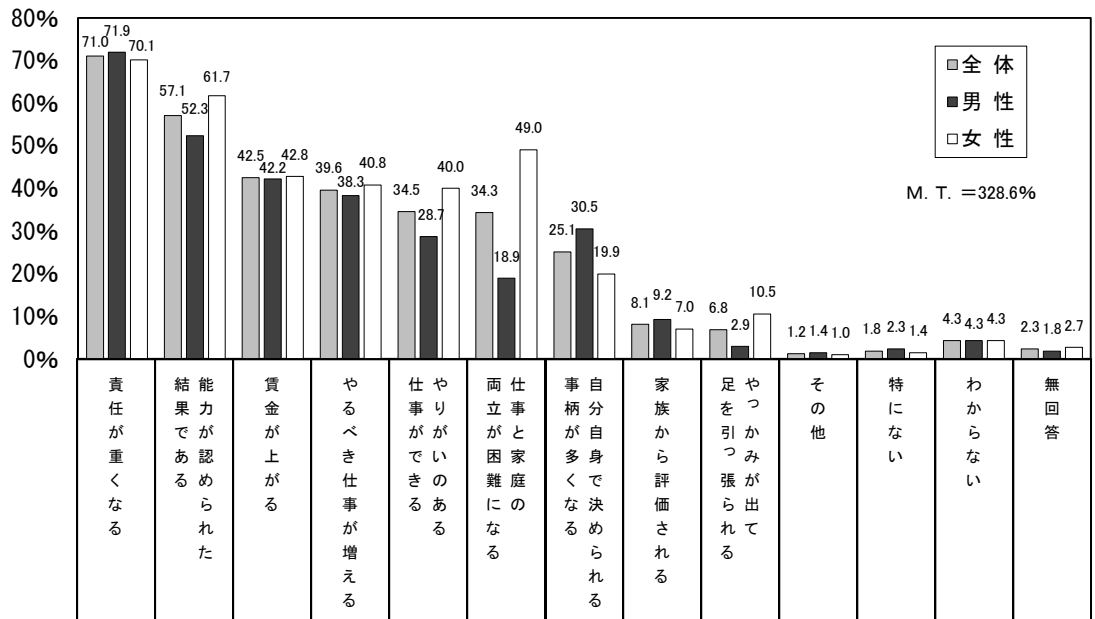
### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性の30歳代以上は「仕事と家庭の両立が困難になる」が多くなっており、特に30歳代から40歳代は5割を超えている。

### 【職業分野別】

職業分野別にみると、医療・福祉業は「やるべき仕事が増える」が57.3%、「仕事と家庭の両立が困難になる」が56.1%といずれも5割を超えており、他の業種に比べて多くなっている。

図 14 昇進に対するイメージ [M. A.]



全体		N=1,000	71.0	57.1	42.5	39.6	34.5	34.3	25.1	8.1	6.8	1.2	1.8	4.3	2.3
全国調査(H26)		N=3,037	66.4	54.4	35.0	31.0	36.6	29.2	26.8	10.2	10.9	0.3	1.8	1.4	-
男女別	男性	N=488	71.9	52.3	42.2	38.3	28.7	18.9	30.5	9.2	2.9	1.4	2.3	4.3	1.8
	女性	N=512	70.1	61.7	42.8	40.8	40.0	49.0	19.9	7.0	10.5	1.0	1.4	4.3	2.7
年齢別	20～29歳	N=106	75.5	52.8	52.8	49.1	22.6	30.2	25.5	6.6	12.3	0.9	-	5.7	2.8
	30～39歳	N=153	68.0	57.5	47.7	39.9	29.4	40.5	16.3	4.6	6.5	3.3	2.0	6.5	2.0
	40～49歳	N=201	69.2	52.7	40.3	37.8	27.9	35.3	21.4	6.0	5.5	1.0	3.0	4.5	2.0
	50～59歳	N=192	77.1	54.7	43.2	47.4	35.4	31.8	27.6	8.3	5.7	0.5	0.5	2.6	1.0
	60～69歳	N=253	66.4	60.5	39.1	32.0	39.1	34.4	27.3	10.3	6.3	0.8	2.0	3.2	3.6
	70歳以上	N=95	74.7	66.3	34.7	36.8	55.8	31.6	35.8	13.7	7.4	1.1	3.2	5.3	2.1
男性	20～29歳	N=51	78.4	56.9	54.9	49.0	23.5	23.5	33.3	9.8	5.9	-	-	5.9	-
	30～39歳	N=76	65.8	46.1	38.2	38.2	18.4	23.7	15.8	5.3	2.6	5.3	2.6	7.9	2.6
	40～49歳	N=98	72.4	43.9	34.7	36.7	15.3	16.3	25.5	9.2	3.1	2.0	4.1	7.1	1.0
	50～59歳	N=103	75.7	52.4	46.6	42.7	28.2	17.5	35.0	8.7	3.9	1.0	-	1.9	1.0
	60～69歳	N=117	66.7	55.6	41.0	35.9	39.3	19.7	34.2	10.3	0.9	-	2.6	2.6	3.4
	70歳以上	N=43	79.1	67.4	44.2	25.6	55.8	11.6	44.2	14.0	2.3	-	4.7	-	2.3
女性	20～29歳	N=55	72.7	49.1	50.9	49.1	21.8	36.4	18.2	3.6	18.2	1.8	-	5.5	5.5
	30～39歳	N=77	70.1	68.8	57.1	41.6	40.3	57.1	16.9	3.9	10.4	1.3	1.3	5.2	1.3
	40～49歳	N=103	66.0	61.2	45.6	38.8	39.8	53.4	17.5	2.9	7.8	-	1.9	1.9	2.9
	50～59歳	N=89	78.7	57.3	39.3	52.8	43.8	48.3	19.1	7.9	7.9	-	1.1	3.4	1.1
	60～69歳	N=136	66.2	64.7	37.5	28.7	39.0	47.1	21.3	10.3	11.0	1.5	1.5	3.7	3.7
	70歳以上	N=52	71.2	65.4	26.9	46.2	55.8	48.1	28.8	13.5	11.5	1.9	1.9	9.6	1.9
職業分野別	農林漁業	N=5	60.0	80.0	40.0	40.0	40.0	-	40.0	20.0	-	-	-	-	-
	建設業	N=46	69.6	50.0	32.6	41.3	23.9	15.2	17.4	4.3	4.3	4.3	-	4.3	2.2
	製造業	N=141	77.3	48.9	44.7	44.0	19.1	23.4	22.0	5.7	5.7	0.7	1.4	5.7	2.1
	情報通信業	N=14	71.4	42.9	28.6	14.3	21.4	28.6	21.4	-	7.1	-	7.1	7.1	7.1
	運輸業	N=21	61.9	57.1	38.1	38.1	38.1	28.6	23.8	9.5	-	4.8	9.5	-	4.8
	卸売・小売業	N=37	78.4	56.8	48.6	43.2	32.4	24.3	32.4	2.7	8.1	-	-	2.7	-
	金融・保険業	N=23	73.9	47.8	30.4	26.1	17.4	47.8	17.4	4.3	4.3	-	-	-	4.3
	医療・福祉業	N=82	86.6	65.9	56.1	57.3	41.5	56.1	36.6	13.4	14.6	-	1.2	1.2	1.2
	サービス業	N=90	71.1	55.6	45.6	54.4	34.4	43.3	27.8	12.2	6.7	4.4	-	4.4	2.2
	公務	N=53	86.8	54.7	39.6	45.3	24.5	34.0	15.1	7.5	7.5	-	3.8	1.9	-
	その他	N=40	72.5	65.0	52.5	25.0	32.5	35.0	27.5	5.0	10.0	-	5.0	2.5	2.5

## 15 女性が長く働き続けるのを困難にしたり、障害になると考えられること

問 15 女性が長く働き続けるのを困難にしたり、障害になると考えられるのはどのようなことですか。  
次の1～16の中から選んでください。(あてはまるものすべてに✓)  
また、選んだ中で、特に重要なものについて1つだけ番号を記入してください。

### 【全体】

女性が長く働き続けるのを困難にしたり、障害になると考えられることについて聞いたところ、「出産・育児」が78.1%と最も多く、次いで「お年寄りや病人の世話」が45.7%、「長く働き続けられるような職場の条件・制度が不十分」が43.2%などとなっている。

### 【前回調査との比較】

前回の調査結果と比較してみると、「自分の健康」が9.4ポイント、「夫の転勤」が7.0ポイントそれぞれ増加している。

### 【男女別】

男女別にみると、女性は「お年寄りや病人の世話」が23.6ポイント、「自分の健康」が17.0ポイント、「家族の理解や協力が得られないこと」が13.3ポイントそれぞれ男性に比べて多くなっている。

### 【年齢別】

年齢別にみると、50歳代以上で「お年寄りや病人の世話」が5割を超えており、特に60歳代では62.5%と6割を超えている。

### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性は年齢が高いほど「お年寄りや病人の世話」が多い傾向にある。また、女性の20歳代から40歳代は「家事」が4割を超えている。

### 【特に重要なもの】

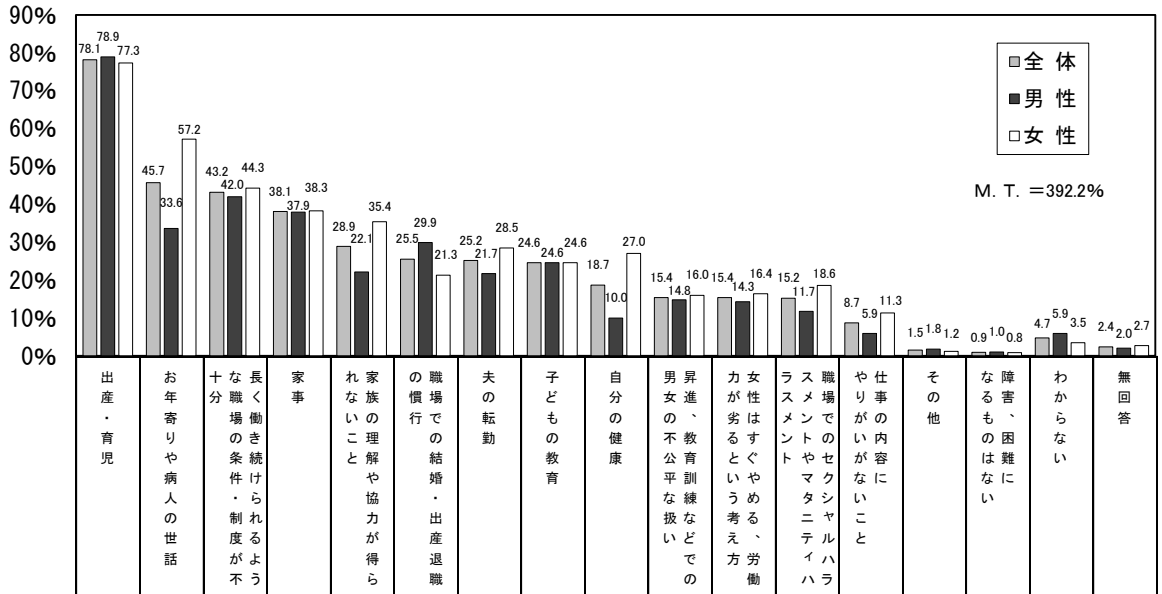
特に重要なものをみると、「出産・育児」が32.8%と最も多く、次いで「長く働き続けられるような職場の条件・制度が不十分」が16.8%、「家族の理解や協力が得られないこと」が5.2%などとなっている。

### 【職業分野別】

職業分野別にみると、卸売・小売業は「職場での結婚・出産退職の慣行」が43.2%と4割を超えており、他の業種に比べて多くなっている。



図 15 女性が長く働き続けるのを困難にしたり、障害になると考えられること [M. A.]



		出産・育児	お年寄りや病人の世話	十分な職場の条件・制度が不	長く働き続けられるよう	家事	家族の理解や協力が得られ	ないこと	職場での結婚・出産退職	の	夫の転勤	子どもの教育	自分の健康	男女の不公平な扱い	昇進、教育訓練などでの	力が劣るとすぐやめる、労働	女性	ラスメントやマタニティハラ	職場でのセクシャル	やりの内容がないこと	仕事	その他	なるものはない	障害、困難に	わからない	無回答	
全体 N=1,000		78.1	45.7	43.2	38.1	28.9	25.5	25.2	24.6	18.7	15.4	15.4	15.2	8.7	1.5	0.9	4.7	2.4									
前回調査(H21) N=1,016		77.0	48.9	40.9	34.1	24.7	23.1	18.2	21.6	9.3	14.7	19.2	-	6.1	1.6	1.5	2.2	2.0									
男女別	男性 N=488	78.9	33.6	42.0	37.9	22.1	29.9	21.7	24.6	10.0	14.8	14.3	11.7	5.9	1.8	1.0	5.9	2.0									
	女性 N=512	77.3	57.2	44.3	38.3	35.4	21.3	28.5	24.6	27.0	16.0	16.4	18.6	11.3	1.2	0.8	3.5	2.7									
年齢別	20～29歳 N=106	81.1	32.1	50.9	47.2	26.4	31.1	21.7	34.0	10.4	11.3	19.8	20.8	2.8	0.9	0.9	5.7	3.8									
	30～39歳 N=153	75.2	28.1	38.6	40.5	24.2	28.1	15.7	28.1	11.8	17.0	20.9	17.6	9.2	1.3	0.7	8.5	0.7									
	40～49歳 N=201	77.6	33.8	32.3	40.8	24.9	19.9	22.4	27.9	15.4	11.4	16.9	15.9	10.4	1.5	0.5	5.0	4.0									
	50～59歳 N=192	82.8	53.6	45.3	35.9	33.9	22.4	28.1	19.8	18.2	13.5	14.1	16.7	10.9	2.1	1.0	3.1	1.6									
	60～69歳 N=253	77.5	62.5	51.0	34.8	33.2	26.1	28.9	20.6	26.5	17.8	11.9	10.3	10.3	1.6	1.2	2.8	2.0									
	70歳以上 N=95	72.6	53.7	40.0	31.6	26.3	31.6	34.7	22.1	26.3	23.2	10.5	13.7	2.1	1.1	1.1	5.3	3.2									
男性	20～29歳 N=51	82.4	29.4	51.0	49.0	17.6	33.3	15.7	33.3	7.8	13.7	17.6	19.6	3.9	2.0	2.0	5.9	-									
	30～39歳 N=76	69.7	17.1	28.9	30.3	17.1	26.3	10.5	22.4	7.9	10.5	15.8	13.2	7.9	-	1.3	11.8	1.3									
	40～49歳 N=98	75.5	18.4	30.6	35.7	17.3	21.4	14.3	26.5	6.1	8.2	14.3	13.3	9.2	2.0	-	7.1	4.1									
	50～59歳 N=103	82.5	42.7	44.7	43.7	26.2	27.2	25.2	17.5	9.7	14.6	13.6	10.7	5.8	2.9	1.0	4.9	1.9									
	60～69歳 N=117	83.8	49.6	53.0	36.8	26.5	35.0	30.8	27.4	14.5	21.4	14.5	6.8	5.1	1.7	0.9	3.4	0.9									
	70歳以上 N=43	76.7	37.2	44.2	32.6	25.6	44.2	32.6	23.3	14.0	20.9	9.3	11.6	-	2.3	2.3	2.3	4.7									
女性	20～29歳 N=55	80.0	34.5	50.9	45.5	34.5	29.1	27.3	34.5	12.7	9.1	21.8	21.8	1.8	-	-	5.5	7.3									
	30～39歳 N=77	80.5	39.0	48.1	50.6	31.2	29.9	20.8	33.8	15.6	23.4	26.0	22.1	10.4	2.6	-	5.2	-									
	40～49歳 N=103	79.6	48.5	34.0	45.6	32.0	18.4	30.1	29.1	24.3	14.6	19.4	18.4	11.7	1.0	1.0	2.9	3.9									
	50～59歳 N=89	83.1	66.3	46.1	27.0	42.7	16.9	31.5	22.5	28.1	12.4	14.6	23.6	16.9	1.1	1.1	1.1	1.1									
	60～69歳 N=136	72.1	73.5	49.3	33.1	39.0	18.4	27.2	14.7	36.8	14.7	9.6	13.2	14.7	1.5	1.5	2.2	2.9									
	70歳以上 N=52	69.2	67.3	36.5	30.8	26.9	21.2	36.5	21.2	36.5	25.0	11.5	15.4	3.8	-	-	7.7	1.9									
職業分野別	農林漁業 N=5	100.0	-	40.0	80.0	20.0	-	20.0	20.0	-	40.0	-	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	建設業 N=46	87.0	39.1	43.5	45.7	23.9	26.1	17.4	41.3	8.7	10.9	8.7	8.7	6.5	2.2	-	2.2	2.2									
	製造業 N=141	75.2	31.2	31.9	44.7	23.4	19.1	22.7	25.5	9.9	16.3	14.2	12.8	9.9	2.8	1.4	6.4	2.1									
	情報通信業 N=14	78.6	21.4	35.7	14.3	14.3	35.7	28.6	14.3	-	-	7.1	-	14.3	-	-	7.1	7.1									
	運輸業 N=21	81.0	42.9	47.6	23.8	23.8	38.1	23.8	9.5	9.5	4.8	19.0	9.5	9.5	4.8	4.8	9.5	-									
	卸売・小売業 N=37	86.5	51.4	43.2	45.9	29.7	43.2	32.4	29.7	27.0	24.3	32.4	24.3	16.2	-	2.7	-	2.7									
	金融・保険業 N=23	82.6	47.8	47.8	47.8	39.1	4.3	26.1	17.4	21.7	17.4	17.4	17.4	4.3	-	-	4.3	-									
	医療・福祉業 N=82	85.4	54.9	56.1	51.2	45.1	25.6	34.1	34.1	28.0	22.0	20.7	30.5	17.1	-	1.2	1.2	3.7									
	サービス業 N=90	78.9	43.3	50.0	37.8	36.7	31.1	18.9	35.6	14.4	15.6	22.2	16.7	10.0	3.3	-	5.6	3.3									
	公務 N=53	77.4	35.8	43.4	54.7	35.8	28.3	20.8	20.8	17.0	15.1	17.0	13.2	1.9	-	-	3.8	1.9									
その他 N=40	70.0	32.5	32.5	27.5	27.5	22.5	22.5	22.5	17.5	12.5	20.0	15.0	5.0	2.5	2.5	2.5	2.5										
特に重要なもの N=1,000	32.8	5.1	16.8	2.4	5.2	2.7	0.9	1.9	4.4	1.2	1.7	0.9	1.8	0.5	0.2	0.2	21.3										

## 16 女性が働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なこと

問 16 あなたは、女性が出産後も離職せずに同じ職場で働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思いますか。次の1～13の中から選んでください。(あてはまるものすべてに✓)

### 【全体】

女性が出産後も離職せずに同じ職場で働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことについて聞いたところ、「保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」が74.5%と最も多く、次いで「職場における育児・介護との両立支援制度の充実」が50.1%、「男性の家事参加への理解・意識改革」が46.1%などとなっている。

### 【全国調査との比較】

全国調査と比較してみると、富山県は「短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入」が9.0ポイント、「男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方改革」が7.3ポイントそれぞれ全国調査を上回っている。

### 【男女別】

男女別にみると、女性は「職場における育児・介護との両立支援制度の充実」が10.2ポイント、「男性の家事参加への理解・意識改革」が10.0ポイント、「介護支援サービスの充実」が9.8ポイントそれぞれ男性に比べて多くなっている。

### 【年齢別】

年齢別にみると、20歳代から30歳代は「男性の家事参加への理解・意識改革」が5割を超えており、他の年代に比べて多くなっている。

### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性は年齢が低いほど「男性の家事参加への理解・意識改革」が多くなっている。

### 【職業分野別】

職業分野別にみると、農林漁業、建設業、医療・福祉業は「保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備」がいずれも8割を超えている。



## 17 女性が増える方がよいと思う職業や役職

問 17 あなたが、次にあげるような職業や役職において今後女性がもっと増える方がよいと思うのはどれですか。次の1～15の中から選んでください。(あてはまるものすべてに✓)

### 【全体】

女性が増える方がよいと思う職業や役職を聞いたところ、「国会議員、都道府県議会議員、市町村議会議員」が42.3%と最も多く、次いで「企業の管理職」が40.0%、「都道府県、市町村の首長」が29.9%などとなっている。

### 【全国調査との比較】

全国調査と比較してみると、全国調査は「裁判官、検察官、弁護士」が18.7ポイント、「自治会長、町内会長等」が15.8ポイント、「新聞・放送の記者」が15.1ポイントそれぞれ富山県を上回っている。

### 【男女別】

男女別にみると、男性は「自治会長、町内会長等」が9.0ポイント、「農協の役員」が7.0ポイント、「大学教授」が5.3ポイントそれぞれ女性に比べて多くなっている。

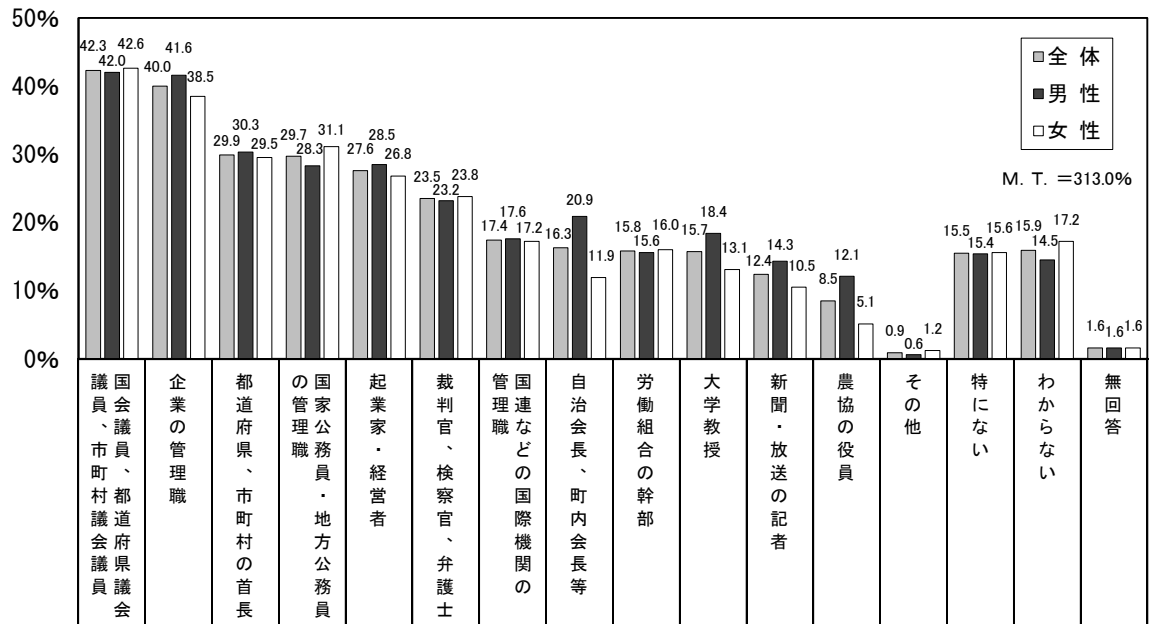
### 【年齢別】

年齢別にみると、年齢が高いほど「自治会長、町内会長等」が多くなっている。

### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性は年齢が高いほど「自治会長、町内会長等」が多い傾向にあり、70歳以上では41.9%と4割を超えている。

図 17 女性が增える方がよいと思う職業や役職 [M. A.]



		全体	42.3	40.0	29.9	29.7	27.6	23.5	17.4	16.3	15.8	15.7	12.4	8.5	0.9	15.5	15.9	1.6
全体		N=1,000	42.3	40.0	29.9	29.7	27.6	23.5	17.4	16.3	15.8	15.7	12.4	8.5	0.9	15.5	15.9	1.6
全国調査(H24)		N=3,033	54.5	46.0	42.4	41.5	35.2	42.2	30.6	32.1	27.7	30.0	27.5	20.7	0.4	15.2	3.1	-
男女別	男性	N=488	42.0	41.6	30.3	28.3	28.5	23.2	17.6	20.9	15.6	18.4	14.3	12.1	0.6	15.4	14.5	1.6
	女性	N=512	42.6	38.5	29.5	31.1	26.8	23.8	17.2	11.9	16.0	13.1	10.5	5.1	1.2	15.6	17.2	1.6
年齢別	20~29歳	N=106	41.5	38.7	20.8	28.3	24.5	22.6	12.3	7.5	17.0	14.2	9.4	5.7	0.9	10.4	19.8	2.8
	30~39歳	N=153	35.3	36.6	26.1	27.5	26.8	17.6	13.7	9.8	17.6	13.1	6.5	5.9	0.7	18.3	19.0	0.7
	40~49歳	N=201	43.8	36.3	31.8	24.4	24.9	23.4	15.4	10.0	11.4	16.9	14.4	7.5	1.0	17.4	17.4	2.5
	50~59歳	N=192	45.8	44.8	36.5	33.9	30.7	28.1	22.4	18.2	21.4	18.8	12.5	10.4	1.0	13.0	15.6	0.5
	60~69歳	N=253	43.1	41.9	32.0	29.6	29.2	24.5	20.2	22.5	13.0	15.0	14.6	9.5	1.2	17.0	12.3	2.0
	70歳以上	N=95	42.1	40.0	23.2	37.9	27.4	22.1	15.8	29.5	16.8	14.7	14.7	11.6	-	13.7	13.7	1.1
	性別	20~29歳	N=51	39.2	33.3	15.7	25.5	27.5	15.7	7.8	9.8	15.7	15.7	11.8	11.8	-	11.8	23.5
30~39歳		N=76	30.3	34.2	21.1	21.1	25.0	19.7	13.2	14.5	21.1	13.2	7.9	7.9	1.3	18.4	14.5	1.3
40~49歳		N=98	38.8	33.7	29.6	23.5	21.4	22.4	15.3	13.3	9.2	15.3	15.3	7.1	-	23.5	18.4	1.0
50~59歳		N=103	44.7	48.5	36.9	34.0	32.0	27.2	23.3	21.4	19.4	21.4	12.6	13.6	1.0	10.7	14.6	1.0
60~69歳		N=117	51.3	46.2	40.2	29.9	33.3	28.2	23.1	28.2	13.7	21.4	19.7	16.2	0.9	13.7	10.3	1.7
70歳以上		N=43	41.9	53.5	23.3	37.2	30.2	16.3	14.0	41.9	16.3	23.3	16.3	16.3	-	11.6	7.0	2.3
性別	20~29歳	N=55	43.6	43.6	25.5	30.9	21.8	29.1	16.4	5.5	18.2	12.7	7.3	-	1.8	9.1	16.4	1.8
	30~39歳	N=77	40.3	39.0	31.2	33.8	28.6	15.6	14.3	5.2	14.3	13.0	5.2	3.9	-	18.2	23.4	-
	40~49歳	N=103	48.5	38.8	34.0	25.2	28.2	24.3	15.5	6.8	13.6	18.4	13.6	7.8	1.9	11.7	16.5	3.9
	50~59歳	N=89	47.2	40.4	36.0	33.7	29.2	29.2	21.3	14.6	23.6	15.7	12.4	6.7	1.1	15.7	16.9	-
	60~69歳	N=136	36.0	38.2	25.0	29.4	25.7	21.3	17.6	17.6	12.5	9.6	10.3	3.7	1.5	19.9	14.0	2.2
	70歳以上	N=52	42.3	28.8	23.1	38.5	25.0	26.9	17.3	19.2	17.3	7.7	13.5	7.7	-	15.4	19.2	-

## V 政策方針決定・女性の活躍推進

### 18 女性の意見が政治や行政にどの程度反映されているか

問 18 あなたは、女性の意見が政治や行政にどの程度反映されていると思いますか。次の1～4の中から選んでください。(✓は1つ)

#### 【全体】

女性の意見が政治や行政にどの程度反映されているか聞いたところ、「十分反映されている」が3.1%、「ある程度反映されている」が36.8%、「あまり反映されていない」が49.3%、「ほとんど反映されていない」が8.6%となっており、「十分反映されていない」とする人の割合が94.7%（「ある程度反映されている」36.8%+「あまり反映されていない」49.3%+「ほとんど反映されていない」8.6%—以下同じ）となっている。

#### 【前回調査との比較】

前回の調査結果と比較してみると、「十分反映されている」が2.9ポイント減少し、「十分反映されていない」とする人の割合が6.3ポイント増加している。

#### 【男女別】

男女別にみると、男性は「ある程度反映されている」が42.2%と女性に比べて10.6ポイント多くなっており、一方女性は「あまり反映されていない」が54.5%と男性に比べて10.6ポイント多くなっている。

#### 【年齢別】

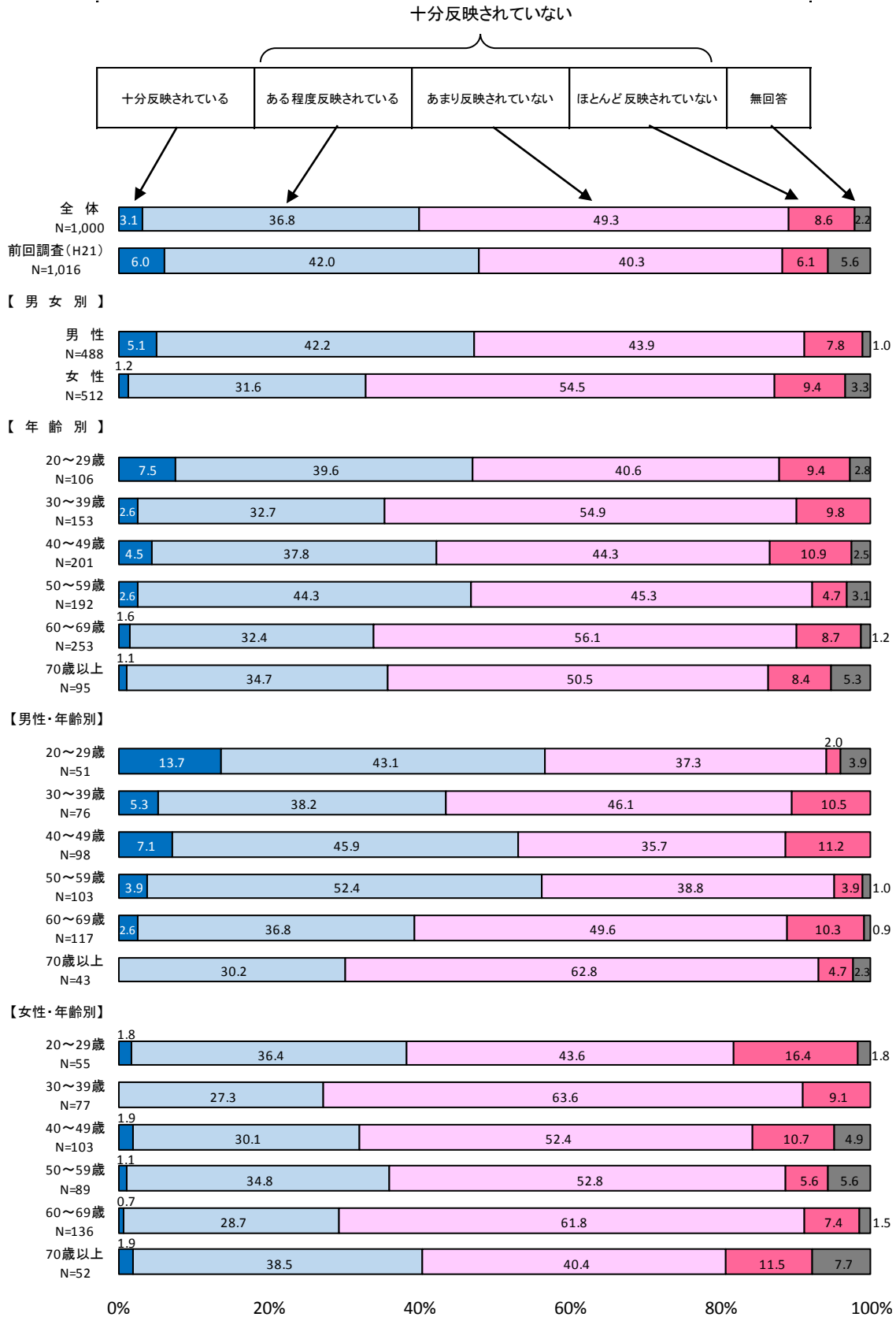
年齢別にみると、年齢が低いほど「十分反映されている」が多い傾向にある。

#### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性の20歳代は「十分反映されている」が13.7%となっている。

女性は、全年代で「十分反映されていない」とする人の割合が9割を超えており、特に30歳代は100%と多くなっている。

図 18 女性の意見が政治や行政にどの程度反映されているか



## 19 女性の意見が政治や行政に十分反映されていない理由

問 19 問 18 で 2 ～ 4 と答えた方にお聞きします。

十分反映されていない理由について考えられるものを次の 1 ～ 8 の中から選んでください。

(✓は3つ以内)

### 【全体】

前問で「十分反映されていない」とした 947 人に、十分反映されていない理由を聞いたところ、「社会の仕組みが女性に不利である」が 40.4%と最も多く、次いで「男性の認識、理解が足りない」が 39.2%、「行政機関の上層部に女性が少ない」が 26.6%などとなっている。

### 【前回調査との比較】

前回の調査結果と比較してみると、「社会の仕組みが女性に不利である」が 4.4 ポイント、「男性の認識、理解が足りない」が 1.7 ポイント増加し、「行政機関の上層部に女性が少ない」が 6.1 ポイント、「女性議員が少ない」が 3.5 ポイント、「女性の能力に対する偏見がある」が 3.2 ポイントそれぞれ減少している。

### 【男女別】

男女別にみると、女性は「社会の仕組みが女性に不利である」が 43.4%と男性に比べて 6.1 ポイント多くなっている。

### 【年齢別】

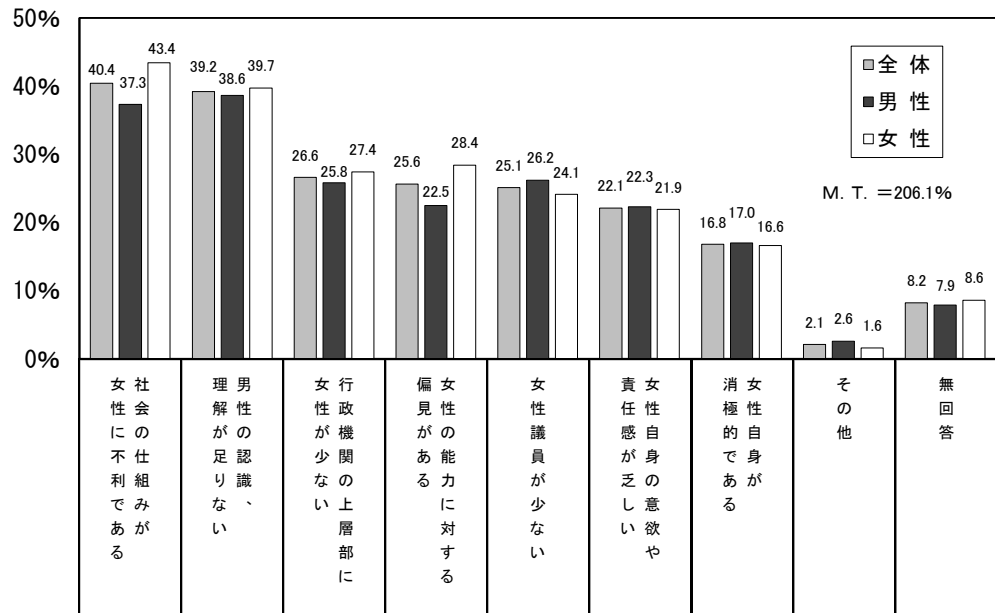
年齢別にみると、年齢が低いほど「女性議員が少ない」が多い傾向にあり、一方で、年齢が高いほど「女性自身の意欲や責任感が乏しい」が多い傾向にある。

### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性は年齢が高いほど「女性自身の意欲や責任感が乏しい」、「女性自身が消極的である」が多い傾向にある。



図 19 女性の意見が政治や行政に十分反映されていない理由 [M. A.]



全体		N=947	40.4	39.2	26.6	25.6	25.1	22.1	16.8	2.1	8.2
前回調査(H21)		N=898	36.0	37.5	32.7	28.8	28.6	25.5	20.5	2.4	6.5
男女別	男性	N=458	37.3	38.6	25.8	22.5	26.2	22.3	17.0	2.6	7.9
	女性	N=489	43.4	39.7	27.4	28.4	24.1	21.9	16.6	1.6	8.6
年齢別	20~29歳	N=95	36.8	35.8	25.3	24.2	31.6	16.8	13.7	3.2	4.2
	30~39歳	N=149	37.6	38.3	28.9	20.1	25.5	13.4	11.4	3.4	4.7
	40~49歳	N=187	38.5	41.7	26.7	28.9	24.1	14.4	15.5	3.7	8.6
	50~59歳	N=181	39.2	45.3	27.1	22.1	26.0	22.7	21.0	1.1	7.7
	60~69歳	N=246	47.2	34.1	24.8	27.2	23.6	30.9	15.9	0.8	10.6
	70歳以上	N=89	37.1	40.4	28.1	31.5	22.5	32.6	25.8	1.1	12.4
男性	20~29歳	N=42	33.3	38.1	33.3	28.6	28.6	11.9	9.5	2.4	2.4
	30~39歳	N=72	33.3	38.9	20.8	18.1	26.4	11.1	12.5	4.2	5.6
	40~49歳	N=91	30.8	38.5	23.1	22.0	25.3	14.3	19.8	5.5	8.8
	50~59歳	N=98	36.7	45.9	26.5	14.3	29.6	25.5	20.4	2.0	8.2
	60~69歳	N=113	49.6	32.7	26.5	28.3	23.9	31.0	14.2	-	8.0
	70歳以上	N=42	31.0	38.1	28.6	28.6	23.8	38.1	26.2	2.4	14.3
女性	20~29歳	N=53	39.6	34.0	18.9	20.8	34.0	20.8	17.0	3.8	5.7
	30~39歳	N=77	41.6	37.7	36.4	22.1	24.7	15.6	10.4	2.6	3.9
	40~49歳	N=96	45.8	44.8	30.2	35.4	22.9	14.6	11.5	2.1	8.3
	50~59歳	N=83	42.2	44.6	27.7	31.3	21.7	19.3	21.7	-	7.2
	60~69歳	N=133	45.1	35.3	23.3	26.3	23.3	30.8	17.3	1.5	12.8
	70歳以上	N=47	42.6	42.6	27.7	34.0	21.3	27.7	25.5	-	10.6

## 20 女性の活躍が進んだ時の社会・組織等の姿

問 20 あなたは、政治・経済・地域などの各分野で、女性の参加が進み、女性のリーダーが増えることのような影響があると思いますか。次の 1～14 の中から選んでください。(あてはまるものすべてに✓)

### 【全体】

政治・経済・地域などの各分野で、女性の参加が進み、女性のリーダーが増えることのような影響があると思うか聞いたところ、「男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる」が 60.3%と最も多く、次いで「多様な視点が加わることにより、新たな価値や商品・サービスが創造される」が 52.6%、「女性の声が反映されやすくなる」が 52.2%などとなっている。

### 【全国調査との比較】

全国調査と比較してみると、富山県は「男女問わず仕事と家庭の両方を優先しやすい社会になる」が 11.4 ポイント、「多様な視点が加わることにより、新たな価値や商品・サービスが創造される」が 9.8 ポイント、「労働時間の短縮など働き方の見直しが進む」が 6.1 ポイント、それぞれ全国調査を上回っている。

### 【男女別】

男女別にみると、女性は「男女問わず仕事と家庭の両方を優先しやすい社会になる」が 13.1 ポイント、「女性の声が反映されやすくなる」が 7.1 ポイントそれぞれ男性に比べて多くなっている。

### 【年齢別】

年齢別にみると、50 歳代以上で「男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる」が 6 割を超えており、他の年代に比べて多くなっている。

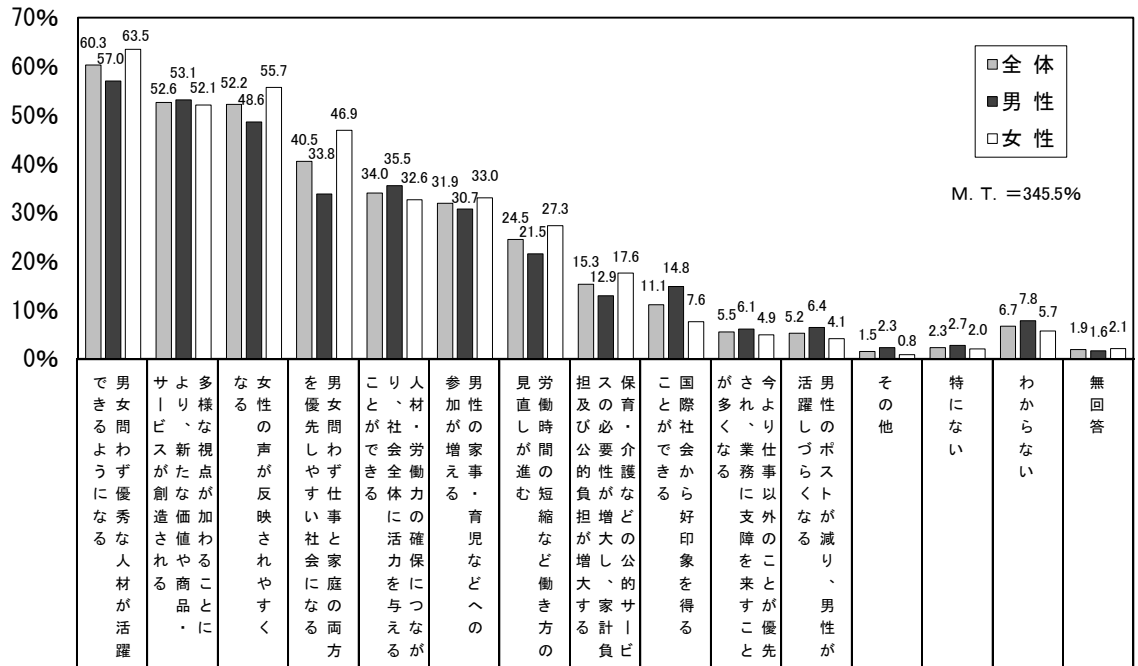
### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性の 20 歳代は「女性の声が反映されやすくなる」が、30 歳代以上は「男女問わず優秀な人材が活躍できるようになる」が最も多くなっている。

### 【職業分野別】

職業分野別にみると、公務は「男性の家事・育児などへの参加が増える」が 54.7%と 5 割を超えており、他の業種に比べて多くなっている。

図 20 女性の活躍が進んだ時の社会・組織等の姿 [M. A.]



全体		N=1,000	60.3	52.6	52.2	40.5	34.0	31.9	24.5	15.3	11.1	5.5	5.2	1.5	2.3	6.7	1.9
全国調査(H26)		N=3,037	65.0	42.8	55.9	29.1	34.7	27.1	18.4	12.3	16.6	4.2	4.0	0.5	1.8	2.2	-
男女別	男性	N=488	57.0	53.1	48.6	33.8	35.5	30.7	21.5	12.9	14.8	6.1	6.4	2.3	2.7	7.8	1.6
	女性	N=512	63.5	52.1	55.7	46.9	32.6	33.0	27.3	17.6	7.6	4.9	4.1	0.8	2.0	5.7	2.1
年齢別	20~29歳	N=106	49.1	48.1	57.5	39.6	27.4	30.2	20.8	9.4	13.2	5.7	9.4	4.7	1.9	7.5	2.8
	30~39歳	N=153	57.5	47.1	51.6	36.6	25.5	34.0	29.4	11.8	6.5	9.2	2.6	2.0	2.6	9.8	0.7
	40~49歳	N=201	52.2	53.2	46.8	38.3	24.4	25.9	21.9	13.4	9.0	4.5	6.0	1.0	3.5	9.0	2.0
	50~59歳	N=192	67.2	53.1	50.5	44.8	38.0	30.2	27.1	11.5	12.5	6.3	4.7	1.0	1.6	5.2	1.0
	60~69歳	N=253	65.6	58.5	53.4	39.1	43.5	35.2	22.1	21.3	12.6	4.0	4.3	1.2	2.4	4.0	3.2
	70歳以上	N=95	66.3	48.4	58.9	47.4	42.1	37.9	27.4	23.2	13.7	4.2	6.3	-	1.1	6.3	1.1
男性	20~29歳	N=51	47.1	49.0	49.0	35.3	27.5	25.5	15.7	9.8	13.7	7.8	13.7	7.8	2.0	11.8	-
	30~39歳	N=76	44.7	44.7	47.4	28.9	22.4	26.3	18.4	6.6	7.9	7.9	3.9	2.6	5.3	11.8	-
	40~49歳	N=98	45.9	52.0	38.8	30.6	26.5	19.4	16.3	10.2	10.2	7.1	8.2	2.0	3.1	12.2	2.0
	50~59歳	N=103	63.1	57.3	49.5	39.8	36.9	34.0	24.3	9.7	16.5	9.7	4.9	1.9	1.9	4.9	1.0
	60~69歳	N=117	69.2	58.1	52.1	32.5	50.4	40.2	23.1	18.8	20.5	2.6	4.3	0.9	2.6	3.4	3.4
	70歳以上	N=43	67.4	51.2	60.5	37.2	44.2	37.2	34.9	25.6	18.6	-	7.0	-	-	4.7	2.3
女性	20~29歳	N=55	50.9	47.3	65.5	43.6	27.3	34.5	25.5	9.1	12.7	3.6	5.5	1.8	1.8	3.6	5.5
	30~39歳	N=77	70.1	49.4	55.8	44.2	28.6	41.6	40.3	16.9	5.2	10.4	1.3	1.3	-	7.8	1.3
	40~49歳	N=103	58.3	54.4	54.4	45.6	22.3	32.0	27.2	16.5	7.8	1.9	3.9	-	3.9	5.8	1.9
	50~59歳	N=89	71.9	48.3	51.7	50.6	39.3	25.8	30.3	13.5	7.9	2.2	4.5	-	1.1	5.6	1.1
	60~69歳	N=136	62.5	58.8	54.4	44.9	37.5	30.9	21.3	23.5	5.9	5.1	4.4	1.5	2.2	4.4	2.9
	70歳以上	N=52	65.4	46.2	57.7	55.8	40.4	38.5	21.2	21.2	9.6	7.7	5.8	-	1.9	7.7	-
職業分野別	農林漁業	N=5	100.0	40.0	80.0	60.0	60.0	20.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	建設業	N=46	60.9	45.7	50.0	39.1	28.3	28.3	13.0	6.5	6.5	6.5	4.3	4.3	4.3	8.7	-
	製造業	N=141	46.1	47.5	45.4	29.8	28.4	31.2	18.4	14.9	9.2	7.1	2.1	5.0	3.5	8.5	1.4
	情報通信業	N=14	57.1	35.7	50.0	21.4	28.6	14.3	7.1	14.3	-	-	-	-	-	14.3	7.1
	運輸業	N=21	42.9	47.6	52.4	23.8	23.8	14.3	19.0	9.5	14.3	9.5	9.5	-	-	9.5	9.5
	卸売・小売業	N=37	70.3	45.9	54.1	48.6	40.5	32.4	21.6	10.8	18.9	13.5	2.7	-	-	8.1	-
	金融・保険業	N=23	43.5	60.9	26.1	43.5	26.1	13.0	4.3	26.1	8.7	4.3	17.4	-	-	8.7	-
	医療・福祉業	N=82	75.6	59.8	72.0	54.9	45.1	41.5	31.7	18.3	13.4	9.8	4.9	-	1.2	3.7	1.2
	サービス業	N=90	66.7	57.8	57.8	47.8	35.6	32.2	33.3	15.6	14.4	4.4	5.6	1.1	3.3	7.8	-
	公務	N=53	62.3	56.6	50.9	50.9	34.0	54.7	34.0	15.1	9.4	3.8	5.7	1.9	1.9	1.9	5.7
	その他	N=40	60.0	45.0	57.5	42.5	22.5	30.0	35.0	10.0	2.5	2.5	2.5	-	2.5	5.0	2.5

## 21 女性の活躍を進めるに際しての障害

問 21 あなたは、政治・経済・地域などの各分野で女性のリーダーを増やすときに障害となるものは何だと思いますか。次の1～10の中から選んでください。(あてはまるものすべてに✓)

### 【全体】

政治・経済・地域などの各分野で女性のリーダーを増やすときに障害となるものは何だと思うか聞いたところ、「保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと」が42.9%と最も多く、次いで「保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」が41.1%、「長時間労働の改善が十分ではないこと」が35.2%などとなっている。

### 【全国調査との比較】

全国調査と比較してみると、富山県は「現時点では、必要な知識や経験などを持つ女性が少ないこと」が12.4ポイント、「女性自身がリーダーになることを希望しないこと」が10.5ポイント、「企業などにおいては、管理職になると広域異動が増えること」が6.2ポイントそれぞれ全国調査を上回っている。

### 【男女別】

男女別にみると、男性は「女性自身がリーダーになることを希望しないこと」が女性に比べて5.9ポイント多く、一方女性は「上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと」が10.9ポイント、「保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」が10.6ポイント、「保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと」が9.8ポイントそれぞれ男性に比べて多くなっている。

### 【年齢別】

年齢別にみると、年齢が高いほど「保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」が多くなっており、70歳以上では56.8%と5割を超えている。

### 【性・年齢別】

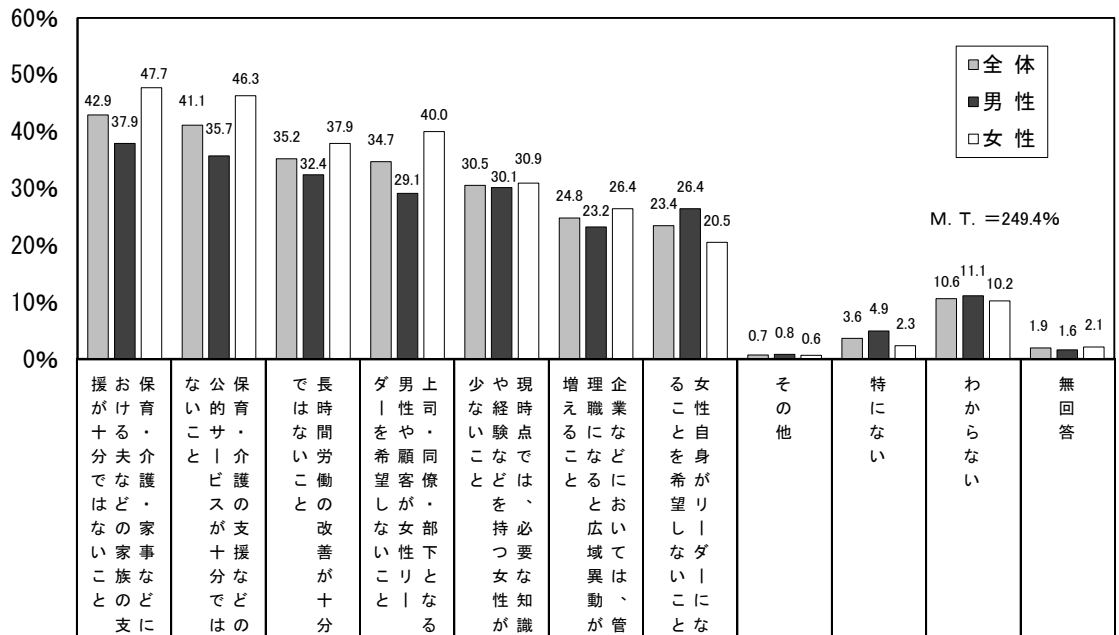
性・年齢別にみると、男性の70歳代は「現時点では、必要な知識や経験などを持つ女性が少ないこと」が48.8%、「女性自身がリーダーになることを希望しないこと」が41.9%と他の年代に比べて多くなっている。

女性の20歳代から50歳代は「上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと」が4割を超えている。

### 【職業分野別】

職業分野別にみると、農林漁業、卸売・小売業、医療・福祉業では「長時間労働の改善が十分ではないこと」がいずれも4割以上を占めている。

図 21 女性の活躍を進めるに際しての障害 [M. A.]



全 体		N=1,000	42.9	41.1	35.2	34.7	30.5	24.8	23.4	0.7	3.6	10.6	1.9
全国調査(H26)		N=3,037	50.1	42.3	38.8	31.1	18.1	18.6	12.9	0.5	3.9	3.4	-
男 女 別	男 性	N=488	37.9	35.7	32.4	29.1	30.1	23.2	26.4	0.8	4.9	11.1	1.6
	女 性	N=512	47.7	46.3	37.9	40.0	30.9	26.4	20.5	0.6	2.3	10.2	2.1
年 齢 別	20～29歳	N=106	37.7	31.1	28.3	40.6	24.5	18.9	28.3	0.9	1.9	17.9	2.8
	30～39歳	N=153	40.5	35.9	37.3	32.0	19.6	15.7	16.3	0.7	3.9	15.0	0.7
	40～49歳	N=201	39.3	37.8	28.9	36.3	30.3	16.4	19.4	1.0	5.0	9.5	3.0
	50～59歳	N=192	43.2	42.7	38.0	33.3	26.0	30.2	28.6	0.5	3.1	9.4	0.5
	60～69歳	N=253	48.2	43.9	37.9	34.0	38.7	32.4	22.5	0.8	4.0	7.5	2.8
	70歳以上	N=95	45.3	56.8	40.0	33.7	42.1	32.6	29.5	-	2.1	8.4	1.1
	男 性	20～29歳	N=51	37.3	31.4	23.5	37.3	29.4	15.7	23.5	2.0	3.9	13.7
	30～39歳	N=76	36.8	18.4	31.6	19.7	18.4	11.8	19.7	1.3	6.6	18.4	-
	40～49歳	N=98	29.6	28.6	25.5	26.5	28.6	13.3	20.4	-	6.1	13.3	3.1
	50～59歳	N=103	39.8	35.9	34.0	27.2	26.2	31.1	35.0	1.0	4.9	10.7	1.0
	60～69歳	N=117	41.9	47.9	40.2	34.2	35.9	30.8	23.9	0.9	4.3	5.1	2.6
	70歳以上	N=43	44.2	53.5	34.9	32.6	48.8	34.9	41.9	-	2.3	7.0	2.3
女 性	20～29歳	N=55	38.2	30.9	32.7	43.6	20.0	21.8	32.7	-	-	21.8	5.5
	30～39歳	N=77	44.2	53.2	42.9	44.2	20.8	19.5	13.0	-	1.3	11.7	1.3
	40～49歳	N=103	48.5	46.6	32.0	45.6	32.0	19.4	18.4	1.9	3.9	5.8	2.9
	50～59歳	N=89	47.2	50.6	42.7	40.4	25.8	29.2	21.3	-	1.1	7.9	-
	60～69歳	N=136	53.7	40.4	36.0	33.8	41.2	33.8	21.3	0.7	3.7	9.6	2.9
	70歳以上	N=52	46.2	59.6	44.2	34.6	36.5	30.8	19.2	-	1.9	9.6	-
	職 業 分 野 別	農林漁業	N=5	60.0	60.0	40.0	60.0	-	60.0	20.0	-	-	-
建設業		N=46	34.8	30.4	30.4	34.8	30.4	17.4	23.9	-	6.5	10.9	-
製造業		N=141	38.3	33.3	27.7	26.2	27.0	13.5	29.8	-	5.0	13.5	1.4
情報通信業		N=14	28.6	35.7	21.4	-	14.3	-	7.1	-	7.1	21.4	7.1
運輸業		N=21	33.3	42.9	23.8	23.8	38.1	19.0	9.5	4.8	-	14.3	9.5
卸売・小売業		N=37	48.6	43.2	48.6	54.1	24.3	35.1	24.3	-	5.4	2.7	-
金融・保険業		N=23	34.8	26.1	21.7	43.5	21.7	34.8	26.1	-	-	8.7	-
医療・福祉業		N=82	56.1	58.5	46.3	51.2	32.9	29.3	23.2	1.2	-	6.1	1.2
サービス業		N=90	41.1	41.1	37.8	35.6	32.2	18.9	28.9	3.3	2.2	13.3	-
公務		N=53	47.2	49.1	37.7	37.7	15.1	26.4	35.8	-	1.9	11.3	5.7
その他		N=40	45.0	42.5	30.0	40.0	17.5	22.5	20.0	-	7.5	5.0	5.0

## VI 仕事と生活の調和(男性の働き方の見直し)

### 22 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の関わり方

問 22 生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」(地域活動・学習・趣味・付き合い等)の優先度について、(1)あなたの希望に最も近いもの、(2)あなたの現実(現状)に最も近いものを、次の1～8の中から選んでください。(✓はそれぞれ1つ)

#### (1)希望に最も近いもの

##### 【全体】

生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」(地域活動・学習・趣味・付き合い等)の優先度について、希望に最も近いものを聞いたところ、「仕事」と「家庭生活」をともに優先」が27.6%と最も多く、次いで「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先」が20.7%、「家庭生活」を優先」が12.3%などとなっている。

##### 【前回調査との比較】

前回の調査結果と比較してみると、「仕事」と「家庭生活」をともに優先」が4.5ポイント増加している。

##### 【全国調査との比較】

全国調査と比較してみると、全国調査は「家庭生活」を優先」が27.6%となっており、全国調査が富山県を15.3ポイント上回っている。

##### 【男女別】

男女別にみると、大きな差異はみられない。

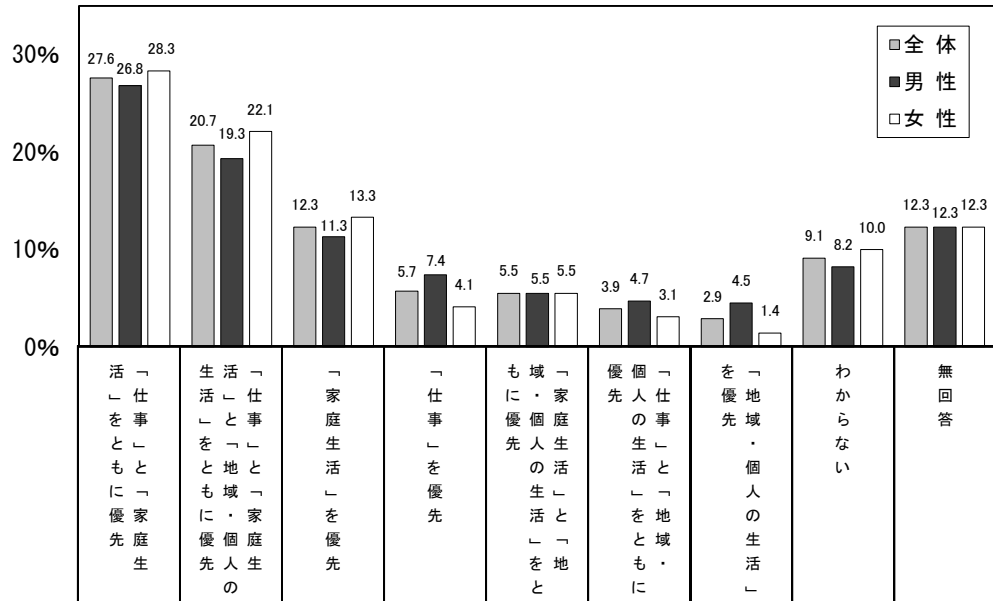
##### 【年齢別】

年齢別にみると、30歳代と50歳代は「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先」が2割を超えており他の年代に比べて多くなっている。

##### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性の30歳代から40歳代は「家庭生活」を優先」が他の年代に比べて多くなっている。

図 22-1 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の関わり方 (希望に最も近いもの)



		全体	「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	「地域・個人の生活」を優先	優先順位不明	「地域・個人の生活」を優先	わからない	無回答	
全体 N=1,000		27.6	20.7	12.3	5.7	5.5	3.9	2.9	9.1	12.3
前回調査(H21) N=1,016		23.1	21.7	13.2	4.7	8.7	3.1	2.4	4.2	19.0
全国調査(H24) N=3,033		30.5	15.9	27.6	9.8	9.0	3.5	2.4	1.4	-
男女別	男性 N=488	26.8	19.3	11.3	7.4	5.5	4.7	4.5	8.2	12.3
	女性 N=512	28.3	22.1	13.3	4.1	5.5	3.1	1.4	10.0	12.3
年齢別	20～29歳 N=106	33.0	14.2	10.4	2.8	9.4	3.8	3.8	12.3	10.4
	30～39歳 N=153	24.8	26.8	16.3	1.3	5.2	3.3	3.9	11.1	7.2
	40～49歳 N=201	29.4	18.9	17.9	6.5	5.5	2.5	2.0	10.0	7.5
	50～59歳 N=192	30.2	28.6	13.0	6.3	3.6	3.6	2.1	4.2	8.3
	60～69歳 N=253	24.1	18.2	7.5	8.7	5.1	5.9	4.0	8.7	17.8
	70歳以上 N=95	26.3	12.6	7.4	5.3	6.3	3.2	1.1	11.6	26.3
男性	20～29歳 N=51	31.4	19.6	7.8	2.0	9.8	3.9	5.9	11.8	7.8
	30～39歳 N=76	25.0	17.1	17.1	2.6	5.3	5.3	7.9	11.8	7.9
	40～49歳 N=98	28.6	12.2	20.4	8.2	6.1	3.1	4.1	12.2	5.1
	50～59歳 N=103	26.2	32.0	8.7	8.7	4.9	3.9	2.9	3.9	8.7
	60～69歳 N=117	25.6	17.9	6.0	11.1	5.1	6.8	5.1	3.4	18.8
	70歳以上 N=43	25.6	11.6	4.7	7.0	2.3	4.7	-	11.6	32.6
女性	20～29歳 N=55	34.5	9.1	12.7	3.6	9.1	3.6	1.8	12.7	12.7
	30～39歳 N=77	24.7	36.4	15.6	-	5.2	1.3	-	10.4	6.5
	40～49歳 N=103	30.1	25.2	15.5	4.9	4.9	1.9	-	7.8	9.7
	50～59歳 N=89	34.8	24.7	18.0	3.4	2.2	3.4	1.1	4.5	7.9
	60～69歳 N=136	22.8	18.4	8.8	6.6	5.1	5.1	2.9	13.2	16.9
	70歳以上 N=52	26.9	13.5	9.6	3.8	9.6	1.9	1.9	11.5	21.2

## (2) 現実(現状)に最も近いもの

### 【全体】

生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」(地域活動・学習・趣味・付き合い等)の優先度について、現実(現状)に最も近いものを聞いたところ、「仕事」を優先が30.8%と最も多く、次いで「仕事」と「家庭生活」をともに優先が17.6%、「家庭生活」を優先が13.2%などとなっている。

### 【前回調査との比較】

前回の調査結果と比較してみると、「家庭生活」を優先が2.6ポイント減少し、「仕事」を優先が8.4ポイント増加している。

### 【全国調査との比較】

全国調査と比較してみると、全国調査は「家庭生活」を優先が32.8%となっており、全国調査が富山県を19.6ポイント上回っている。

### 【男女別】

男女別にみると、男性は「仕事」を優先が39.1%と16.2ポイント女性に比べて多く、一方女性は「家庭生活」を優先が20.1%と14.2ポイント男性に比べて多くなっている。

### 【年齢別】

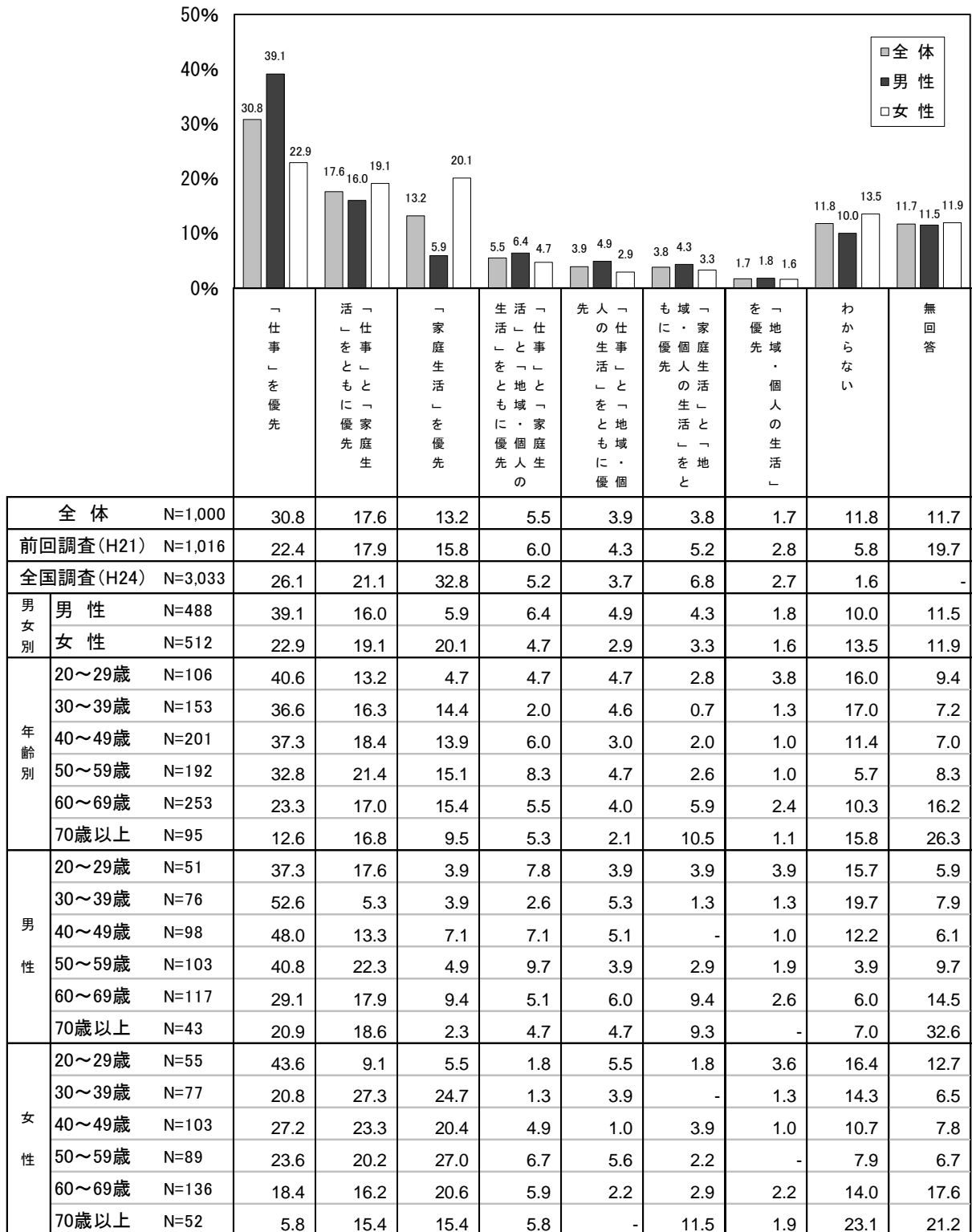
年齢別にみると、年齢が低いほど「仕事」を優先が多い傾向にあり、20歳代では40.6%と4割を超えている。

### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、「仕事」を優先は、男性の30歳代から40歳代で約5割、女性は20歳代で4割を超えており、それぞれ他の年代に比べて多くなっている。



図 22-2 「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の関わり方 (現実(現状)に最も近いもの)



### (3) 希望と現実の比較

#### 【全体】

生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）の優先度について、『希望』と『現実』を比較すると、「仕事」を優先」は、『希望』では5.7%と低かったのに対して『現実』では30.8%と25.1ポイント多く、一方で、「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先」は、『希望』では20.7%となっているが『現実』では5.5%と15.2ポイント低くなっている。

#### 【前回調査との比較】

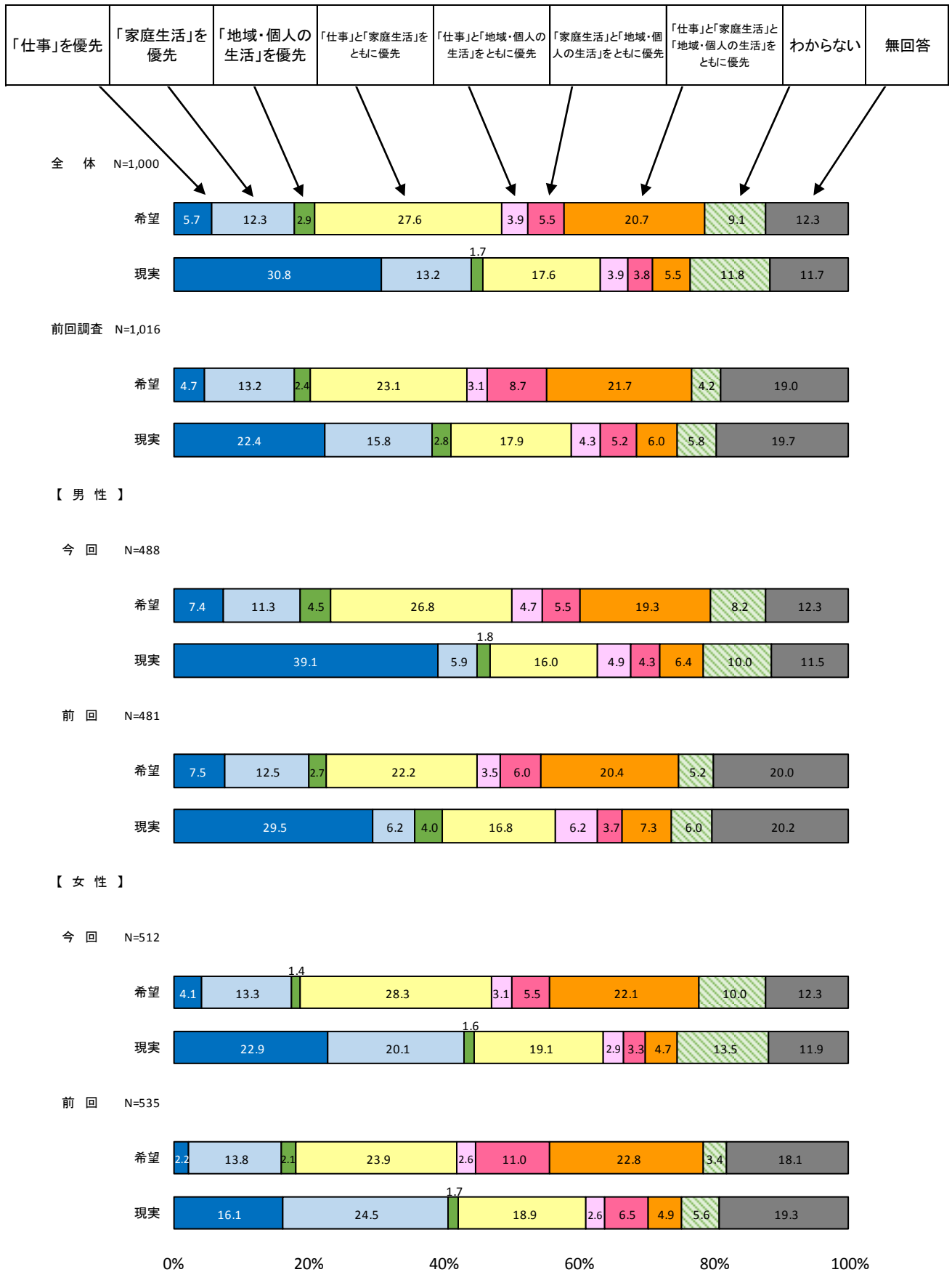
前回の調査結果と比較してみると、傾向に大きな変化はないが、前回調査の「仕事」を優先」の『希望』と『現実』の差が17.7ポイントだったのに対して、今回の調査では25.1ポイントと7.4ポイント大きくなっている。

#### 【男女別】

男女別にみると、前回調査では、男性は「仕事」を優先」と回答した人の割合で、『希望』と『現実』の差が最も大きく、22.0ポイント『現実』の方が大きくなっていた。一方女性は「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先」と回答した人の割合で、『希望』と『現実』の差が最も大きく、17.9ポイント『希望』の方が大きくなっていた。

今回の調査では、男女ともに「仕事」を優先」と回答した人の割合で、『希望』と『現実』の差が最も大きくなっており、男性は31.7ポイント、女性は18.8ポイント『現実』の方が大きくなっている。

図 22-3 希望と現実の比較



## 23 男性が家事、子育て、介護、地域活動に参加するために必要なこと

問 23 今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の1～12の中から選んでください。(あてはまるものすべてに✓)

### 【全体】

今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思うか聞いたところ、「夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること」が58.0%と最も多く、次いで「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」が53.1%、「社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についても、その評価を高めること」が44.5%などとなっている。

### 【前回調査との比較】

前回の調査結果と比較してみると、傾向に大きな変化はないが、「労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」が7.4ポイント、「家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること」が4.4ポイントそれぞれ増加している。

### 【全国調査との比較】

全国調査と比較してみると、全国調査は「家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること」が16.3ポイント、「男性が子育てや介護、地域活動を行うための仲間（ネットワーク）作りをすすめること」が14.0ポイントそれぞれ富山県を上回っている。

### 【男女別】

男女別にみると、女性は「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」が10.0ポイント、「男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう啓発や情報提供を行うこと」が9.8ポイントそれぞれ男性に比べて多くなっている。

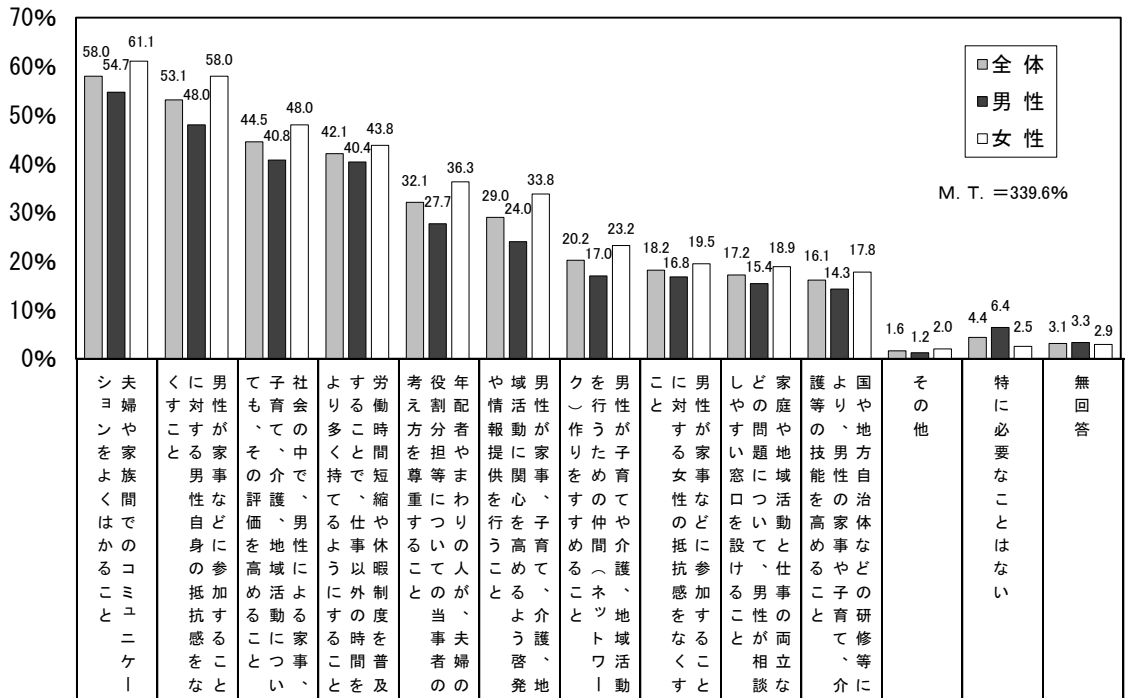
### 【年齢別】

年齢別にみると、50歳代以上では「年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること」が3割を超えており、特に60歳代は39.5%と約4割となっている。

### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性は年齢が低いほど「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」が多い傾向にあり、20歳代と40歳代は6割を超えている。

図 23 男性が家事、子育て、介護、地域活動に参加するために必要なこと [M. A.]



全体		N=1,000	58.0	53.1	44.5	42.1	32.1	29.0	20.2	18.2	17.2	16.1	1.6	4.4	3.1
前回調査(H21)		N=1,016	58.2	54.7	43.5	34.7	30.5	28.9	17.5	13.3	12.8	14.1	1.7	3.6	3.2
全国調査(H24)		N=3,033	66.7	55.9	48.6	48.4	41.7	36.1	34.2	27.5	33.5	25.5	1.1	5.3	-
男女別	男性	N=488	54.7	48.0	40.8	40.4	27.7	24.0	17.0	16.8	15.4	14.3	1.2	6.4	3.3
	女性	N=512	61.1	58.0	48.0	43.8	36.3	33.8	23.2	19.5	18.9	17.8	2.0	2.5	2.9
年齢別	20~29歳	N=106	64.2	57.5	39.6	42.5	29.2	23.6	21.7	17.9	19.8	13.2	0.9	3.8	4.7
	30~39歳	N=153	48.4	50.3	47.7	41.8	28.8	27.5	20.9	12.4	20.3	13.1	2.6	7.2	0.7
	40~49歳	N=201	53.2	49.3	39.3	40.3	22.4	22.4	16.4	16.9	8.5	12.9	2.0	7.0	3.0
	50~59歳	N=192	59.4	51.0	47.4	47.9	33.9	31.3	20.3	20.3	16.1	15.1	0.5	3.6	2.1
	60~69歳	N=253	60.9	56.5	46.6	41.5	39.5	29.6	17.0	19.4	18.2	19.8	1.2	2.0	4.0
	70歳以上	N=95	66.3	55.8	44.2	35.8	37.9	45.3	33.7	23.2	27.4	23.2	3.2	3.2	5.3
性別	20~29歳	N=51	62.7	47.1	33.3	39.2	25.5	23.5	15.7	19.6	13.7	11.8	2.0	5.9	7.8
	30~39歳	N=76	48.7	43.4	38.2	39.5	21.1	14.5	17.1	14.5	18.4	10.5	2.6	9.2	1.3
	40~49歳	N=98	48.0	37.8	30.6	38.8	20.4	13.3	16.3	15.3	9.2	12.2	1.0	10.2	2.0
	50~59歳	N=103	55.3	45.6	46.6	48.5	26.2	27.2	17.5	18.4	15.5	16.5	-	6.8	1.0
	60~69歳	N=117	57.3	56.4	46.2	37.6	37.6	25.6	11.1	13.7	14.5	12.8	-	2.6	6.0
	70歳以上	N=43	62.8	62.8	48.8	34.9	34.9	53.5	34.9	25.6	27.9	27.9	4.7	2.3	2.3
性別	20~29歳	N=55	65.5	67.3	45.5	45.5	32.7	23.6	27.3	16.4	25.5	14.5	-	1.8	1.8
	30~39歳	N=77	48.1	57.1	57.1	44.2	36.4	40.3	24.7	10.4	22.1	15.6	2.6	5.2	-
	40~49歳	N=103	58.3	60.2	47.6	41.7	24.3	31.1	16.5	18.4	7.8	13.6	2.9	3.9	3.9
	50~59歳	N=89	64.0	57.3	48.3	47.2	42.7	36.0	23.6	22.5	16.9	13.5	1.1	-	3.4
	60~69歳	N=136	64.0	56.6	47.1	44.9	41.2	33.1	22.1	24.3	21.3	25.7	2.2	1.5	2.2
	70歳以上	N=52	69.2	50.0	40.4	36.5	40.4	38.5	32.7	21.2	26.9	19.2	1.9	3.8	7.7

## 24 男性が家事・育児を行うことについてのイメージ

問 24 あなたは、男性が家事・育児を行うことについて、どのようなイメージをお持ちですか。次の 1～12の中から選んでください。（あてはまるものすべてに✓）

### 【全体】

男性が家事・育児を行うことについて、どのようなイメージを持っているか聞いたところ、「子どもにいい影響を与える」が 55.5%と最も多く、次いで「男性も家事・育児を行うことは、当然である」が 51.4%、「仕事と両立させることは、現実として難しい」が 39.4%などとなっている。

### 【全国調査との比較】

全国調査と比較してみると、全国調査は「仕事と両立させることは、現実として難しい」が 24.7%となっており、富山県が全国調査を 14.7 ポイント上回っている。

### 【男女別】

男女別にみると、女性は「子どもにいい影響を与える」が 19.5 ポイント、「家事・育児を行う男性は、時間の使い方が効率的で、仕事もできる」が 13.3 ポイントそれぞれ男性に比べて多くなっており、一方男性は「家事・育児は女性の方が向いている」が女性に比べて 6.2 ポイント多くなっている。

### 【年齢別】

年齢別にみると、年齢が高いほど「家事・育児を行う男性は、時間の使い方が効率的で、仕事もできる」が多い傾向にある。

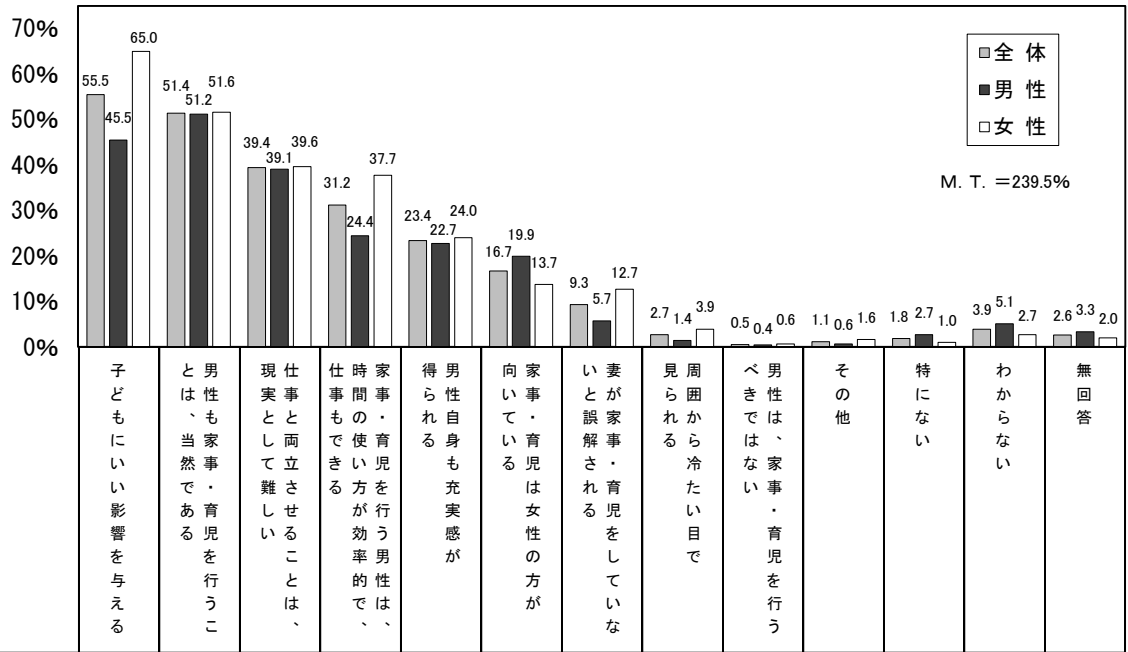
### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性の 30 歳代は「男性も家事・育児を行うことは、当然である」が 62.3%と 6 割を超えており、他の年代に比べて最も多くなっている。

### 【職業分野別】

職業分野別にみると、医療・福祉業では「男性も家事・育児を行うことは、当然である」が 73.2%と 7 割を超えており、他の業種に比べて多くなっている。

図 24 男性が家事・育児を行うことについてのイメージ [M. A.]



全体		N=1,000	55.5	51.4	39.4	31.2	23.4	16.7	9.3	2.7	0.5	1.1	1.8	3.9	2.6
全国調査(H26)		N=3,037	56.5	52.1	24.7	31.3	26.1	13.4	4.8	2.1	2.6	0.7	0.8	0.7	-
男女別	男性	N=488	45.5	51.2	39.1	24.4	22.7	19.9	5.7	1.4	0.4	0.6	2.7	5.1	3.3
	女性	N=512	65.0	51.6	39.6	37.7	24.0	13.7	12.7	3.9	0.6	1.6	1.0	2.7	2.0
年齢別	20~29歳	N=106	58.5	50.0	34.9	25.5	23.6	14.2	15.1	2.8	0.9	0.9	-	2.8	7.5
	30~39歳	N=153	49.7	58.2	31.4	24.2	19.0	8.5	10.5	2.6	-	0.7	1.3	7.8	0.7
	40~49歳	N=201	48.8	46.3	39.8	26.9	20.4	11.9	10.0	2.5	-	0.5	3.0	3.5	2.5
	50~59歳	N=192	57.8	56.3	39.1	33.3	22.4	18.8	5.2	1.6	1.0	1.6	2.6	4.2	0.5
	60~69歳	N=253	59.3	49.8	45.1	36.8	24.5	22.5	9.9	3.6	0.4	1.2	1.6	2.4	3.2
	70歳以上	N=95	61.1	47.4	42.1	38.9	35.8	23.2	6.3	3.2	1.1	2.1	1.1	3.2	3.2
男性	20~29歳	N=51	54.9	52.9	33.3	15.7	27.5	17.6	7.8	3.9	2.0	2.0	-	3.9	9.8
	30~39歳	N=76	31.6	53.9	32.9	17.1	17.1	10.5	6.6	-	-	-	1.3	11.8	1.3
	40~49歳	N=98	35.7	42.9	38.8	19.4	17.3	12.2	5.1	1.0	-	-	4.1	6.1	2.0
	50~59歳	N=103	46.6	56.3	43.7	27.2	21.4	28.2	2.9	1.0	1.0	1.0	3.9	4.9	1.0
	60~69歳	N=117	57.3	53.8	41.0	29.1	23.1	24.8	6.8	0.9	-	-	2.6	1.7	4.3
	70歳以上	N=43	46.5	44.2	41.9	39.5	41.9	23.3	7.0	4.7	-	2.3	2.3	2.3	4.7
女性	20~29歳	N=55	61.8	47.3	36.4	34.5	20.0	10.9	21.8	1.8	-	-	-	1.8	5.5
	30~39歳	N=77	67.5	62.3	29.9	31.2	20.8	6.5	14.3	5.2	-	1.3	1.3	3.9	-
	40~49歳	N=103	61.2	49.5	40.8	34.0	23.3	11.7	14.6	3.9	-	1.0	1.9	1.0	2.9
	50~59歳	N=89	70.8	56.2	33.7	40.4	23.6	7.9	7.9	2.2	1.1	2.2	1.1	3.4	-
	60~69歳	N=136	61.0	46.3	48.5	43.4	25.7	20.6	12.5	5.9	0.7	2.2	0.7	2.9	2.2
	70歳以上	N=52	73.1	50.0	42.3	38.5	30.8	23.1	5.8	1.9	1.9	1.9	-	3.8	1.9
職業分野別	農林漁業	N=5	80.0	40.0	40.0	-	-	20.0	20.0	-	-	-	-	-	-
	建設業	N=46	43.5	45.7	60.9	28.3	15.2	15.2	8.7	-	4.3	-	-	-	-
	製造業	N=141	41.1	41.8	38.3	19.9	18.4	18.4	5.7	1.4	0.7	1.4	5.7	6.4	3.5
	情報通信業	N=14	28.6	21.4	57.1	7.1	7.1	14.3	-	-	-	-	-	7.1	7.1
	運輸業	N=21	52.4	66.7	28.6	19.0	19.0	14.3	-	-	-	4.8	-	9.5	-
	卸売・小売業	N=37	59.5	59.5	29.7	43.2	21.6	21.6	13.5	2.7	-	-	-	2.7	-
	金融・保険業	N=23	56.5	30.4	39.1	34.8	8.7	17.4	13.0	-	-	4.3	-	4.3	-
	医療・福祉業	N=82	68.3	73.2	32.9	42.7	24.4	12.2	13.4	2.4	-	-	-	1.2	-
	サービス業	N=90	63.3	54.4	43.3	35.6	23.3	14.4	14.4	1.1	-	1.1	1.1	2.2	2.2
	公務	N=53	56.6	62.3	39.6	18.9	26.4	9.4	11.3	1.9	-	1.9	-	3.8	1.9
	その他	N=40	45.0	55.0	35.0	35.0	20.0	12.5	15.0	7.5	-	-	-	-	5.0

## 25 「仕事と生活の調和が実現された社会」に近づくために必要な取組み

問 25 あなたは、「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）が実現された社会」に近づくためには、（１）企業や（２）行政において、どのような取組みが必要だと思えますか。次の中から選んでください。（あてはまるものすべてに✓）

### （１）企業による取組み

#### 【全体】

「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）が実現された社会」に近づくために、企業においてどのような取組みが必要だと思いか聞いたところ、「育児・介護休業を取りやすく、復帰しやすい仕組みづくり」が56.0%と最も多く、次いで「年次有給休暇を取得しやすい職場づくり」が51.6%、「長時間労働の抑制のための業務見直しや要員の確保、職場の風土改革」が48.4%などとなっている。

#### 【前回調査との比較】

前回の調査結果と比較してみると、「育児・介護休業を取りやすく、復帰しやすい仕組みづくり」が19.1ポイント、「フレックスタイムや在宅勤務、時間短縮勤務など柔軟な働き方の実現」が13.3ポイント、「長時間労働の抑制のための業務見直しや要員の確保、職場の風土改革」が11.1ポイントそれぞれ増加している。

#### 【男女別】

男女別にみると、女性は「育児・介護休業を取りやすく、復帰しやすい仕組みづくり」（62.7%）が13.7ポイント、「事業所内保育施設の設置・運営等子育て支援」（31.3%）が10.0ポイントそれぞれ男性に比べて多くなっている。

#### 【年齢別】

年齢別にみると、年齢が高いほど「企業のトップのリーダーシップや管理職の意識改革」が多い傾向にあり、70歳以上では56.8%と5割を超えている。

#### 【性・年齢別】

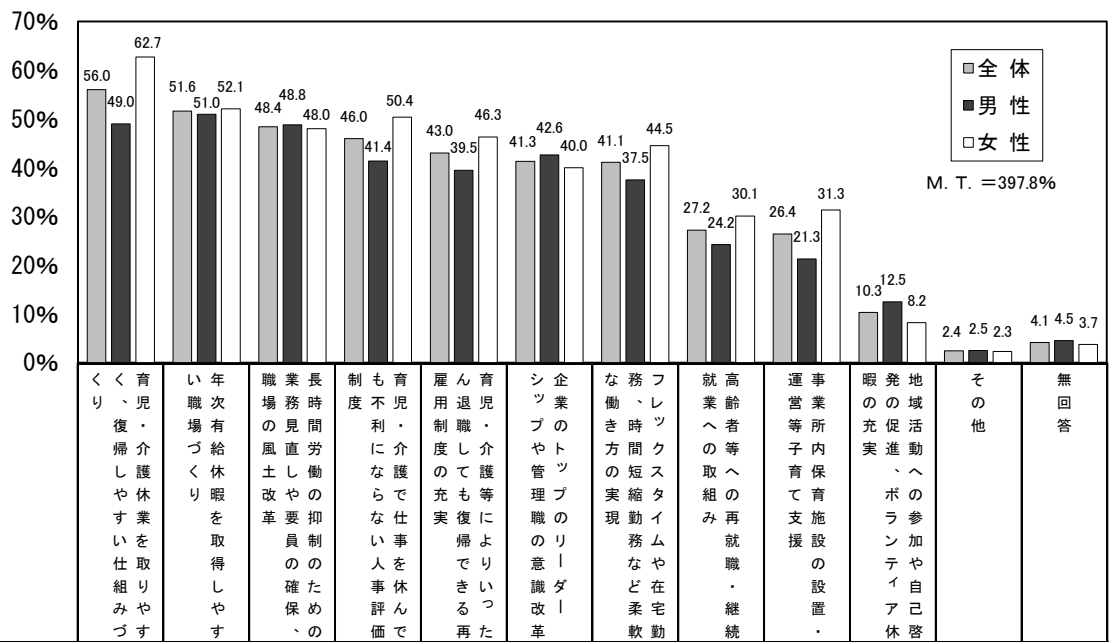
性・年齢別にみると、女性の20歳代から30歳代は「育児・介護で仕事を休んでも不利にならない人事評価制度」が6割を超えており、40歳代以上に比べて多くなっている。

#### 【職業分野別】

職業分野別にみると、医療・福祉業では「育児・介護休業を取りやすく、復帰しやすい仕組みづくり」が78.0%、卸売・小売業では「年次有給休暇を取得しやすい職場づくり」が78.4%とそれぞれ約8割を占めており、他の業種に比べて多くなっている。



図 25-1 「仕事と生活の調和が実現された社会」に近づくために必要な取組み（企業による取組み）[M. A.]



		全体	前回調査(H21)	男性	女性	20~29歳	30~39歳	40~49歳	50~59歳	60~69歳	70歳以上	男性	女性	職業分野別
全体		N=1,000												
前回調査(H21)		N=1,016												
男女別	男性	N=488												
	女性	N=512												
年齢別	20~29歳	N=106												
	30~39歳	N=153												
	40~49歳	N=201												
	50~59歳	N=192												
	60~69歳	N=253												
	70歳以上	N=95												
男性	20~29歳	N=51												
	30~39歳	N=76												
	40~49歳	N=98												
	50~59歳	N=103												
	60~69歳	N=117												
	70歳以上	N=43												
女性	20~29歳	N=55												
	30~39歳	N=77												
	40~49歳	N=103												
	50~59歳	N=89												
	60~69歳	N=136												
	70歳以上	N=52												
職業分野別	農林漁業	N=5												
	建設業	N=46												
	製造業	N=141												
	情報通信業	N=14												
	運輸業	N=21												
	卸売・小売業	N=37												
	金融・保険業	N=23												
	医療・福祉業	N=82												
	サービス業	N=90												
	公務	N=53												
その他	N=40													

## (2) 行政による取組み

### 【全体】

「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）が実現された社会」に近づくために、行政においてどのような取組みが必要だと思うか聞いたところ、「育児や介護の施設・サービスの充実」が 46.1%と最も多く、次いで「雇用確保など女性、高齢者等の多様な働き方に対する支援」が 42.5%、「就職支援や職場定着支援など若年者の安定就労・自立した生活の推進」が 35.8%などとなっている。

### 【前回調査との比較】

前回の調査結果と比較してみると、「ワーク・ライフ・バランス実現のための意識啓発」が 10.4 ポイント、「企業へのノウハウ・好事例・専門家によるアドバイスの提供」が 7.8 ポイント、「積極的に取り組む企業の表彰」が 7.7 ポイントそれぞれ増加している。

### 【男女別】

男女別にみると、女性は「育児や介護の施設・サービスの充実」が 16.4 ポイント、「雇用確保など女性、高齢者等の多様な働き方に対する支援」が 14.2 ポイントそれぞれ男性に比べて多くなっている。

### 【年齢別】

年齢別にみると、20 歳代から 30 歳代で「積極的に取り組む企業の表彰」、「男性の子育て等への関わり」の促進」が約 3 割みられ、40 歳代以上に比べて多くなっている。

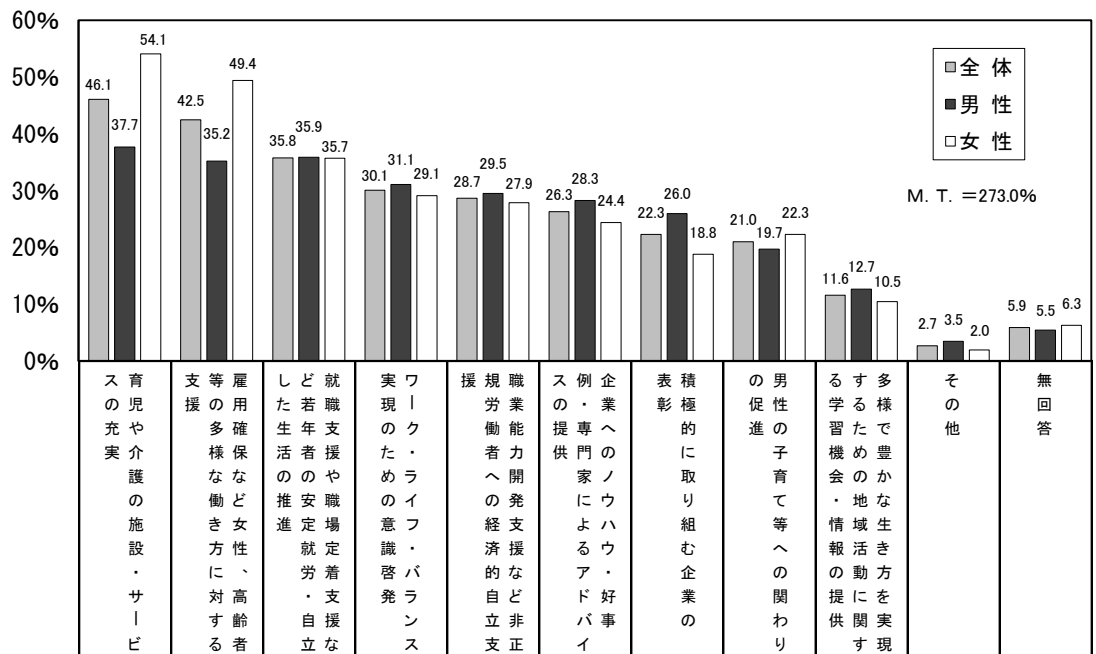
### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性の 30 歳代から 60 歳代は「育児や介護の施設・サービスの充実」が多くなっており、特に 30 歳代では 63.6%と 6 割を超えている。

### 【職業分野別】

職業分野別にみると、農林漁業、医療・福祉業では「育児や介護の施設・サービスの充実」、「雇用確保など女性、高齢者等の多様な働き方に対する支援」がともに 6 割以上を占めている。

図 25-2 「仕事と生活の調和が実現された社会」に近づくために必要な取組み（行政による取組み）[M. A.]



全体		N=1,000	46.1	42.5	35.8	30.1	28.7	26.3	22.3	21.0	11.6	2.7	5.9
前回調査(H21)		N=1,016	42.6	39.3	36.3	19.7	27.2	18.5	14.6	16.3	12.5	3.0	12.9
男女別	男性	N=488	37.7	35.2	35.9	31.1	29.5	28.3	26.0	19.7	12.7	3.5	5.5
	女性	N=512	54.1	49.4	35.7	29.1	27.9	24.4	18.8	22.3	10.5	2.0	6.3
年齢別	20~29歳	N=106	41.5	29.2	33.0	28.3	26.4	22.6	30.2	29.2	3.8	3.8	7.5
	30~39歳	N=153	47.7	39.9	26.8	28.8	19.6	22.9	31.4	27.5	8.5	3.9	2.6
	40~49歳	N=201	40.3	39.3	29.4	31.8	19.4	27.4	19.9	20.4	10.9	2.5	6.5
	50~59歳	N=192	46.9	52.1	38.5	30.2	33.9	26.6	21.4	20.3	13.5	2.6	3.1
	60~69歳	N=253	50.6	47.0	40.3	30.4	37.2	24.5	16.2	14.6	12.3	1.6	7.5
	70歳以上	N=95	47.4	36.8	49.5	29.5	32.6	37.9	22.1	21.1	21.1	3.2	9.5
男性	20~29歳	N=51	35.3	19.6	33.3	29.4	25.5	27.5	33.3	25.5	5.9	3.9	7.8
	30~39歳	N=76	31.6	22.4	30.3	28.9	21.1	28.9	39.5	23.7	3.9	5.3	1.3
	40~49歳	N=98	27.6	27.6	25.5	32.7	20.4	24.5	20.4	14.3	10.2	2.0	7.1
	50~59歳	N=103	37.9	45.6	38.8	30.1	32.0	28.2	24.3	21.4	15.5	3.9	4.9
	60~69歳	N=117	46.2	45.3	40.2	31.6	41.0	25.6	22.2	14.5	13.7	1.7	7.7
	70歳以上	N=43	51.2	41.9	53.5	34.9	32.6	44.2	20.9	27.9	32.6	7.0	2.3
女性	20~29歳	N=55	47.3	38.2	32.7	27.3	27.3	18.2	27.3	32.7	1.8	3.6	7.3
	30~39歳	N=77	63.6	57.1	23.4	28.6	18.2	16.9	23.4	31.2	13.0	2.6	3.9
	40~49歳	N=103	52.4	50.5	33.0	31.1	18.4	30.1	19.4	26.2	11.7	2.9	5.8
	50~59歳	N=89	57.3	59.6	38.2	30.3	36.0	24.7	18.0	19.1	11.2	1.1	1.1
	60~69歳	N=136	54.4	48.5	40.4	29.4	33.8	23.5	11.0	14.7	11.0	1.5	7.4
	70歳以上	N=52	44.2	32.7	46.2	25.0	32.7	32.7	23.1	15.4	11.5	-	15.4
職業分野別	農林漁業	N=5	60.0	60.0	-	20.0	40.0	-	-	-	20.0	-	20.0
	建設業	N=46	47.8	34.8	28.3	23.9	21.7	28.3	30.4	21.7	6.5	2.2	-
	製造業	N=141	34.8	33.3	31.9	24.8	22.7	22.7	25.5	20.6	10.6	5.7	3.5
	情報通信業	N=14	21.4	35.7	35.7	21.4	28.6	7.1	-	7.1	7.1	7.1	14.3
	運輸業	N=21	42.9	33.3	33.3	23.8	19.0	14.3	9.5	19.0	4.8	-	4.8
	卸売・小売業	N=37	51.4	45.9	32.4	37.8	27.0	35.1	29.7	32.4	27.0	-	5.4
	金融・保険業	N=23	43.5	34.8	26.1	34.8	17.4	17.4	26.1	17.4	4.3	-	8.7
	医療・福祉業	N=82	63.4	62.2	46.3	48.8	36.6	31.7	30.5	23.2	11.0	3.7	2.4
	サービス業	N=90	55.6	51.1	40.0	26.7	33.3	36.7	30.0	32.2	15.6	1.1	3.3
	公務	N=53	43.4	56.6	35.8	35.8	17.0	17.0	18.9	24.5	9.4	3.8	5.7
	その他	N=40	52.5	50.0	30.0	20.0	35.0	22.5	20.0	15.0	5.0	2.5	5.0

## VII 防災

### 26 災害時に「性別の違い」に気を配った対応が必要だと思うもの

問 26 あなたが、災害時に「性別の違い」に気を配った対応が必要だと思うものはどれですか。次の 1～11の中から選んでください。(✓は3つ以内)

#### 【全体】

災害時に「性別の違い」に気を配った対応が必要だと思うものを聞いたところ、「避難所の設備（男女別トイレ・更衣室、防犯対策等）」が 78.4%と最も多く、次いで「乳幼児、高齢者、障害者、病人、女性（女性用品等）に対する備えやニーズの把握、支給する際の配慮」が 57.7%、「避難所運営の責任者に女性が配置され、被災者対応に女性の視点が入ること」が 29.7%などとなっている。

#### 【男女別】

男女別にみると、女性は「乳幼児、高齢者、障害者、病人、女性（女性用品等）に対する備えやニーズの把握、支給する際の配慮」が 11.5 ポイント、「対策本部に女性が配置され、対策に女性の視点が入ること」が 5.4 ポイントそれぞれ男性に比べて多くなっている。

#### 【年齢別】

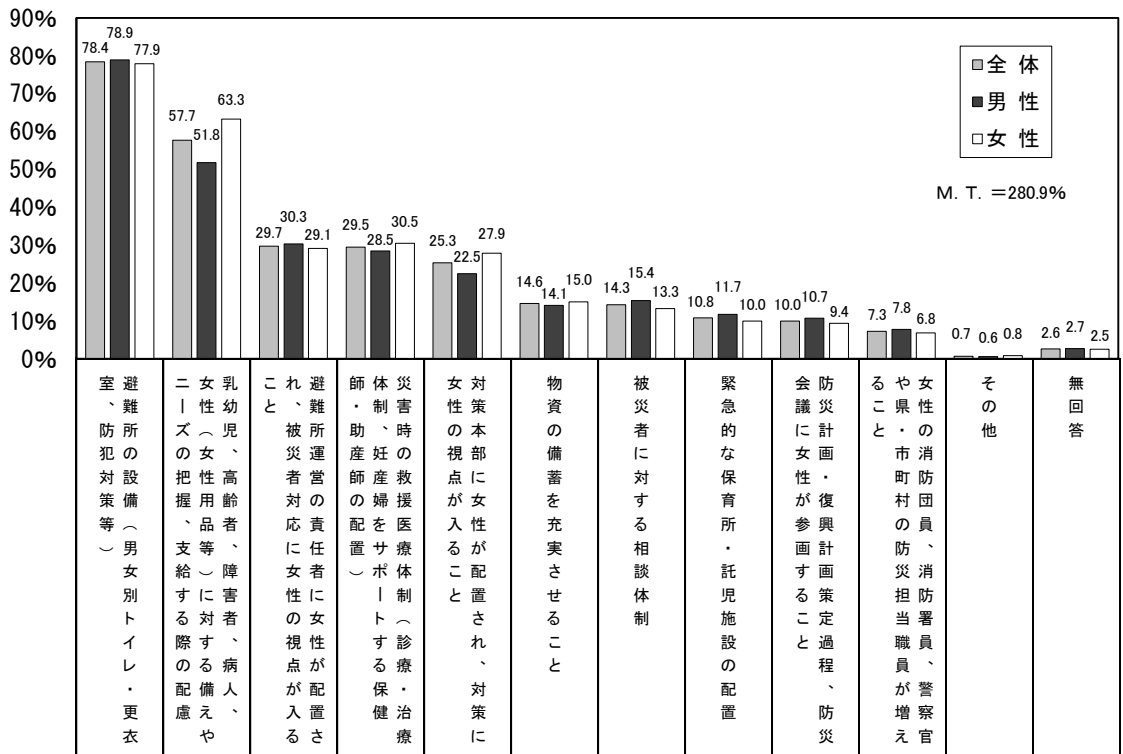
年齢別にみると、50 歳代は「避難所運営の責任者に女性が配置され、被災者対応に女性の視点が入ること」が 39.6%と約 4 割になっており、他の年代に比べて多くなっている。

#### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性の 70 歳以上では「防災計画・復興計画策定過程、防災会議に女性が参画すること」が 30.2%と 3 割を超えている。

女性の 30 歳代は「乳幼児、高齢者、障害者、病人、女性（女性用品等）に対する備えやニーズの把握、支給する際の配慮」が 70.1%と 7 割を超えている。

図 26 災害時に「性別の違い」に気を配った対応が必要だと思うもの [M. A.]



全体		N=1,000	78.4	57.7	29.7	29.5	25.3	14.6	14.3	10.8	10.0	7.3	0.7	2.6
男女別	男性	N=488	78.9	51.8	30.3	28.5	22.5	14.1	15.4	11.7	10.7	7.8	0.6	2.7
	女性	N=512	77.9	63.3	29.1	30.5	27.9	15.0	13.3	10.0	9.4	6.8	0.8	2.5
年齢別	20～29歳	N=106	80.2	60.4	28.3	28.3	19.8	16.0	8.5	14.2	5.7	4.7	0.9	0.9
	30～39歳	N=153	71.9	62.7	27.5	32.0	23.5	15.0	10.5	15.0	9.2	8.5	2.0	1.3
	40～49歳	N=201	83.6	56.2	26.4	25.9	19.4	14.4	13.4	8.5	4.5	10.4	-	2.5
	50～59歳	N=192	81.8	57.3	39.6	32.8	28.6	14.1	15.1	8.9	9.9	6.8	0.5	0.5
	60～69歳	N=253	77.5	57.3	28.5	28.9	28.5	15.4	18.6	10.3	13.4	5.9	0.8	2.8
	70歳以上	N=95	71.6	51.6	25.3	29.5	31.6	11.6	15.8	10.5	18.9	6.3	-	10.5
男性	20～29歳	N=51	76.5	52.9	31.4	23.5	17.6	13.7	11.8	15.7	3.9	3.9	2.0	2.0
	30～39歳	N=76	73.7	55.3	19.7	26.3	18.4	15.8	9.2	15.8	3.9	6.6	1.3	2.6
	40～49歳	N=98	84.7	44.9	23.5	24.5	15.3	17.3	11.2	7.1	5.1	10.2	-	3.1
	50～59歳	N=103	84.5	54.4	42.7	30.1	30.1	16.5	18.4	10.7	12.6	9.7	-	1.0
	60～69歳	N=117	77.8	54.7	31.6	32.5	26.5	11.1	18.8	12.8	13.7	6.0	0.9	0.9
	70歳以上	N=43	67.4	46.5	30.2	32.6	23.3	7.0	23.3	9.3	30.2	9.3	-	11.6
女性	20～29歳	N=55	83.6	67.3	25.5	32.7	21.8	18.2	5.5	12.7	7.3	5.5	-	-
	30～39歳	N=77	70.1	70.1	35.1	37.7	28.6	14.3	11.7	14.3	14.3	10.4	2.6	-
	40～49歳	N=103	82.5	67.0	29.1	27.2	23.3	11.7	15.5	9.7	3.9	10.7	-	1.9
	50～59歳	N=89	78.7	60.7	36.0	36.0	27.0	11.2	11.2	6.7	6.7	3.4	1.1	-
	60～69歳	N=136	77.2	59.6	25.7	25.7	30.1	19.1	18.4	8.1	13.2	5.9	0.7	4.4
	70歳以上	N=52	75.0	55.8	21.2	26.9	38.5	15.4	9.6	11.5	9.6	3.8	-	9.6

## 27 災害が起きたとき、避難所に必要なこと

問 27 あなたは、災害が起きたとき、避難所にはどのようなことが必要だと考えますか。次の 1～9 の中から選んでください。(あてはまるものすべてに✓)

### 【全体】

災害が起きたとき、避難所に必要なことを聞いたところ、「プライバシーを確保するための間仕切り」が 71.8%と最も多く、次いで「男女別の更衣室」が 70.7%、「安全で行きやすい場所の男女別トイレ」が 69.2% などとなっている。

### 【全国調査との比較】

全国調査と比較してみると、富山県は「男女別の更衣室」が 22.9 ポイント、「授乳室」が 17.3 ポイント、「運営の責任者に男女両方がなること」が 12.0 ポイントそれぞれ全国調査を上回っている。

### 【男女別】

男女別にみると、女性は「女性トイレ・女性専用スペースへの女性用品の常備」が 17.4 ポイント、「プライバシーを確保するための間仕切り」が 8.6 ポイントそれぞれ男性に比べて多くなっている。

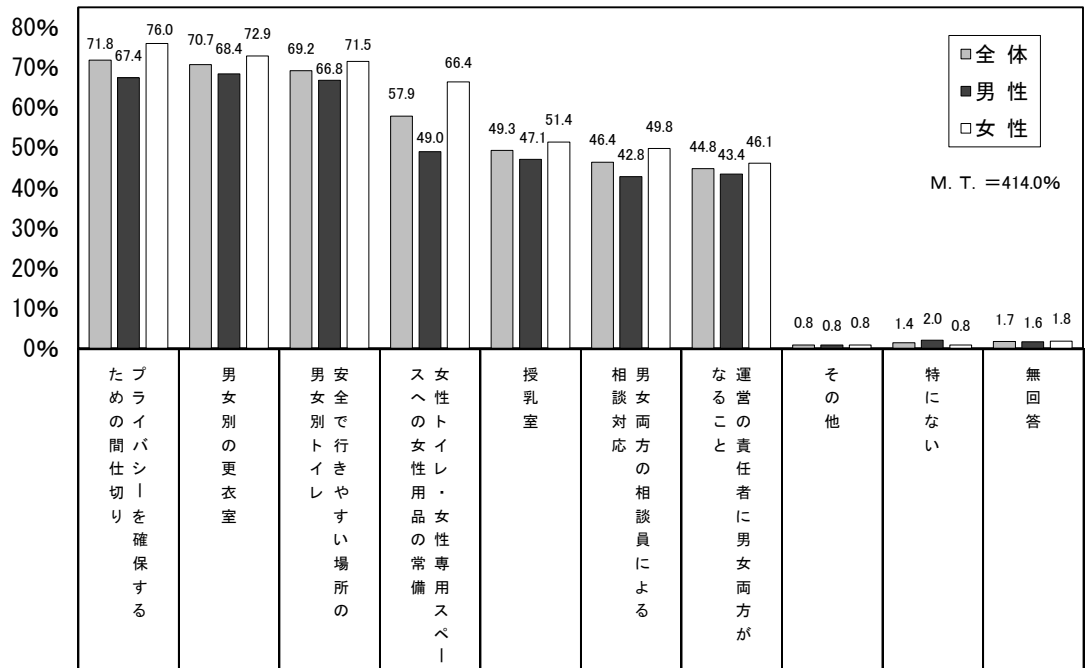
### 【年齢別】

年齢別にみると、40 歳代は「女性トイレ・女性専用スペースへの女性用品の常備」が 67.2%と他の年代に比べて多くなっている。

### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性は年齢が低いほど「授乳室」が多くなる傾向があり、20 歳代では 61.8%と 6 割を超えている。また、女性の 30 歳代は「男女両方の相談員による相談対応」が 59.7%と約 6 割になっている。

図 27 災害が起きたとき、避難所に必要なこと [M. A.]



		全体	男性	女性	その他	特にない	無回答
全体 N=1,000		71.8	67.4	76.0	0.8	1.4	1.7
全国調査(H27) N=23,500		67.3	67.4	76.0	4.2	11.8	-
男女別	男性 N=488	67.4	68.4	76.0	0.8	2.0	1.6
	女性 N=512	76.0	68.4	76.0	0.8	0.8	1.8
年齢別	20～29歳 N=106	70.8	68.4	76.0	-	1.9	0.9
	30～39歳 N=153	64.7	68.4	72.9	1.3	3.3	0.7
	40～49歳 N=201	71.1	70.6	71.5	0.5	0.5	2.0
	50～59歳 N=192	74.0	72.9	71.5	1.0	1.0	-
	60～69歳 N=253	77.1	72.3	71.5	0.4	0.8	2.0
	70歳以上 N=95	67.4	68.4	71.5	2.1	2.1	6.3
男性	20～29歳 N=51	64.7	68.6	76.0	-	3.9	2.0
	30～39歳 N=76	53.9	68.4	72.9	1.3	5.3	1.3
	40～49歳 N=98	67.3	70.4	71.5	-	1.0	2.0
	50～59歳 N=103	73.8	74.8	71.5	1.9	1.0	-
	60～69歳 N=117	75.2	71.8	71.5	-	0.9	0.9
	70歳以上 N=43	58.1	60.5	71.5	2.3	2.3	7.0
女性	20～29歳 N=55	76.4	78.2	76.0	-	-	-
	30～39歳 N=77	75.3	72.7	72.9	1.3	1.3	-
	40～49歳 N=103	74.8	70.9	71.5	1.0	-	1.9
	50～59歳 N=89	74.2	70.8	71.5	-	1.1	-
	60～69歳 N=136	78.7	72.8	71.5	0.7	0.7	2.9
	70歳以上 N=52	75.0	75.0	71.5	1.9	1.9	5.8

## VIII 男女共同参画社会

### 28 メディアにおける性・暴力表現についての考え方

問 28 メディアにおける性・暴力表現について、あなたはどのようにお考えですか。次の1～8の中から選んでください。(あてはまるものすべてに✓)

#### 【全体】

メディアにおける性・暴力表現についての考えを聞いたところ、「そのような表現を望まない人や子どもの目に触れないような配慮が足りない」が38.8%と最も多く、次いで「社会全体の性に対する道徳観・倫理観が損なわれている」が34.7%、「女性の性的側面を過度に強調するなど、行き過ぎた表現が目立つ」が31.4%などとなっている。

#### 【前回調査との比較】

前回の調査結果と比較してみると、「社会全体の性に対する道徳観・倫理観が損なわれている」が12.2ポイント減少し、「女性のイメージや男性のイメージについて偏った表現をしている」が4.3ポイント増加している。

#### 【男女別】

男女別にみると、女性は「そのような表現を望まない人や子どもの目に触れないような配慮が足りない」が12.5ポイント、「社会全体の性に対する道徳観・倫理観が損なわれている」が8.2ポイントそれぞれ男性に比べて多くなっており、一方男性は「女性に対する犯罪を助長するおそれがある」が5.9ポイント、「特に問題はない」が4.7ポイントそれぞれ女性に比べて多くなっている。

#### 【年齢別】

年齢別にみると、年齢が高いほど「そのような表現を望まない人や子どもの目に触れないような配慮が足りない」、「社会全体の性に対する道徳観・倫理観が損なわれている」が多くなっている。

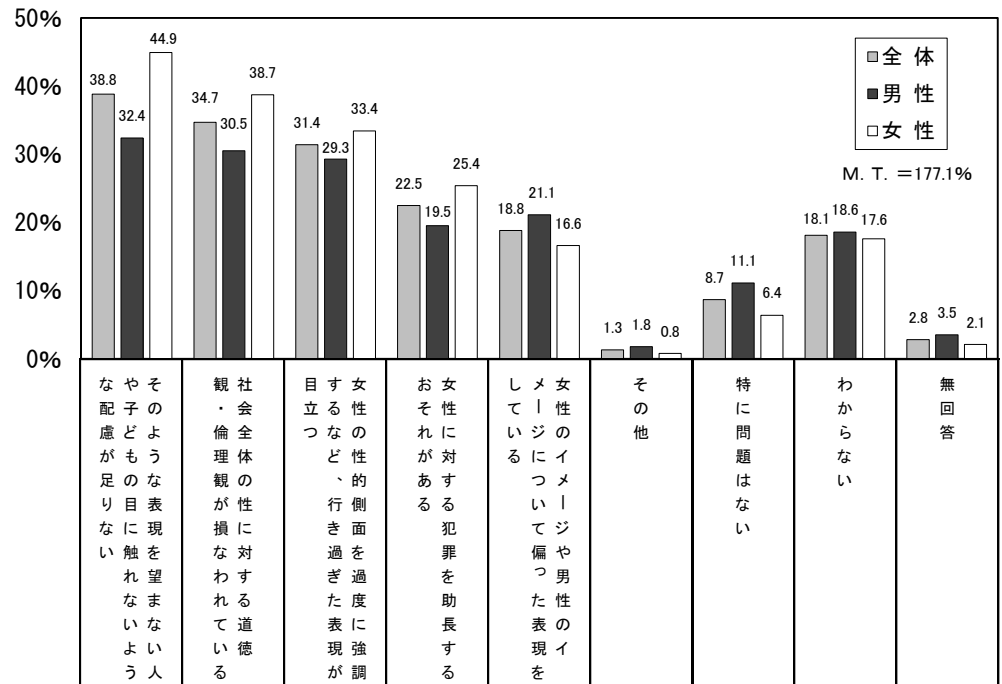
#### 【性・年齢別】

性・年齢別にみると、男性の40歳代は「特に問題はない」が21.4%と他の年代に比べて多くなっている。

女性は年齢が高いほど「社会全体の性に対する道徳観・倫理観が損なわれている」が多くなっており、70歳以上では57.7%となっている。



図 28 メディアにおける性・暴力表現についての考え方 [M. A.]



		全体	N=1,000	38.8	34.7	31.4	22.5	18.8	1.3	8.7	18.1	2.8
前回調査(H21)		N=1,016	39.6	46.9	30.2	22.4	14.5	1.5	5.2	14.8	3.5	
男女別	男性	N=488	32.4	30.5	29.3	19.5	21.1	1.8	11.1	18.6	3.5	
	女性	N=512	44.9	38.7	33.4	25.4	16.6	0.8	6.4	17.6	2.1	
年齢別	20～29歳	N=106	26.4	16.0	30.2	19.8	26.4	3.8	5.7	26.4	0.9	
	30～39歳	N=153	32.7	24.8	20.3	20.3	19.0	2.6	11.1	20.9	3.3	
	40～49歳	N=201	33.3	25.9	26.9	18.4	14.4	1.0	16.4	18.4	2.5	
	50～59歳	N=192	40.6	32.8	31.8	26.0	20.3	0.5	8.9	17.2	1.6	
	60～69歳	N=253	44.7	48.6	39.9	26.9	19.0	0.8	4.0	15.4	2.8	
	70歳以上	N=95	54.7	56.8	36.8	18.9	15.8	-	4.2	12.6	7.4	
男性	20～29歳	N=51	27.5	17.6	25.5	15.7	33.3	5.9	5.9	23.5	-	
	30～39歳	N=76	23.7	30.3	19.7	13.2	21.1	3.9	9.2	19.7	5.3	
	40～49歳	N=98	25.5	12.2	21.4	13.3	11.2	1.0	21.4	25.5	2.0	
	50～59歳	N=103	33.0	27.2	30.1	24.3	22.3	1.0	13.6	20.4	2.9	
	60～69歳	N=117	39.3	45.3	41.9	28.2	25.6	0.9	4.3	12.0	2.6	
	70歳以上	N=43	48.8	55.8	32.6	14.0	14.0	-	9.3	9.3	11.6	
女性	20～29歳	N=55	25.5	14.5	34.5	23.6	20.0	1.8	5.5	29.1	1.8	
	30～39歳	N=77	41.6	19.5	20.8	27.3	16.9	1.3	13.0	22.1	1.3	
	40～49歳	N=103	40.8	38.8	32.0	23.3	17.5	1.0	11.7	11.7	2.9	
	50～59歳	N=89	49.4	39.3	33.7	28.1	18.0	-	3.4	13.5	-	
	60～69歳	N=136	49.3	51.5	38.2	25.7	13.2	0.7	3.7	18.4	2.9	
	70歳以上	N=52	59.6	57.7	40.4	23.1	17.3	-	-	15.4	3.8	

## 29 県行政に対する要望

問 29 県では、男女共同参画社会の実現をめざしてさまざまな施策を推進していますが、今後はどのようなことに、力を入れていったらよいと思いますか。次の1～14の中から主なものを3つ選んでください。(✓は3つ)

### 【全体】

男女共同参画社会の実現をめざす中で、今後どのようなことに力を入れていったらよいと思うか聞いたところ、「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する」が53.5%と最も多く、次いで「子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」が37.6%、「労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女ともに働き方の見直しを進める」が29.0%などとなっている。

### 【前回調査との比較】

前回の調査結果と比較してみると、上位にあげられた項目に大きな変化はないが、「労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女ともに働き方の見直しを進める」が3.8ポイント増加し、「子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」が4.4ポイント減少している。

### 【男女別】

男女別にみると、男性は「国・地方公共団体の審議会委員や管理職など、政策決定の場に女性を積極的に登用する」が4.7ポイント、「労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女ともに働き方の見直しを進める」が4.1ポイントそれぞれ女性に比べて多くなっており、一方女性は「子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」が9.4ポイント、「子育てや介護等でいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する」が7.0ポイントそれぞれ男性に比べて多くなっている。

### 【年齢別】

年齢別にみると、年齢が低いほど「労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女ともに働き方の見直しを進める」が多くなっている。

### 【性・年齢別】

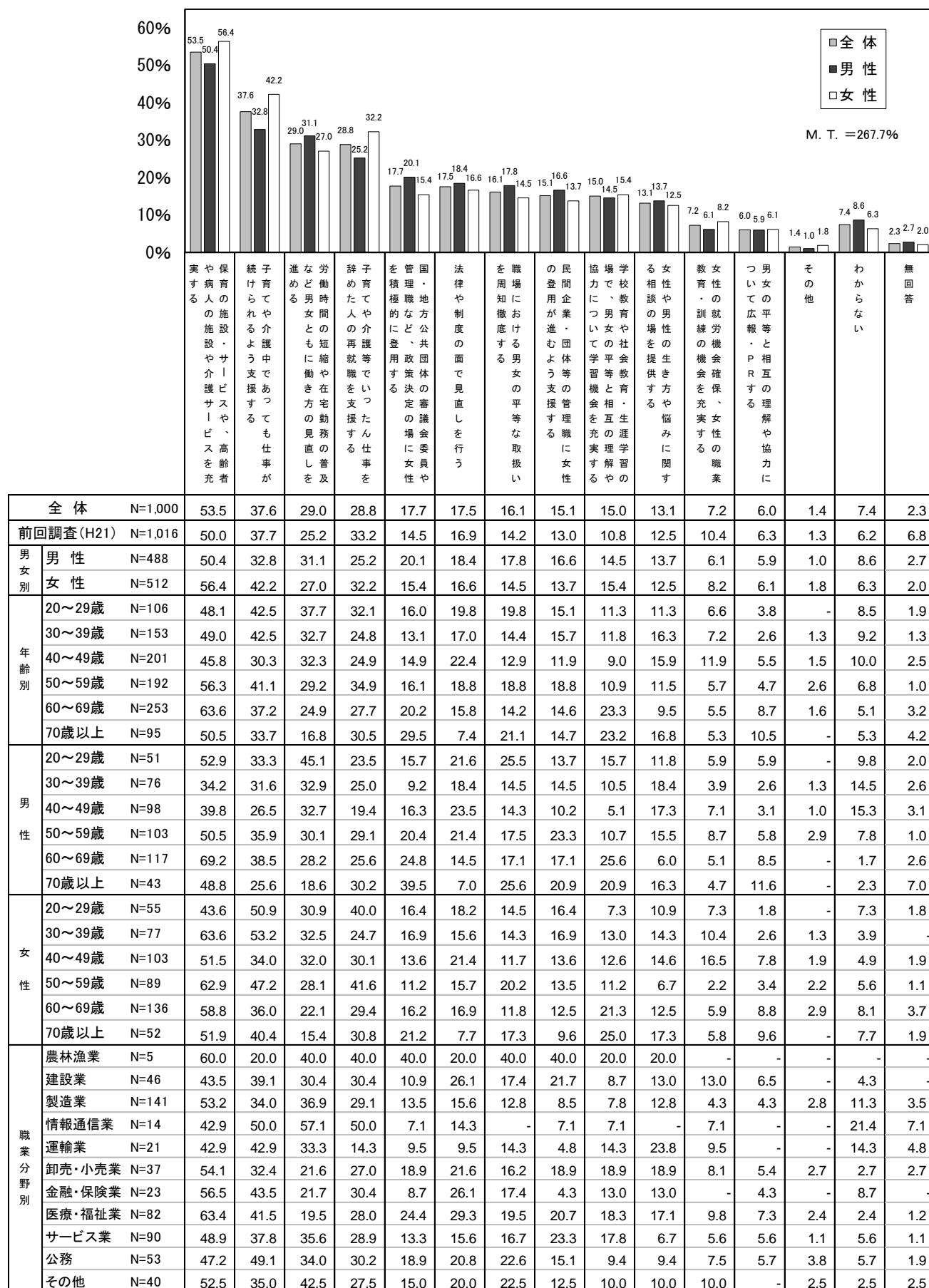
性・年齢別にみると、男性の60歳代は「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する」が69.2%と他の年代に比べて多くなっている。

女性の20歳代、30歳代は「子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する」が5割を超えており、40歳代以上に比べて多くなっている。

### 【職業分野別】

職業分野別にみると、農林漁業、医療・福祉業では「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する」が6割以上を占めているほか、情報通信業では「労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女ともに働き方の見直しを進める」が57.1%と5割を超えている。

図 29 県行政に対する要望 [M. A.]



## 30 具体的な要望・意見

問 30 女性の社会参加（参画）の促進や社会的地位の向上を図るために、具体的にご要望やご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

女性の社会参加（参画）の促進や社会的地位の向上を図るための要望・意見として、108 件の記述が寄せられた。ここでは、その要望・意見を内容ごとに分類し、一部を掲載する。

### ○行政等への要望について

- ・まずは国、行政などにおいて男女平等の制度を発達させることが第一であると思う。それをもって、社会全体の意識の変革がされると思う。（男性 60 歳代）
- ・実際の女性参加についてデータを公表する（地方自治体（議員職含む）、各自治会、上場企業等）。（男性 60 歳代）
- ・互いに男女の人権を尊重し、男女の平等と相互の理解や協力について広報・PRに努めることにより、世間の理解が広がり、女性の社会参加（参画）の促進や社会的地位の向上が図れると思う。（男性 70 歳以上）
- ・現実問題として、中小企業がほとんどである県内の実情では、企業の力が理想とする仕組みに対応できないことが大きな課題であると考えられる（経済の視点から検討が重要）。女性の中には子どもが小さいうちは自分でみたいと思う方も多いので、施設の充実が全てと考えるのではなく、広く多様性のある行政の支援を期待する。（男性 60 歳代）
- ・女性が社会参加しやすいように、社会的地位を向上させたいと思う人にやさしい法律となるよう運動していくことも必要であろう。（女性 40 歳代）
- ・女性の社会参加はとても大切だと思うが、家庭という社会を大切にしている女性のことを軽視するのはやめた方がいいと思う。家庭を大切にしている女性も、仕事を続けている女性も、社会参加しやすい社会になればよいと考える。そのためには、実際にその立場になっている人たちの声がしっかり反映されるべきだと思う。また、社会参加する働きばかりが進んで、少子化対策の方がおろそかになるのでは？全てが整うことで女性の社会参加、地位向上が現実的になるような気がする。（女性 30 歳代）
- ・国会や地方議員に立候補する政党などに一定の割合で女性数を決めるなど。例：〇〇党から立候補する数のうち 1/3 の割合は女性にする。例：知事が男性の場合、副知事に女性をおく。その逆、女性が知事の場合、副知事に男性をおく。例：県立の施設の所長が男性の場合は副所長を女性に、またその逆。もしくは重い役職にするなど。部長、課長、主任なども一定の割合で女性にする。（男性 50 歳代）

### ○子ども・子育てについて

- ・シングルマザーへの支援（児童手当など）や教育についての援助が必要だ。（男性 60 歳代）
- ・私の勤め先では、産前・産後休暇として育児休暇が認められ、女性はみな制度を利用しているが、実際のところ昇進に影響がでる。「子どもを産むこと＝女性にしか出来ないこと」である以上、不利になるような制度が廃止されていくよう国や地方自治体が施策を推進してもらいたい。（女性 30 歳代）
- ・少子化になっているのも男女が平等ではなく、周りの理解や協力が得られないことが原因になっていると思う。家族の協力があっても核家族の家庭では協力してほしくても人がいない。子育て支援や介護支援の充実が一番大切だと思う。また、時間に追われているのに、福祉での手続きも厳しく時間がかかりすぎる。もっと簡単にできないものか。（女性 60 歳代）

- ・育児や介護の施設、サービスを充実することが大切だと思う。(女性 70 歳以上)
- ・子育てが忙しい時期、特に子どもが小学校低学年の時に学校で 18:00 まで預かってもらえるような制度の法制化(望む人のみ)はできないか?(男性 60 歳代)
- ・育児のための有給休暇の延長保証や男性のための育児休業をもっと認めるべきだと思う。(女性 60 歳代)

## ○職場の環境づくりについて

- ・女性を採用昇進しているケースが特に少ない企業には、その理由を問いただしてほしい。男性女性とも性別のみを理由とした社内の差別が出来ないシステムを考えてほしい。(男性 30 歳代)
- ・男性が余裕を持って働ける社会にしないと女性が働きやすい社会にならないと思うので、女性だけではなく、社会全体の問題として考えていかなければならないのではないかと思う。(女性 40 歳代)
- ・子育てが落ち着くと、次は親の介護。さらに夫が病んだら看護。年金だけでは生活が成り立たず、生活生計のために働かなければならない。私は現在子育て中で、アルバイトをしているが、そんな老々介護の将来が来ると思うと心配。仕事一筋で頑張れる男性と、妻・嫁・母親などいろいろな立場をかかえる女性が、仕事と家庭が両立できる環境づくり、男性の協力と理解がもっと必要だと思う。(女性 30 歳代)
- ・男女が同じ仕事をし、雇用条件を可能な限り同条件にし、男性は仕事、女性は家という社会を見直し、男性も仕事と家事をし、女性も仕事と家事をすること。(男性 20 歳代)
- ・日本において、女性の能力と存在感はすでに確立されており、世界の認めるところでもある。管理職などの登用において、女性の能力を評価できない組織は存続できなくなると思うので、無視すればよい。官公庁では自然淘汰が機能しにくいと女性の育児期間の問題があるので、重要事項の決定のメンバーに女性が加わる制度が必要。男女共同参画を目指すという概念は、一部男性(一部女性も?)の思い上がりであって、すでに日本社会は女性に支えられている部分大きい。(男性 60 歳代)
- ・現時点において、業界によっては女性の管理職が多いところもある。本当に能力のある女性ならば、社会参加は行われているのではないか。むしろ能力のない男性が単に学歴や年功序列によって昇進が行われているのではないか。男女関係なく人事考課を時代に合ったものに各業界は見直すべきである。社会において男性が必ずしも優位である必要はないと思うが平等である必要もない。ただし、女性が働きやすい社会には賛成である。(男性 40 歳代)
- ・仕事の職域によって男性、女性の役割をしっかりと区別するべきだと思う。(女性 20 歳代)
- ・女性の社会参画が促進されるには、職場環境の整備が必要だと考える。「女性が働きやすい職場環境」と耳にするが、現実はなかなか浸透していない。私が働く職場では、ワーク・ライフ・バランスに取り組んでいるが、不十分な面が多い。家庭と仕事の両立が出来ないと女性の就労は無理である。子育てしやすい環境、時間外労働の短縮、休日の確保などが整備されれば、私たち自身のモチベーション低下とならず、意欲的に働いて行けると思う。声を大にして言いたいのは、マンパワーの不足が改善されないことには、いくらがんばっても結び付かないということ。働いている人々を大切にして(発する声を聞いて取り入れて)ほしい。(女性 30 歳代)

## ○社会通念・慣習・しきたり、家庭教育について

- ・社会に参加しても、女性は、年配者にお茶くみや使い走りと思われている現実がある。(女性 50 歳代)
- ・男性中心の社会歴史が日本は続いていると思う。何百年とわたる歴史の中で男性に有利な社会が出来上がっており、すぐに変えることは難しく、個人個人の意識改革から入るしかないように思う。女性が入ると、男性には都合が悪いことだらけであり、それを意識的又は無意識のうちにわかっているのが男性である。(女性 40 歳代)

- ・私たちの親世代はどうしても男性に家事や育児をさせるのに抵抗があり、いくらいっても理解されない。口ではわかったといわれるが、これまでの教育やしきたりにとらわれ、行動や言動が男性中心になる。それをみている孫の世代も時代が逆戻りしてしまう。このような年代にどのように男女共同参画を理解させるかがポイントだと思う。(女性 50 歳代)
- ・女性の社会参加の促進への対策は日々進んでいると感じるが、家庭内での意識が改革されない限り、女性は家に縛られていると感じる。若い人たちは男女平等の意識は高いと思うが、私たち世代は嫁が家事をすべきと姑や舅が思い込んでいるし、主人も「男子厨房に入るべからず」的な意識で育てられ、家事、子育て、介護を抱え込まなければならず、なかなかフルタイムでは働けない。古い固定観念が最大の壁だと感じる。(女性 50 歳代)
- ・私は正社員として働いているが(夫と妻の給料・仕事時間は同じ位と思っている)、家に帰ると家事の責任者は妻で、夫は補助する人という感じだ。子どもの学校行事、病気の際は「夫は休みにくい人」「妻は休んで当然」という流れの中で、妻は結局責任のある仕事を引き受けにくい環境にある。世の中が男女平等といっても個々の現実はあまり変わってないように思う。40 歳以上の方は、自分の親世代が「男は仕事、女は家事」の中で育ってきているので、なかなか変えることはできないのかもしれない。この皆さんの活動を通して若い人たちの意識が変わって、女性が活躍しやすい環境になることを願っている。(女性 50 歳代)
- ・家事の負担が大きくて、もう少し男性の協力があると仕事をしていても時間を気にせず働けると思う。(女性 60 歳代)
- ・女性の社会参画には個人的な考え、サービス行政の施設、家庭内での教育、企業風土など多様な要因があるので、幼い頃からの教育、市町村と都道府県による啓発、自治体と企業との話し合いなど各領域で確実な実践が必要であるように思える。(男性 60 歳代)
- ・義務教育の場から男女共同参画社会・男女の平等(性差別の撤廃)の必要性を伝えていくべきである。(男性 20 歳代)
- ・女性の高齢者は元気で活発なので、地域社会の活動で指導者に多くの方がなればよいと思う。(男性 60 歳代)
- ・私の住んでいる地域では、男は外、女は家で育児家事という保守的な考えが強く、男性が育児家事をすることが難しい環境にある。この考え方を改める積極的な啓蒙活動を行ってほしい。(男性 60 歳代)
- ・女性が不当に扱われているところは当然改善すべきだが、男性と女性で根本的な性質の違いはどうしてもあるため、そういった点についても配慮する必要があると思う。(男性 20 歳代)

## ○女性自身の意識改革について

- ・共同参画と言いながらも、現実、町内等では、班長、区長、役員などの順番がまわってくると女性だからと言って都合が悪くなると断る。意識が不足している。(男性 50 歳代)
- ・環境整備も重要ではあるが、女性自身の使命感、責任感があつてのこと。(男性 60 歳代)
- ・世間は男女平等の扱いが進んでいると感じる。しかし、中小企業の中や、年配の方の考えは、昔と変わらないように思う。そうした周囲の環境も大事だし、何より女性自身が社会参加、社会的地位の向上を希望していないと、現実には難しいと思う。行政は随分頑張っている感じがするので、あとは、本人次第ではないか。(女性 40 歳代)